

目 次

| | |
|------------------------------|--------|
| 1. 学則変更（収容定員変更）の内容 | …p. 3 |
| 2. 学則変更（収容定員変更）の必要性 | …p. 3 |
| (1) 大学の特色 | …p. 3 |
| (2) 定員変更の必要性 | …p. 4 |
| ① 音楽教育を通じた人材養成にもとづく必要性 | …p. 5 |
| ② 産学官との連携の推進にもとづく必要性 | …p. 6 |
| (ア) 地域からの要請と連携 | …p. 7 |
| (イ) 大学間連携 | …p. 8 |
| (ウ) 官公庁等との連携 | …p. 9 |
| (エ) 国際社会との連携・協力 | …p. 9 |
| (オ) オンラインを通じた音楽教育・社会貢献 | …p. 10 |
| ③ ユニバーサル段階における学生受入れへの対応 | …p. 10 |
| ④ 高等学校教員からのヒアリングにもとづく対応 | …p. 11 |
| ⑤ 音楽領域の拡大にもとづくコース設定 | …p. 13 |
| ⑥ 定員超過是正と志願者増への対応にもとづく必要性 | …p. 16 |
| 3. 学則変更（収容定員変更）に伴う教育課程等の変更内容 | …p. 18 |
| (1) 教育課程の変更内容 | …p. 18 |
| ① 専門教育科目 | …p. 19 |
| ② 一般総合科目 | …p. 20 |
| ③ 社会人基礎力 | …p. 21 |
| ④ コース設定 | …p. 22 |
| ⑤ 新コース設定による新たな取り組み | …p. 22 |
| (2) 教育方法及び履修指導方法の変更内容 | …p. 24 |
| ① 教育方法 | …p. 24 |
| (ア) 少人数教育の実施 | …p. 24 |
| (イ) 多様な学修成果発表の実施 | …p. 25 |
| (ウ) 多彩な教育プログラム | …p. 25 |
| (エ) 体験型学習活動の実施 | …p. 27 |
| (オ) 授業形態の追加 | …p. 28 |
| ② 履修指導方法 | …p. 28 |

| | |
|---|--------|
| (ア) アカデミック・プロデューサー制度 及びアカデミック・アドバイザー制度 | …p. 28 |
| (イ) ガイダンスの実施 | …p. 29 |
| (ウ) シラバス・履修モデルの提示 | …p. 29 |
| (エ) CAP 制の導入 | …p. 29 |
| (オ) 成績不振者等への個別指導の実施 | …p. 30 |
| (カ) 初年次教育の強化 | …p. 30 |
| (3) 教員組織の変更内容 | …p. 30 |
| ① 教員組織編成の方針と体制 | …p. 30 |
| ② 教員の年齢構成 | …p. 32 |
| (4) 大学全体の施設・設備の変更内容 | …p. 33 |
| ① 校舎等施設、設備 | …p. 33 |
| (ア) 音楽・音響デザインコース | …p. 36 |
| (イ) ミュージカルコース | …p. 36 |
| (ウ) 声優アニメソングコース | …p. 36 |
| (エ) バレエコース・ダンスコース | …p. 36 |
| ② 図書及び図書館の整備状況 | …p. 37 |

学則変更の趣旨等を記載した書類

1. 学則変更（収容定員変更）の内容

令和5年度から音楽学部音楽学科の入学定員を530名から60名増員し590名、3年次編入学定員5名を含めて、収容定員は2,370名（完成年度）とする計画である。

（単位：人）

| 学科 | 現行 | | | 変更後 | | |
|------|------|-------|-------|------|-------|-------|
| | 入学定員 | 編入学定員 | 収容定員 | 入学定員 | 編入学定員 | 収容定員 |
| 音楽学科 | 530 | 5 | 2,130 | 590 | 5 | 2,370 |

2. 学則変更（収容定員変更）の必要性

（1）大学の特色

洗足学園音楽大学（以下、「本学」）は、大正13年、創設者の前田若尾が東京府荏原郡平塚村（現在の品川区小山2丁目付近）に設立した平塚裁縫女学校を起源とし、「若き学徒をして、真の人生の目的に目覚めさせ、さらに人間の天職を悟らせ、謙虚にして慈愛に満ちた心情（謙愛の徳）を養い、気品高く、かつ実行力に富む有為な人物を育成する。」が建学の精神である。

その建学の精神のもと、教育基本法及び学校教育法にのっとり、深く専門の学芸を教授研究し、その応用的能力を展開させるとともに、幅広く深い教養を培い、建学の精神に基づいて人格を陶冶し、謙愛の徳を備え、気品高く、国際的視野に立ち、実行力に富む人材を育成し、もって文化の向上に寄与することを目的としている。学校法人洗足学園は、定員変更の翌年である令和6年（2024年）に創立100年を迎えるが、建学の精神に基づく思想、大学の目的等については、今日においても普遍的であり、このような人材を連綿と育成し、輩出してきた実績からみても、その理念・目的は適切かつ的確であったと言える。

そして、今日のように社会構造が様々に変化し、価値観の多様化、高度化がより進み、グローバル化する社会においても、本学は建学の精神、建学の精神に基づく思想、大学の目的等により、教育研究の充実、機能の高度化、教育の質の向上及びマネジメント改革を図り、独自化・個性化を推進してき

た。

なお、単科大学である本学の人材養成及び教育研究上の目的は、学部学科の目的と同義であり、音楽の探究により、高い芸術性、専門分野の知識・技術を修得するとともに、日々の地道な研鑽を積み重ねる中、個性と創造性を発揮しながら「主体的な学び」を実践することで、人生の目的、本当の自分を見出し、豊かな人間性と実行力を備え自立した人間を育成することであり、次にかかげる事項を具体的な教育目標としている。

- ① 音楽家としての基本的な演奏技術・表現技法を修得し、プロフェッショナルを目指すアーティストとしてスタートラインに立てる水準に達すること。
- ② 世界の様々な地域、民族、時代の音楽を受容し理解することで、豊かなイマジネーションを醸成し、幅広い視野を持った人材となること。
- ③ 数多くの演奏会の企画・運営・実施に参加することで、実践を通して実社会への適応力、問題解決力、コミュニケーション能力を培うこと。
- ④ 教育指導者として、音楽を通じ、情熱と感動をもって次代を育てる教育知識・技術を修得し、豊かな人間性を涵養すること。

(2) 定員変更の必要性

本学は、昭和42年の音楽学部設置当初、音楽学科に4つの専攻（作曲、器楽、声楽、音楽教育）を設置する組織構成として出発した。設置から今日まで教育研究の対象となる音楽分野の領域を広げ、令和5年度には、作曲、音楽・音響デザイン、ピアノ、管楽器、弦楽器、打楽器、電子オルガン、ジャズ&アメリカンミュージック、現代邦楽、ロック&ポップス、声楽、ミュージカル、バレエ、声優アニメソング、ダンス、ワールドミュージック、音楽教育、音楽環境創造、メディアアーツの多彩な19コースとなる予定である。

これまでも本学は、音楽の探究により、高い芸術性、専門分野の知識・技術を修得するとともに、日々の地道な研鑽を積み重ねる中、個性と創造性を発揮しながら「主体的な学び」を実践することで、人生の目的、本当の自分を見出し、豊かな人間性と実行力を備え自立した人間を育成してきた。今後も更なる発展を遂げるため、高等教育機関として音楽領域の教育研究活動を積極的に推進し、継続的に充実・発展、拡張させていく必要があると考えており、以下のような状況にもとづき、早急に対応が必要なことから学生定員を増加させることとした。

① 音楽教育を通じた人材養成にもとづく必要性

本学では、教育活動を通じた学びの中で「音楽の力」を育み、「成長する力」と「協働する力」を身につけることを可能にしている（資料2）。

この「音楽の力」を育むため、本学では充実した教育課程と豊富な指導陣が専門的な学修をサポートしている。教育環境の特徴としては以下の事項となる。

(ア) 「レッスン・合奏・合唱・室内楽等、多様な実技系授業」

優れた指導陣が個々の感性を磨き、技術や技能を高めることができる。

(イ) 「一人ひとりの興味や個性に応じた自由なカリキュラム設計」

将来どうなりたいか、そのためにはどんな授業を受ければよいかを自分で考え、目的に合わせたカリキュラムを選択できる。

(ウ) 「演奏会の企画から開催まで実践を通して学ぶ演奏会実習」（令和5年度より「社会実践演習」に名称変更）

指導教員の下で自主的に演奏会の企画、交渉、運営等の演奏会制作に取り組み、最終目標としてコンサートを行う。

(エ) 「年間200回以上の演奏会」

聴衆の前での多くの演奏（発表）機会が成長のための大きな糧となる。

※令和2年度はCOVID-19対策の為、基本的に非公開、YouTube配信などを利用して150回程開催した。令和3年度は、COVID-19対策を整えた上で、音楽学部167本、音楽研究科26本の主催演奏会開催を開催し（2022年1月31日時点）、その内38本をYouTubeで配信することで、広く一般に公開した（資料3、資料4）。

(オ) 「多彩なジャンル」

自由な発想で音楽を学べる環境を整え、専門以外の様々なジャンルの音楽や知識と出会い、視野の広い教養を身につけることが可能。

「成長する力」「協働する力」については、個人で取り組むこと、又は、グループで取り組むことにより身につけるものである。「成長する力」とは、音楽分野においても個人で学修する過程において、目標の設定、課題の設定、課題克服に向けた計画の立案、計画の実行と進捗チェック、節目での成果確認、新たな目標と課題の設定を行うことにより自己分析力、課題解決力、持久力・耐久力、メンタルマネジメント力（精神力）を身につけることができ

る。「協働する力」についても、音楽活動を行うグループで学修する過程において、集団活動の目標やルールの確認、目標実現に向けた役割の自覚と遂行、集団活動の阻害要因（課題）の認識、集団活動の中での課題への対処、節目での目標や役割の達成度の確認、新たな目標の設定と集団の選択を行うことにより社会人として必要なコミュニケーション力、状況把握力、柔軟性と忍耐力、規律・礼儀を身につけることができる。

本学の授業は、レッスン、アンサンブル系、講義、演奏・実習、演奏会実習など、その多くが少人数・双方向型で行う実践的なものである。学生一人ひとりの将来目標から課題を設定し達成のための取り組みから結果に至るプロセスを指導し、その各段階において評価を受ける仕組みを整えている。

こうした中で、学生は音楽の「専門的知識の一方的な伝授」に留まることなく「社会から求められている能力」を授業の中で身につけることができる。本学は、このような音楽教育を通じて社会に有為な人材を多数養成することがますます重要になると考えている。

② 産学官との連携の推進にもとづく必要性

平成30年11月中央教育審議会「2040年に向けた高等教育のグランドデザイン(答申)」(以下「2040年グランドデザイン」という)で、大学連携について、「地域のニーズに応えるという観点からも充実し、それぞれの高等教育機関の強みや特色を活かした連携や統合が行われていくこと」を、これからの高等教育改革の実現すべき方向性として示されている。また、産業界との協力・連携については、「高等教育が提供する学びのマッチングが必要不可欠」「大学内外の資源を有効活用していくことは重要」「学外の協力を得ていくための産業界等との協力関係、連携関係を充実させていく必要がある」としている。更に、地域との連携について、「それぞれの地域の社会、経済、文化の活性化のリソースや、特色・誇りの源泉であるとともに、地域産業や新規の企業立地における好条件となり、更には地域における国際交流の推進、国際化への対応への直接的な拠点ともなる」と結んでいる(資料5)。

このような地域社会との交流や産業界との連携について、本学は、「社会連携・社会貢献ポリシー」を定め進めている(資料6)。社会連携の推進については、音楽の探究による主体的な学びの実践を尊重し、社会連携を適切かつ効果的に推進することとしている。また、行政・地域団体・大学との連携については、以下のように演奏会等を通じた地域との交流や教育研究成果の提

供により社会貢献を実施すること、音楽活動や研究活動により地方自治体の政策形成への関与をさらに推進すること、地域社会の活性化と発展の担い手となる豊かな人間性と実行力を兼ね備え自立した人材を育成することとしている。

(ア) 地域からの要請と連携

地方自治体等の施策立案、実施に対する積極的な支援策とし、本学の立地する川崎市と様々な連携により社会貢献を実施している。その一つとして、「音楽を中心とした活力とうるおいのある地域社会作り」を目指す「音楽のまち・かわさき」推進協議会への参画がある（資料 7）。本学はこの運動の主旨に全面的に賛同し、川崎市と様々な連携を行っており、学長が副会長として参画するほか、運営委員会に教職員 4 名が参加し、基本的な施策立案、実行支援を展開している。川崎市の文化芸術振興に関する事項の審議や文化アセスメントを実施している川崎市文化芸術振興会議には、教員 1 名が参画している。川崎市長からは、本学の地域貢献並びに今後の活動に強い期待が寄せられている。具体的には、本学は音楽によるまちづくりの推進役として平成 16 年に設立された「音楽のまち・かわさき」推進協議会の一員として、積極的に文化振興事業に参画するなど、教育機関の有する専門的知識やノウハウを活かし、多大なる貢献を果たすこと、音楽鑑賞や身近に楽器に触れる機会の提供、音楽家や文化芸術を支える人材の育成及び次世代の担い手である青少年が身近に文化芸術を体験できる場づくりなどの文化芸術活動において川崎市との連携が期待されている。そのほか、川崎市教育委員会とは「子どもの音楽活動推進事業」の一つ、「ジュニア音楽リーダー育成事業」への協力を行っている。これは本学の学生および卒業生が、川崎市内の吹奏楽部に所属する中学生を指導するというもので、「音楽のまち」を将来にわたり支えていく子ども達の情操教育の一翼を担っている。この活動に派遣した本学の学生・卒業生の人数は、平成 29 年度～令和元年度は毎年度 40 名、令和 3 年度は 45 名となっている（令和 2 年度はコロナにより中止）。また、参加した中学生の人数は、平成 29 年度は 255 名、平成 30 年度は 246 名、令和元年度は 224 名、令和 3 年度は 244 名となっている（資料 8）。これらの成果もあり、規模充実策の一環である今回の定員変更の計画に対して、川崎市長から依頼の文書が提出されている（資料 9）。

また、大学のキャンパス所在地である川崎市高津区では、「高津区音楽の

まち推進事業」に参加している。これは、「地域に芽生えた音楽を通して、音楽を愛する区民同士の交流を深め、その輪を広げるとともに、歴史と伝統にはぐくまれたまち・高津の音楽文化の発展を図る」ことを目的としている。この中で、本学と市民が協力して企画運営を行い、市民グループが企画や準備に携わる参加型の音楽祭「高津区民音楽祭」を開催している。本学からは運営委員として教職員 2 名が参加し、企画運営の助言・運営協力に携わっている。また、「高津区音楽のまち推進事業」の事業の一つである「子どもの音楽文化体験事業」への協力を行っている。これは、区内の子どもたちに、本物の音楽文化に触れる機会を提供するとともに、子どもの情操教育に寄与することを主な目的としている。具体的には、川崎市高津区役所と協働して、子ども文化センター等へ本学学生、卒業生を派遣するほか、例年、本学講師によるオペラ公演の開催、本学にて開催している演奏会への区民無料招待や、子どもを対象としたパーカッションの演奏体験を行うワークショップへの協力、未就学児を対象としたリトミック体験（本学卒業生・在学生を講師として派遣）を実施してきた。令和 2 年度においては、COVID-19 の影響により中止、令和 3 年度は規模を縮小し、身近な場所での音楽体験などを開催し、音楽体験を通じた子どもの情操教育の一翼を担った（資料 10）。

その他、音楽大学としての特性を活かし、学外組織との連携、地域交流、国際交流事業への貢献を行うため、社会連携・社会貢献委員会を設置し、派遣演奏会などについての、地域・社会からの要望に応じている。同委員会にて、社会貢献活動について、実施や参加の有無等についての審議・決定、定期的な報告、活動についての検証を行い、地域の活性化、情操教育の涵養など、様々な活動を推進している。令和 3 年度は、COVID-19 の影響により、神奈川県の実情に合わせ、自粛傾向にあったが、東京オリンピックテコンドー競技会など、依頼に応じて 11 件の派遣演奏会を行った（資料 11）。

（イ）大学間連携

「2040 年グランドデザイン」では、「大学の多様な『強み』の強化」で、「大学として『強み』や『特色』を明確にした上で、それらを伸ばしていくために」大学間の連携・統合を進めていくことが方策の一つとして示されている（資料 5）。本学における大学との連携としては、学校法人昭和大学と平成 29 年 2 月に包括連携協定を締結した。医学と芸術という異なる分野を専

門とする双方の大学の「強み」や「特色」を活かしながら連携を行っている。

「至誠一貫」を建学の精神とする昭和大学には感性の涵養を、本学には、身体構造理解や体幹トレーニングの方法などについて、互いの専門分野で培った研究成果を提供し合っており、相互の教員・学生に与える影響は計り知れないものがある。令和元年度までは昭和大学スポーツ運動科学研究所と共同研究の実施や、式典での演奏協力、昭和大学病院においてロビーコンサートを開催していた(資料 12)。昭和大学とは、相互に教員を派遣し、それぞれの研究領域に係る科目の教授を行っている(資料 13)。COVID-19 の影響で令和 2 年度から令和 3 年度は活動を自粛しており、昭和大学リカレントカレッジ入学式への演奏者としての講師派遣のみを行った(資料 14)。

(ウ) 官公庁等との連携

平成 27 年より、高津警察署の依頼を受け、本学教員がミュージカルを創作し、学生が演じることで、110 番通報の適正利用と特殊詐欺被害防止の広報活動に協力している。これは、J R 武蔵溝ノ口駅の南北自由通路で、通報の適切な利用を呼びかける創作ミュージカルを、ミュージカルコースの学生が披露して広く市民に周知するものである。その貢献に対し、高津警察署長よりミュージカルコースに対し、感謝状が授与されている。令和 3 年においては COVID-19 の影響により、110 番適正利用と特殊詐欺被害防止を呼びかけるミュージカルを収録し、YouTube 配信等による啓発活動の一端を担った。また、同活動において、本学学生が高津署から一日警察官を委嘱された(資料 15)。

(エ) 国際社会との連携・協力

本学における国際化への対応、国際交流に係わる方針については、「社会連携・社会貢献ポリシー」に定めている通りであり、令和元年度初頭の教授会に於いても、学生の海外研修旅行や海外教員招聘プログラムなど、国際交流の促進を図る積極的な姿勢が打ち出されている。COVID-19 の影響下にある現状に於いても、同ポリシーに示す通り、この姿勢は変わるものではない(資料 6、資料 16)。

現在、バークリー音楽大学とは単位互換に関する協定を結んでおり、令和 2 年 5 月にはタイ王国・マヒドン大学音楽学部と提携し、教職員・大学院・学部生の交流・交換、学術材料・公開情報・その他の情報の交流・交換、文

化活動・イベントの交流・交換等に同意し、今後の学術交流と連携を育むことを取り決めた。他にもアメリカ、中国の大学との提携を進行中である（資料 17、資料 18）。

国際交流として、令和 2 年 8 月に中国の中等日本語教育の発展を推進し、中国の学生の日本語総合運用能力を高めるため、「中等日本語課程設置校工作研究会」と共同で「日中友好の声を届けよう」をテーマとする「洗足音楽大学」杯～目指せ！ 電脳アフレコ王～を開催した（資料 19）。

(オ) オンラインを通じた音楽教育・社会貢献

総務省の社会生活基本調査（平成 28 年）によれば、趣味・娯楽として、楽器の演奏を行っている者（10 歳以上）は 1,200 万人に達しており、本格的に楽器を演奏したいという潜在的需要は高いと推測されることから、本学では音楽を勉強したい、という意欲を持つ人のために平成 19 年 4 月に「洗足オンラインスクール・オブ・ミュージック」（以下オンラインスクール）を WEB 上に開講し、音楽理論やソルフェージュの教材を開発してオンラインでの学修機会を無償で提供している（資料 20）。同時に本学への入学予定者に向けて、入学までの期間を有意義に学習しながら過ごせるように入学前教育ソフトウェアを提供している（資料 21）。令和 2 年度には、延数 1,069,671 人の受講者数であった。「伝統音楽デジタルライブラリー」と題した本学教員等による伝統邦楽器の演奏、また奏法についての解説を配信し、加えて本学学生による演奏の映像を配信している（資料 22）。

これらのコンテンツは年々増加している留学生のために、中国語版コンテンツページも公開し、「楽語」「聴音」などを提供している（資料 23）。令和 2 年以降、COVID-19 の感染拡大防止のため、ICT を活用した教育がより重要視されている昨今、本学学生のみならず、広く社会に音楽への理解を深める機会としている。

③ ユニバーサル段階における学生受入れへの対応

「2040 年グランドデザイン」では、「高等教育が目指すべき姿」として「予測不可能な時代にあって、高等教育は、学修者が自らの可能性を最大限に発揮するとともに、多様な価値観を持つ人材が協働して社会と世界に貢献していくため、学修者にとっての『知の共通基盤』となる。このような視点に立ち、『何を学び、身に付けることができるのか』を中軸に据えた多様

性と柔軟性を持った高等教育への転換を引き続き図っていく必要がある。」と結論付けている(資料5)。

前述の楽器の演奏を行っている者1,200万人のうち、約700万人は20歳以上60歳未満であり、これに対して、本学では、WEB出願による、総合型入学者選抜、外国人留学生入学選抜を実施するなど、柔軟な入試対策を実行することにより、COVID-19による入学者減などのマイナス要素を回避したのみならず、令和3年度については、18歳時以外の学生150名を受入れており、今後も多様な入学機会と人材育成の場を広く提供していく。

図表 令和3年度年齢別入学者数

| 年齢 | 入学者数 | 編入学(3年次) | 合計 |
|-------|------|----------|-----|
| 18 | 490 | 0 | 490 |
| 19-20 | 109 | 4 | 113 |
| 21-30 | 39 | 5 | 44 |
| 31-40 | 1 | 0 | 1 |
| 41-50 | 1 | 0 | 1 |
| 50-60 | 0 | 0 | 0 |
| 合計 | 640 | 9 | 649 |

以上のように、本学は、音楽大学である特色・利点を活かしながら、多様な活動を通じて地域社会との連携、他大学との連携、国際連携などを図りながら課題解決に取り組んでおり、教育研究の成果を適切に社会に還元し、地域社会の芸術文化醸成の一助を為しており、スケールメリットを活かすことで、今後も様々な場面で強力な社会連携・社会貢献を進め、多様な学生を受け入れるべく規模の拡大を目指すものである。

④ 高等学校教員からのヒアリングにもとづく対応

高校生を送り出す側である高等学校の教員に対し、本学に対する評価や定員変更に対する聞き取り(ヒアリング)を行った。定員の増加に対しては、18歳人口の減少やコロナ禍から驚きの意見も見られたが、「世の中のニーズに答えているのだと思う。現代の音楽を上手く扱っている。」、「率直に言うと、攻めましたねという感じ。需要が有るのだな、と思った。」、「勢いが有るのだと思う。気がついたら一流大学になっていたのでは、人が増えて当然だ

と思う。」「さすがアグレッシブ、よほど勝算があるのだろう。プラスの材料でしかない。」「その分沢山取ってくれるので嬉しい。色々なコースの人気があるのだから、当然。」など本計画の妥当性や好意的な意見を得た。

また、本学のイメージや教育に対しては、「幅広い音楽の分野について学べる大学。熱心な教育をしている。著名な講師の方が多い。」「時代を先取りしているイメージが有る。」「とても懇切丁寧な指導をしてくれる。音大では最高峰。」「施設が広い。設備が充実している。環境が整っていてきれい。様々なコースがある。興味が湧くような授業内容。」「コンピューター音楽が人気。国立は数が少なく、クラシックの傾向が強いので洗足に流れる。」「クラシックからポップス、ジャズまで様々な音楽の分野に一早く対応していた大学であり、生徒の需要、今の時代に合った授業を展開している。」「演奏会の質が非常に高い。」「自分のやりたいことができる。施設設備が充実している。」「音楽を志向する生徒にはとっつきやすい。従来、音楽をするのは小さい頃から習わなければというのが有ったが、そうでないジャンルを取り扱っている。」「習いたいレッスンの先生がいること。オケ、アンサンブルがいっぱい有ること。」といった本学が特色としている部分について、評価や共感を得られた（資料 24）。なお、これらの結果は、別途実施したアンケート調査における本学に対する魅力についての回答と同じような傾向でもあり、本学の教育展開が評価を得ていること、学生募集における訴求ポイントがしっかりと伝わっていることが確認できたと言える。

この結果を含め、本学の教育内容や音楽大学として長年にわたって蓄積した高等学校との信頼関係は定員変更後の学生募集上有利に働くものと考えている。

図表 ヒアリングにおける主な意見

○洗足学園音楽大学の第一志望者は本学のどの様な特徴を評価しているか

| |
|---|
| 自分のやりたいことができる。施設設備が充実している。吹奏楽やアンサンブルに力を入れている等。 |
| 受験科目が選べる。自分の特性に合わせられる。基礎科目については、入ってから学べば良いと思っている。 |
| 声優アニメ、ミュージカル等新しい物を採り入れている。 |
| 習いたいレッスンの先生がいること。オケ、アンサンブルがいっぱい有ること。 |
| 学びたい事が多く有る。 |
| 有名な先生がいる。環境が良い。 |
| クラシック系はアカデミックさを評価。コンテンポラリー系は斬新さに期待。 |
| とにかく楽しい。 |
| 華やかなところ。大人数のオケ等、好きな事が出来る。 |

| |
|---|
| 音楽を志向する生徒にはとっつきやすい。従来、音楽をするのは小さい頃から習わなければならないというのが有ったが、そうでないジャンルを取り扱っている。 良い先輩がいる。 |
|---|

○本学の定員増加計画に対してどの様に感じるか

| |
|--|
| コロナの影響もあり、音楽人口が減少し、他の学校（高校も含めて）が生徒募集に苦労している中で、定員増をすることに驚いている。正直、他の大学は、かなりの生徒をとられてしまうのではないかと危惧しているかもしれない。 |
| これから確実に子供が減るのに凄い勇気だなと思う。 |
| 世の中のニーズに答えているのだと思う。現代の音楽を上手く扱っている。 |
| 一般入試が狭い門のイメージが強いので、そのチャンスが広がれば良い。 |
| 率直に言うと、攻めましたねという感じ。需要が有るのだな、と思った。 |
| ある程度手応えが有るのでしょうか。順調なのですね。 |
| 勢いが有るのだと思う。気がついたら一流大学になっていたのでは、人が増えて当然だと思う。 |
| さすがアグレッシブ、よほど勝算があるのだろう。プラスの材料でしかない。 |
| 少子化の中で大変だなと思う。コロナになってから楽器を止める子が多く、それもマイナス。これ以上減らなければ良いと思う。 |
| その分沢山取ってくれるので嬉しい。色々なコースの人気があるのだから、当然。 |
| 喜ばしい事。 |

⑤ 音楽領域の拡大にもとづくコース設定

本学は、4つの専攻（作曲、器楽、声楽、音楽教育）から出発し、継続的に音楽分野の領域を広げてきたが、令和5年度には、19コースとなる。これらは、社会における音楽の位置づけや活用、音楽領域の方向性や拡張・動向、さらには高校生の志向性などを調査分析して計画的に設定している。具体的には、作曲、ピアノ、管弦楽といったクラシックコースの志望者減少に対処すべく、以下のようなコースを新たに設定している。

第4次産業革命の到来ともいわれる昨今、IoT (Internet of Things) や人工知能 (AI) に代表される技術革新が叫ばれているが、本学では、ITを代表するコースとして「音楽・音響デザインコース」(資料 25) を平成元年に開設した。本コースの人材育成の目的は、新しい意味としての作曲＝音楽制作を中核として、作曲・編曲、デスクトップミュージック、録音、音響、映像等を含む広範な領域を網羅しながら、学生個々が最も得意とする分野について、特に深く研鑽を積める授業科目・設備・環境を整備して、現代社会における音楽業界・音楽関連産業の中に自分の居場所を見出し、獲得できる人材を育成することである。このコースについては、特にここ数年、入学者数や本コースによる演奏会入場者数の増加が顕著であり、就職についても令和2年度就職率81%と、高い水準を示し、その活躍の分野としては、メディアコ

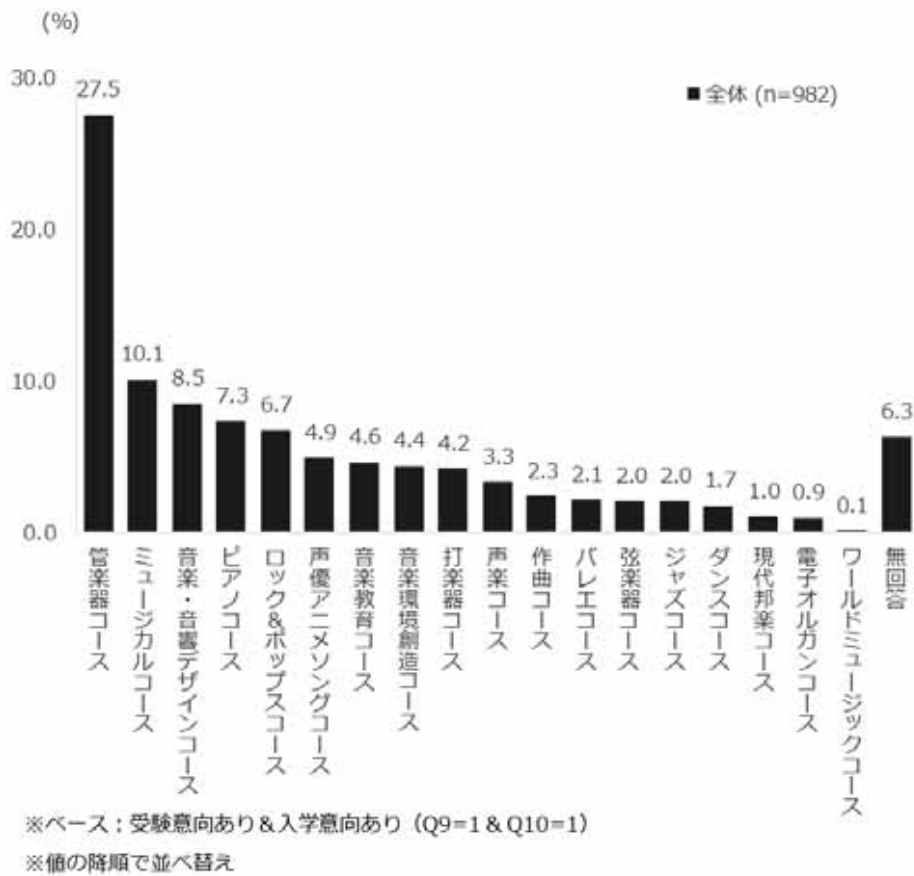
コンテンツ分野における音響効果、イベント制作、コンサート演出などとなっている。卒業生の中には、在学中より TV ドラマの作曲などを手掛け、平成 28 年度、平成 30 年度、令和 3 年度にそれぞれ川崎市アゼリア輝賞を受賞した音楽家や、平成 29 年度レコード大賞最優秀アルバム賞を受賞したバンドの作曲家・キーボード奏者など、近年、有為の人材を輩出している。

そのほかの新たなコースとしては、平成 28 年度から「声優アニメソングコース」を開設している（資料 26）。コースの目標としては、クールジャパンを代表する分野となっている日本独自の芸術文化、ポップカルチャーシーンに、「声・音声」を軸とした能力を活かして進出することを目指す。声優、アニメソング、ボーカロイド、動画と音楽のコラボレーション、基本的なスタジオワーク等、多様な分野やそれらの周辺の教養を包括した授業科目・施設・環境を整備して、自分が目指す分野に向かってセルフ・プロデュースを展開できる人材を育成することである。音楽大学では日本で初めて開設された声優アニメソングコースはメディアからも注目を集めており、地上波テレビ番組の取材も多く、すでに声優事務所に所属し、テレビアニメ作品やゲーム作品キャラクターとして声の出演など、活躍中の学生も在籍している。また、本学教員である有名アニメソング歌手のレコーディング参加や舞台出演、川崎市をフランチャイズとするプロスポーツチームの主催試合でのパフォーマンス出演など、外部の活動も精力的に行っている。

また、「自らの専門分野であるミュージカルに関する専門的知識や技能を用いて、独創的な発想や思考を適切に表現する」ことを人材育成の目的として、平成 18 年度に開設した「ミュージカルコース」（資料 27）は、15 年目を迎え、授業成果の発表の場としての演奏会の数、内容ともに充実し、特にここ数年、ミュージカル俳優として第一線で活躍する卒業生を多数輩出し、学生数の増加が顕著である。本学の公演や演奏会は、芸能事務所がスカウティングに来ているため、それにより業界大手の事務所に所属し、在学学生・卒業生にはメジャー作品に主役として出演している者もいる。令和 3 年度の入学者数 90 名、学生数 335 名、年間主催演奏回数 51 回を数え、様々な地域社会、産業界、公官庁からの要請に応えるなど、地域の芸術文化涵養の一翼を担っている。

上記の 3 つのコースは、下図のように別途実施したアンケートにおいて入学したいコースの上位にもあがっている。

図表 本学音楽学部へ入学意向者の希望コース



出典：『洗足学園音楽大学「音楽学部」～収容定員増に関する入学意向調査～結果報告書』

また、同アンケートにおいて、クラシックでは、管楽器を希望する学生が多く、この要因として、我が国を代表する管楽器の中心的存在の教員の指導が受けられること、合奏授業でもオーケストラ、吹奏楽はもちろんのこと、ブリティッシュブラス、サクソフーンオーケストラ等、他大学では例のない授業を立ち上げ、手厚い指導を行ってきたこと、更には演奏会に内外問わず名だたる指揮者を招聘したことも質の向上に繋がったと思われる。本学の特色の一つである合奏系授業科目、アンサンブル系授業科目については、教員を複数配置している。本学では、学修成果を発表する場として年間200回を超える主催演奏会を開催しており、希望すれば1年次から実践を目指した合奏系授業科目を履修できる(資料28)。2021年度には、合奏系授業9科目のいずれかを延べ数1,080名の学生が受講しており、管楽器・弦楽器・打楽器

コースなどの対象学生 582 名中、91.1%となる 530 名が履修している。この環境が一流プレイヤーの育成を促し、2019 年に開催された第 7 回アドルフ・サククス国際コンクールで、本学卒業生 2 名が、1 位・2 位を独占した。同コンクールはサクソフォンを発明したサククスの没後 100 年を記念して 1994 年に始まり、4 年に一度開催されており、クラシック・サクソフォンのコンクールとしては最高峰として知られている。同コンクール優勝者である本学卒業生は、2020 年度より本学教員を務め、2021 年、川崎市アゼリア輝賞も受賞している（資料 29）。

本学は人材育成の必要性や社会で求められる音楽分野の広がりに対応するとともに、音楽に係る多様な志向をもつ高校生に対するため、引き続きニーズに応じてコースを計画的に設定し定員変更に対応させていく。

以上のような本学の多彩なコース設定は、前述の社会貢献と関係しているとともに、学生確保の面においても功を奏している。

⑥ 定員超過是正と志願者増への対応にもとづく必要性

本学では過去における 1.2 倍を超える定員超過の是正のために平成 21 年度以降、定員超過抑制のための学生募集と入学者選抜を実施してきた。そのため、抑制前から最大で 3 割減と志願者数は大きく減少したが、超過率は認可申請が可能な数値にまで是正された。そこで規模の適正化を目的に当時の志願者数である 450～500 人規模に対応する定員（420 名）に変更し、その成果として平成 25 年度には、入学定員超過率は 1.02 倍まで低下した。

前述のように、この間の抑制策により志願者は減少していたが、その後は常に前年度比で志願者と志願倍率が増加し続けてきたことから、超過率是正のためにも再び定員規模を再び改める必要があると考え、平成 28 年度に向けては、志願者数 500～550 人規模に対応するため、50 名増の定員変更、令和元年度に向けては、志願者数 600～650 人規模に対応するため 60 名増の定員変更と段階的に行った。その結果、超過率は抑えられたが、令和元年度の志願者・受験者は 700 人近くに達し、令和 2 年度はついに 700 人を超える志願者数・受験者数となり、この志願者の増加に対応するためには、さらに定員規模を改める必要があると考え、令和 5 年度に向けてさらに 60 名増の定員変更を行うこととした。

図表 抑制期から前回定員変更前までの志願者、受験者、超過是正の状況

| | H21 | H22 | H23 | H24 | H25 | H26 | H27 | H28 | H29 | H30 | R1 | R2 | R3 |
|-----------|------|------|------|------|------|------|------|------|------|------|------|------|------|
| 志願者数(実人数) | 598 | 567 | 488 | 442 | 488 | 520 | 534 | 618 | 606 | 622 | 691 | 742 | 731 |
| 入学定員 | 330 | 330 | 330 | 330 | 420 | 420 | 420 | 470 | 470 | 470 | 530 | 530 | 530 |
| 志願倍率 | 1.81 | 1.72 | 1.48 | 1.34 | 1.16 | 1.24 | 1.27 | 1.31 | 1.29 | 1.32 | 1.30 | 1.40 | 1.38 |
| 受験者数(実人数) | 582 | 555 | 475 | 437 | 483 | 515 | 528 | 607 | 602 | 613 | 684 | 729 | 727 |
| 定員超過率 | 1.29 | 1.27 | 1.23 | 1.18 | 1.02 | 1.12 | 1.12 | 1.17 | 1.16 | 1.18 | 1.09 | 1.09 | 1.20 |

その一方で、本学は前述のような人材育成の必要性や社会で求められる音楽分野の広がりに対応するとともに、音楽に係る多様な志向をもつ高校生に対して、ニーズに応じたコースを計画的に設定し、戦略的な学生募集活動を行ってきた。その結果、平成22年度以降落ち込んだ志願者数を徐々に回復させ、定員超過率を一定水準で保ちつつも、令和元年度以降は、700人を超える志願者・受験者を直近2年間に亘って維持するに至っている。全国の大学の音楽学部の入学志願者数及び入学者が減少傾向にあるなかにおいて、本学は、確実に志願者数を回復させる改革と募集戦略を計画的に実施してきたと言える。

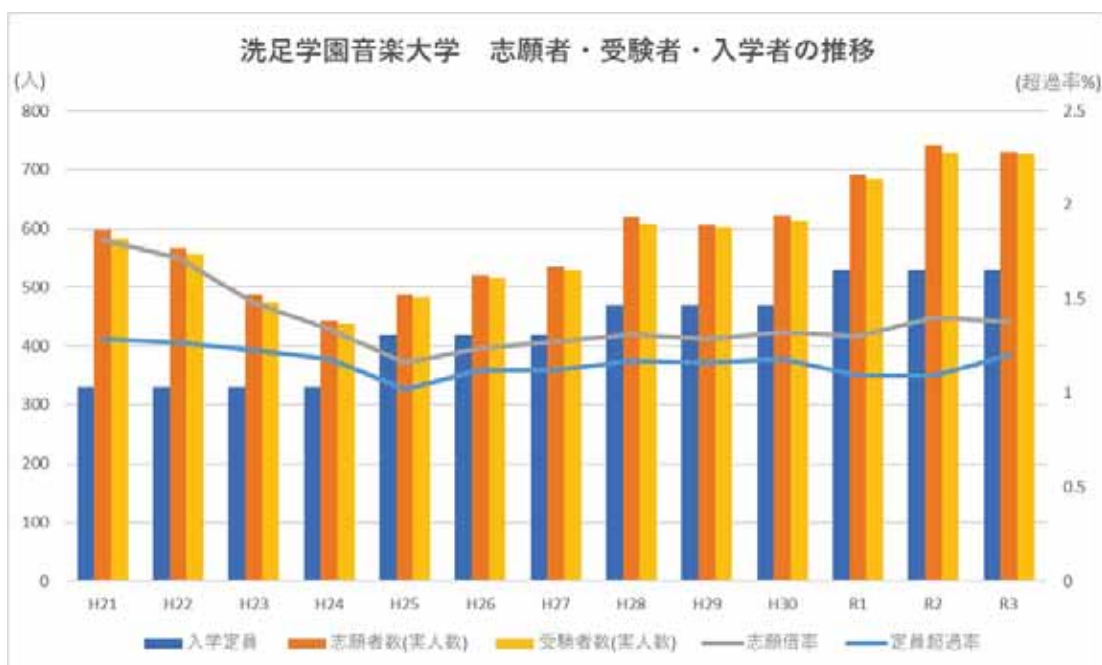
なお、音楽分野を志向する高校生は、志望度の高い大学に絞った志願をする傾向があることから、本学では、他大学との併願関係の構築をせず、高い志願倍率を目指すのではなく、早期より時間をかけ、能力や適性、学習に対する意欲、目的意識を有した本学を第一志望（専願）とする入学意向の高い高校生の確保に重点を置いた丁寧な総合型選抜中心（A0入試）の学生募集を行い、入試区分ごとの募集人員の配分も見直してきた。しかし、定員変更後のさらなる志願者数の増加、700～800人規模の志願者数に対して現在の定員では本学を第一に志向する高校生の進学希望に応じることが困難な状況に陥ることが明らかになってきた。

そこで、音楽に対して多様な志向をもつ高校生に門戸を拡大するため、増加が著しい近年の志願者数である700～800人規模（令和元年度691人、令和2年度742人、令和3年度731人）に対応するためには、早急に入学定員の増加が必要であるとの考えに至り、あわせて本法人及び本学は、定員変更後、定員管理を適正に行う処決をした。

なお、今後の人口推移並びに大学進学等の状況、音楽学部（音楽系統）の大学進学等の状況といった各種の統計データの分析とともに、本学自身の学生確保の見込みや卒業後の進路の見通しについての定量的な調査（資料30、

資料 31、資料 32、資料 33) を実施した結果、今後も引き続き志願者を集め、卒業生の進路確保を見通していくことが可能と見込んでおり、前述のような本学の学生募集戦略によれば、変更後の学生確保も可能と考えている。

図表 本学の志願者、受験者、入学者の推移



以上のように本法人及び本学は、大学教育に対する高校生や社会及び地域からの様々な要請に応えるべく前述の観点から教育研究をさらに展開し、今後もより多くの人材を輩出することで社会的責任を果たすことができると考え、志願者増に対応した定員変更とした後は、定員管理を適正に行う処決をし、音楽学部の定員を増やすとの考えに至った。

3. 学則変更（収容定員変更）に伴う教育課程等の変更内容

収容定員変更に伴って、これまでの教育内容と水準を維持するだけでなく、変更前以上の内容を提供するため、教育課程等の量的、質的な充実をはかる。

(1) 教育課程の変更内容

音楽学部は、教育課程・実施方針にもとづき、専門教育については音楽の探究により、高い芸術性、専門分野の知識・技術を修得するための必修科目、専門選択科目（各コース）、専門選択科目（全コース共通）を設け、さらに専門分野だけでなく、総合的な視野から物事をみることができる能力や豊かな

人間性を涵養するために役立つ「一般総合科目」から編成しており、以下のように収容定員変更に伴って、これまでの教育課程を維持するだけでなく、新たなコース設定を含む充実を図る。なお、本学部は、音楽科教育に係る人材養成のために教職課程に関する科目を設置している。

① 専門教育科目

授業科目の内容については、音楽の基礎理論、基本的な演奏技術、表現技法を練磨するという教育目的・目標に即して、実技・演習系の科目を中核に据えている。具体的な科目としては、「ピアノ奏法研究」などといったレッスン、「室内楽研究」、「オーケストラ研究」、「吹奏楽研究」などが該当する。次にこれらの演奏技術、表現技法を学ぶに際し、「ソルフェージュ」、「和声学」、「対位法」などの科目が理論的背景として必要になってくる。以上が専門教育科目として分類される科目であり、グレード制による年次進行が前提となっている科目が多い。特に音楽を学ぶ上で全ての基礎となるような主要科目については、次の段階での学修・教育を効果的に行えるようグレード制とすることで、履修条件を設け、段階別に教育課程が組まれている。このように授業科目の難易度に応じて前提科目を設け、順次性のある授業科目を体系的配置にしている。本学の教育研究目的に照らし、卒業要件単位 124 単位の修得に必要な科目は十分に開設されており、令和 3 年度における専門教育授業科目は 638 科目、一般総合科目が 74 科目の全開設授業科目数は 712 科目となっている。定員変更後は、専門教育授業科目は 914 科目、一般総合科目は 93 科目、全開設授業科目数は 1,007 科目であり、変更後の定員に対応した十分な授業科目が用意される。

また、多様な入学者に配慮し、入学試験に合格した者に対しては本学がインターネット上に開設したオンラインスクールを通じて、入学までの間にさらに楽典や聴音を勉強する機会（入学前教育）を提供している。入学式後のオリエンテーションでは、初年次導入プログラム（資料 34）を実施している。令和 3 年度は COVID-19 対策の為、SENZOKU ポータル（学内クラウド型グループウェア）にて、①校歌、建学の精神、協働する知性、②コース別履修ガイダンス（カリキュラム説明・学習方法・アカデミックプロデューサー・アカデミックアドバイザー、③学生生活ガイダンス、④自立・挑戦・奉仕、⑤キャリアガイダンス、⑥留学生ガイダンスを実施している。

本学ではこのほかにも入学者が速やかに大学教育に進めるように、教育課

程及び学修支援の両面でいくつかの試みを行っている。第一は、楽典実力試験の実施である。オリエンテーション期間中に、新入生を対象にして楽典実力試験を実施し、不合格者には「音楽理論入門」を受講させている。第二は、少人数制による「ソルフェージュ」授業の実施である。実技の基礎となる「ソルフェージュ」受講者については、第一回目の授業で受講者全員を対象に実力テストを行い、その結果をもとに少人数、能力別クラスを編成する。また、期末試験の結果毎にクラスを編成し直している。さらに、このほかにも基礎的授業に位置づけられる「和声学」をはじめとする音楽理論科目の前提科目として「音楽分析基礎講座」を開講し、少人数できめ細かな指導を実施している（資料 35）。第三は、音楽教養の基礎を学ぶ「音楽史」である。「音楽史」は、初めて学ぶ学生が毎回興味を持つような趣向を加えて実施されるなど、1年生の60%程度が受講する、履修率の高い有用な授業となっている（資料 36）。

このような取組みにより、定員変更により入学者が増加した場合でも、学生の質を担保できると考えている。

② 一般総合科目

教育目標を達成するため、平成 26 年度に、専門選択科目（全コース共通）、専門選択科目（各コース）の見直しとともに、基礎科目の充実及び再編を行い、「スタディスキル養成講座」として2年間に亘って課外授業として開講してきた「読解力養成講座」、「文章力養成講座」、「分析力養成講座」を単位化し、平成 29 年度からは、学部長及びカリキュラム委員会委員長を中心にワーキンググループを発足し、教養教育科目の内容や教育課程の編成方法を検討するなど、教養科目の充実に取り組んできた。

なお、本学ではレッスン・実技も含めた専門科目においても、教養教育を実施している。音楽は教養そのものでもあり、音楽を通じて全人的な教養を深めているという基本方針がある。しかしながら、科目区分として狭義の『教養科目』という名称を使用していることで、専門必修科目や専門選択科目においても教養教育科目が実施されているという本学の基本方針がわかりにくくなっているとの認識に立ち、令和元年度より科目区分「教養科目」を科目区分「一般総合科目」に名称変更し、教養教育は全科目において実施するという本学の考え方を明確にする教育課程編成を実現した。

③ 社会人基礎力

音楽業界を中心に様々な産業・経済・業界・企業の仕組みについて理解を深め、音大生として、社会に求められる能力やスキル、資質などに気づき、それらを自ら学べるようにすること、プロの音楽家ではない一般的な職種や仕事、働き方についての知識も得ることで、在学中から卒業後へのキャリアデザインを試みること、グループワークやディスカッションなどの共同作業をとおして、仲間とのより良いコミュニケーションのあり方などを習得する「キャリアデザイン講座1・2」（資料37）を開講している。

また、演奏会を開催するため必要となるトータルなスキルを習得するための授業として演習科目「演奏会実習」（令和5年度より「社会実践演習」に名称変更）をゼミナール形式で開講している。毎年25～30ゼミを開講しており、幼稚園や保育園等でのコンサートや若者向けのアウトリーチなど、主催側からの要望に応える形で、多岐に亘るジャンルの外部実習演奏を行い、小中学校や病院、老人ホーム等各種施設に赴いて演奏会を開催している。令和元年度は25講座を開講し、939名の学生が履修し、チャリティーコンサートや訪問演奏を行うなど、地域住民の文化的教養を涵養し、文化芸術振興にも寄与している。令和2年度は27ゼミを開講したが、コロナ禍の影響で、演奏会活動が自粛傾向にあったため、動画配信による演奏活動を行った。この科目は、音楽大学に学ぶ学生のキャリア形成に直接関わる有用な科目となっている（資料38）。

これらの正課に加え、キャリア支援に関する組織体制は、進路・キャリア支援委員会を設置し、在学中のキャリア支援に関する事項について検討を行っている。令和2年度にはキャリアセンターを移設し、キャリアカウンセラーの資格を持つ職員を配置している。大学卒業という出口部分を今後さらに強化・充実していく施策の一環として、学生が自由にキャリア・就職の相談・情報収集が出来る開かれたオープンスペースも併設した。当該部門では、キャリアカウンセラーによるガイダンスのフォローとして、個別の進路相談にも重点を置いている。令和2年度は、上半期はオンラインでのイベントを強化して実施した。個別相談もオンラインで行った。「就職活動HAND BOOK」を作成し、学生の就職への意識の醸成を促した（資料39、資料40）。

令和2年度進路状況については、卒業生452名の内、就職者数は339名（75%）で増加傾向にあり、個人事業主として演奏活動を生業とする者が減少、一般企業への就職が上昇という特徴が見られた（資料41）。本学は、社会人

基礎力を養う教育により、卒業生は音楽関係だけではなく、幅広い進路で活躍している。

④ コース設定

本学は、昭和42年の音楽学部設置当初、音楽学科に4つの専攻（作曲、器楽、声楽、音楽教育）を設置する組織構成として出発し、設置から今日まで教育研究の対象となる音楽分野の領域を広げ、令和4年度は、作曲、音楽・音響デザイン、ピアノ、管楽器、弦楽器、打楽器、電子オルガン、ジャズ、現代邦楽、ロック&ポップス、声楽、ミュージカル、バレエ、声優アニメソング、ダンス、ワールドミュージック、音楽教育、音楽環境創造、の多彩な18コース編成である。尚、令和5年度より、ジャズコースの名称をジャズ&アメリカンミュージックコースへと改称する。

本学のコース制は、所属コース主科を専門的に学ぶとともに、所属コース内外の副科を選択するなど多面的な学修も可能となるよう編成している。

コースには、コース必修科目を設定するとともに、幅広い選択を可能とするために多数の選択科目を配置し、学生一人ひとりへの対応に重きを置いた学修指導等を行っている。そのため、入学者選抜時のグルーピング、室内楽やオーケストラ等の組織編成、教員の配置、履修指導、教室の配当などといった、学生の利便性や教育研究活動の運営上の効率化が、コースの実質的な役割となってきたのが現状である。このコース制は、学生の個性、創造性の多様化や、音楽界の動向などに鑑み、社会の要請に応えるべく、積極的に新しいジャンルを取り込んでおり、学生にとっての選択の幅を拡大してきた。

⑤ 新コース設定による新たな取り組み

定員変更年度である令和5年度には、メディアアーツコースを開設する計画がある。同コースでは、映像と音楽の融合をテーマに多角的なメディア制作を修得し、メディア制作に関するプロフェッショナルな技術と見識を持つ人材を育成する。

そのために、同コースでは「①映像の撮影」「②映像の編集」「③音響制作」の3つの柱を中心に学修し、加えてメディア制作における周辺知識として「④シナリオ制作」「⑤デザイン」、「⑥アニメーション」の学修環境を提供、そしてコンテンツをWEBで発表できる力を修得できるように「⑦WEB制

作」「⑧WEBプログラミング」を学ぶことができる。

3年次より学修者の方向性に合わせて「⑨特殊機材研究」「⑩色彩研究」「⑪CG制作研究」と、3つの専修から選択し、研究を一層深めることができるようにしている。

音楽を収録する現場では楽譜を読める人材が求められているが、本学では音楽大学ならではの「ソルフェージュ」を通して楽譜の基礎を学ぶことができ、「音楽分析基礎講座」や「和声学」では音楽のフレーズのとらえ方や和音のつながりを中心に学び、分析的な目と耳を育てることで真の音楽の理解へつなげることができる。同時に、副科実技として楽器演奏や作曲を学ぶこともでき、楽譜とのつながりを一層深めることができる。

具体的な授業科目としては、コース必修科目の「メディア制作研究Ⅰ～Ⅳ」で上述の①②を学び、「映像制作論Ⅰ～Ⅱ」「応用映像制作論Ⅰ～Ⅱ」では映像に関わる諸理論を学ぶ。「音響制作論Ⅰ～Ⅱ」「応用音響制作論Ⅰ～Ⅱ」では上述の③を学び、これらの授業が本コースの根幹の授業となる。

④は「メディア企画研究Ⅰ～Ⅳ」、⑤は「メディアデザイン研究Ⅰ～Ⅳ」、そして⑥は「アニメーション研究Ⅰ～Ⅳ」で学ぶ。WEB関連では⑦を「WEB制作研究Ⅰ～Ⅱ」、⑧を「WEBプログラミング研究1～2」で学ぶ。

3年次より学修者の方向性に合わせて選択できる科目は「特殊機材研究1～4」「色彩研究1～4」「CG制作研究1～4」となり、2年分の授業科目を用意するとともに、これらは学修したい内容を含む授業のみを履修することもできるし、希望があれば複数の専修を同時に履修することもできる。

その他の科目としては「映像史1～2」「メディアアート論1～2」を開設、また本学が指定する演奏会等の収録に参加することで「応用演奏会収録」の単位が認定される制度を設けており、学生は収録や編集を通してスキルを高めるチャンスに恵まれる。

最後に、昨今では音楽を世に送り出そうとした場合、例えばYouTubeを代表とする動画サーバーにアップロードするのが一般的となっている。音楽のみの配信を利用することのほうが少なくなっており、いわば音楽と映像は一体不可分の関係であるが、このような社会情勢において映像と音楽を融合させる技術の育成は、まさに社会に求められているものと考えられる。

特にCOVID-19の影響による、オンライン上のパフォーマンスが主流となっている昨今の音楽シーンに於いて、新たな教育の分野となる新コースに希望者が多く、DPに基づく学習成果が得られれば、確実に出口との連動も容

易に見込まれる。

メディアアートコース開設にあたっては、そのカリキュラム上、様々な固有の施設・機材等、学修環境の充実も必須であり、その開設に向けて新校舎の建設も予定している。同施設では、成果発表が可能な教室や、同コースと親和性の高い、音楽・音響デザインコース、音楽環境創造コースとの連携したインタラクティブな発表が可能な施設も含めて検討している。

以上のように本学はすでに充実した教育課程を編成しているが、定員変更によりこれまでの教育内容と水準を維持するだけでなく、変更前以上の内容を提供していく。

(2) 教育方法及び履修指導方法の変更内容

教育課程と同様に収容定員変更後も教育方法と履修指導方法を維持するだけでなく、変更前以上の内容を提供する。教育目標及び人材育成の目的をさらに推進し、学生一人ひとりの個別の能力に応じた効果的な教育を実現するために以下の教育方法及び履修指導を引き続き強化していく。

① 教育方法

(ア) 少人数教育の実施

音楽大学としての性格上、演奏技術や表現技法に関する学修が中心であるため、授業としては音楽の実技科目におけるレッスン、演習科目における「オーケストラ研究」、「吹奏楽研究」などの合奏系授業科目、及び「室内楽研究」、「アンサンブル実習」、「バンド・ワークショップ」等アンサンブル系授業科目の比重が高くなっている。教育目標の一つである「音楽家としての基本的な演奏技術・表現方法を修得し、プロフェッショナルを目指すアーティストとしてスタートラインに立てる水準に達すること」を充たす為の専門（主科）実技は、学生一人ひとりの能力・研究目的に応じ、学生毎にテーマを設定し、それぞれの進捗状況に合わせた1対1の個人レッスンを行っており、学修効果は高いものがある。合奏系・アンサンブル系授業科目ではその授業内容から、履修者が多数となるが複数の教員を指導に当てて少人数教育の充実を図っている。オーケストラ研究の場合、同一楽器による練習、同属楽器群を集めての分奏、オーケストラ全体で実施する合奏の三段階を踏むが、本学ではすべての段階においてそれぞれの担当教員を多数配置

し、専門実技指導を強力に推進していくようにしており、定員変更後も少人数教育は維持する。

また、以上の実技科目だけでなく、講義科目、演習科目も1クラス50人以下となるよう、定員変更後も少人数教育をより一層推進していく。

(イ) 多様な学修成果発表の実施

本学学内の演奏会場である前田ホール・ビッグマウス・シルバーマウンテンなどで、大学主催の演奏会・コンサートを多数開催している（資料4）。学生は、多数の聴衆の前で演奏・演技する機会を得ることにより、一般社会の厳しい評価を受け、自らの学修成果を客観的に把握し、結果的により高次の目標を定め、学修を進めていくことが容易になる。本学では、これらの主催演奏会は学修の成果発表の場として位置づけると共に、広範な音楽文化の一端を社会に還元する場として捉え、公開講座として地域住民に広く開放している。主催演奏会の開催状況について、平成30年度～令和2年度の主催演奏会の開催状況について、平成30年度は音楽学部178本、音楽研究科33本、令和元年度は音楽学部164本、音楽研究科35本を開催した（資料42）。令和2年度においてはCOVID-19の影響により前期演奏会は全て中止となったが、後期から再開し、音楽学部119本（107本中止）、音楽研究科34本（3本中止）を開催した。また、開催するにあたっては無観客、或いは来場者を関係者のみに限定したため、演奏会によってはYouTubeによる配信を行い、より多くの方に聴いていただく機会を設けた。定員増による量的対応には支障がないと考えている。

(ウ) 多彩な教育プログラム

異なる文化を肌で感じ、普段とは違う環境で学び、本物に触れる機会を持つことは、自らの音楽性をより一層高め音楽表現の可能性や視野をさらに広げる。より豊かな音楽性を育むために、海外での研修や演奏活動等、積極的に取り組んでおり、その一環として海外短期留学をコース毎に行っている。COVID-19以前の令和元年度は、音楽・音響デザインコース、ジャズコース、ピアノコースなどが、それぞれコース所縁の地に担当教員が随行し、現地での特別レッスンや演奏会を行っており、新たなコース設置に伴う海外研修についても、今後検討していく。

| 図表 国際化プログラム | | |
|-----------------|----------------------------|--|
| □演奏旅行 <2019年度> | | |
| 日程 | 演奏会名 | 趣旨・目的 |
| 2019/8/6～8/12 | アメリカ/ボストン 音響デザインコース研修旅行 | パークリー音楽大学との交流コンサート及びハーバード大学作曲コース教授によるマスタークラスを受講し、先進的かつハイレベルな環境でミュージックテクノロジー分野への理解を深める。 |
| 2019/12/8～12/15 | オーストリア 専攻科海外研修旅行 | 演奏会、レッスン、観光等を通して、ヨーロッパ文化を研修する。 |
| 2020/2/5～2/12 | アメリカ/ニューヨーク ジャズコース研修旅行 | ニューヨークの大学との連携（授業見学）、個人レッスン。 |
| 2020/2/12～2/22 | ハンガリー、オーストリア ピアノコース研修旅行 | 学習の根幹である、西欧及び、ヨーロッパの音楽研究は、現地での研修を伴う事が非常に有用であり、同時にこれまで行ってきた学習が、現地での演奏発表の体験など、学習者の現在の音楽学習のあり方について、直接的に考察をする良い機会と考えられる。 |

前述のように、本学における国際化への対応、国際交流に係わる方針については、「社会連携・社会貢献ポリシー」に定めている通りであり、令和元年度初頭の教授会に於いても、学生の海外研修旅行や海外教員招聘プログラムなど、国際交流の促進を図る姿勢が打ち出されている。COVID-19の影響下にある現状においても、同ポリシーに示す通り、この姿勢は変わるものではない（資料6）。この方針に従い、COVID-19の影響により、中断を余儀なくされていた「海外教員招聘制度」などを活用して、国際的に活躍する著名な海外教員を招聘し、本学で特別レッスン・特別講座を実施していく。同制度の実績は、令和元年度は、ヴィルフィート・シュトレレによる特別レッスンやウィーンフィルハーモニー管弦楽団首席ティンパニスト アンTON・ミッターマイヤーによるマスタークラスなど、多岐に亘る33件の特別講座が開催された。元々コースの特定はなく、優秀な海外教員を招聘する制度であり、定員増にあたっては、積極的に同様の招聘を行い、教育研究の充実に努める（資料43）。

平成23年の東日本大震災直後から教職員を中心に「被災地支援チーム」を立ち上げた。毎年学生ボランティアを募り、平成27年度からは「被災地支援委員会」として募金、チャリティーコンサート等、学生教職員が協力して10年に及ぶボランティア活動を行ってきた。各コース教員による「希望と絆チャリティーコンサート」や、ボランティア学生100名超による東北各地でのチャリティーコンサート、学園祭での模擬店などによる募金を行った結果、総額9,557,536円（2016年度日本赤十字社「平成28年度熊本自身災害義援金」に一部寄附）をあしなが東日本大震災遺児支援募金に寄附している（資料44）。これらの活動により、平成26年福島県いわき市より表

彰状、令和元年福島県郡山市より感謝状を受けた。令和2年度はCOVID-19の為に主だった活動は出来なかったが、ボランティア学生の作成・配信による「リモート被災地支援演奏会」を行った(資料45)。この活動を通じて、学生は社会性、コミュニケーション能力の育成など、座学では成し得ない、活きた学習を得ている。本学の教育の目的を踏まえ、令和3年度以降は、「社会連携・社会貢献委員会」に名称変更し、音楽を通じて社会貢献のできる学生を育てていくという教育的観点を堅持し、被災地支援に限らず幅広く活動し、社会と連携していく(資料46)。

(エ) 体験型学習活動の実施

教育目標の一つである「数多くの演奏会の企画・運営・実施に参加することで、実践を通して実社会への適応力、問題解決力、コミュニケーション能力を培う」ために、本学独自の授業形態である「演奏会実習」のクラスを毎年25～30ゼミ開講し、演奏会を開催するため必要となるトータルなスキルを習得させている。演奏会指導教員の下で自主的に演奏会の企画、交渉、運営等の演奏会制作に取り組み、最終目標としてコンサートやライブ・イベントを行う。コンサートやライブ・イベントは学内だけでなく、公共の施設(学校・病院・養護施設、大使館等)で行い、サービス・ラーニング的体験型学修活動を実施していく。「演奏会実習」は「演奏」のための音楽力を身に付け、「演奏会を開催」するために必要とされるトータルなスキルを修得する科目であり、演奏会を実施することで社会貢献も目指している。その目的をより明確にするため、令和5年度より「社会実践演習」と科目名称を変更する。定員の増加に対しては「演奏会実習」のゼミ数の調整により対応することとしている。

その他、体験型学習として以下の活動を推進している。定員の増加に伴い、それぞれの活動もより活発になるものと予測している。

- 1) 本学大学院の優秀な学生に対し、将来教育者又は研究者になるためのトレーニング機会を与えると共に、大学教育の充実、改善、カリキュラムの補完を目的とし、教育補助業務に従事する「ティーチング・アシスタント」(TA)を毎年募集している。令和3年度は8名の大学院生を採用とし、それぞれ担当となった授業の補助を行った。
- 2) 大学院・学部・専攻科に在籍する優秀な学生に対し、図書館サポーターとして、楽譜やCDの検索など、利用者の補助や授業における補助

的業務、研究における補助的業務、授業準備及び授業後の整理・整頓などの業務などを行う、「スチューデント・アシスタント」(SA)を募集している。令和3年度は学部生13名、大学院生2名の計15名が採用となり、利用者の補助、検索業務などを行った。

- 3) 1～3年の学部学生に対し、年間200回を超える主催演奏会を支えるアルバイトとして「演奏会フェロー」を募集している。演奏会の準備・片付け、運営に携わる仕事を主として行い、アートマネジメント、レセプション業務の体験学習の場ともなっている。令和3年度は60名の学部学生が採用となり、演奏会の運営に携わる仕事を行った。

(オ) 授業形態の追加

COVID-19の影響によって、令和2年度、令和3年度と、オンラインでの授業が増えている。教育方法の充実を図るため、授業の形態について改めて定めるとともに、大きな教育効果・学習効果を得ることが期待できると考えられる多様なメディアを利用して行うICTを活用した授業を実施している。

ICTを活用した授業のサポートを行う施策として、①SENZOKUポータルに「教員遠隔授業ガイド」を掲載し、遠隔授業を実施するための要件やツールの使い方を周知し、②配信機材を常設した配信スタジオを整備し、配信及び収録可能な機材を常設するなど、オンデマンド等授業コンテンツの充実を図るとともに、配信や収録に係る技術的な側面の支援を図っている(資料47、資料48)。

② 履修指導方法

(ア) アカデミック・プロデューサー制度及びアカデミック・アドバイザー制度

学生一人ひとりを、入学時より卒業時まで一貫して指導・支援する体制として、「アカデミック・プロデューサー (AP) 制度」及び「アカデミック・アドバイザー (AA) 制度」を導入している。アカデミック・アドバイザーは、入学後の履修相談を皮切りに、その後の学修相談や個別相談を通じて学びの点はもちろんのこと、将来の夢や学生生活上の悩みを含め、様々な相談に対する助言をしてゆく役割を果たす。アカデミック・プロデューサーはアカデミック・アドバイザーを統括し、直接的・間接的に学生の入学時より卒業後数年間の社会生活に至るまで、一貫して指導・支援する。収容定員増に伴

い、アカデミック・プロデューサー1名、アカデミック・アドバイザー2名を増員する計画である（資料49）。

(イ) ガイダンスの実施

入学時の4月初旬にオリエンテーション・初年次導入プログラムを実施し、教育目的・カリキュラム・履修要項・年間授業計画などについて説明を行い学修への動機づけとする。さらに、合奏授業・アンサンブル系授業・演奏会実習などの履修者希望者が多数の科目については、個別にガイダンスを実施し、履修指導を行う。これらは、従来通り行うことが可能である。

(ウ) シラバス・履修モデルの提示

本学では、授業科目の難易度に応じて前提科目を設け、科目名にローマ数字(I、II、IIIなど)を付し、順次性のある授業科目の体系的配置にしている。ローマ数字のグレードを付された科目については、若い数字から順に合格しなければ、次のグレードに進むことができない。シラバスに各科目の前提科目・履修の条件を記載し、段階的に学ぶことで順次性の確保に努めている。順次性のある授業科目の体系的配置に基づいて、履修科目を選択するに当たっての参考資料として履修モデルを提示している。

シラバスには、全ての授業科目で授業形態や配当年次、主題・到達目標や年間授業計画などを明示する。したがって、学生は事前に授業内容に目を通し、授業に臨むことができる。各年次に亘って学生は、十分な自学自習の時間が確保できるようになる。また、履修モデルは、学生の4年間の履修計画を構想する際の目安を提供するものとなっており、各学生の計画的な学びに対応できるよう、後述する個別履修指導にも役立てている（資料50）。

(エ) CAP 制の導入

単位制度を実質化し、学修すべき授業科目を精選することで十分な学修時間を確保し、授業内容を深く身につけることを目的として、年間履修登録単位数の上限を、前年度 GPA に応じて定める CAP 制を導入する。具体的には以下のとおりとする。前年度 GPA 2.0 以上の者は上限 48 単位、GPA 1.5 以上 2.0 未満の者は上限 44 単位、GPA 1.0 以上 1.5 未満の者は上限 40 単位、GPA 1.0 未満の者は 36 単位とする（資料 51）。

(オ) 成績不振者等への個別指導の実施

アカデミック・アドバイザーによる GPA 1.5 未満の成績不振学生に対する個別履修指導を実施する。また、学年標準修得単位数（1 年次 31 単位・2 年次 62 単位・3 年次 93 単位）を設け、修得単位数が少ない学生に対しては、教務委員会、アカデミック・プロデューサー、アカデミック・アドバイザーの連携の下、これらの学生に対する個別履修指導体制を実施する。これらのアドバイザーの増員については、前述のとおりである。

(カ) 初年次教育の強化

総合型選抜（AO 入試）・学校推薦型（指定校）・総合型選抜（プレカレッジ）に合格した者に対しては、冬期講習会特別クラス、及び本学がインターネット上に開設した洗足オンラインスクールを通じて、入学までの間にさらに楽典や聴音を学修する機会を提供し、入学者が速やかに大学教育に進めるようにする（資料 21）。これにより、初年次から学生の質を担保する。

(3) 教員組織の変更内容

① 教員組織編成の方針と体制

本学では、専任の教授・准教授・講師・助教の資格をそれぞれ定め、専攻分野において優れた知識又は経験を有すると認められる者、大学における教育を担当するにふさわしい教育上の能力を有すると認められる者を配置している。特に核となる教員には上記の資格だけでなく、本学における教育研究活動・組織を統括・運営できる能力を有すると認められる者としている。

また、本学は、音楽の探究により、高い芸術性、専門分野の知識・技術を修得するとともに、日々の地道な研鑽を積み重ねる中、個性と創造性を発揮しながら「主体的な学び」を実践することで、人生の目的、本当の自分を見出し、豊かな人間性と実行力を備え自立した人間を育成することを目的としており、それを実現するために、適切な教員組織を恒常的に整備している。

そのための教員の任免・昇格については、学則及び「洗足学園音楽大学人事委員会規程」に定められた手続に則り進め、候補者の選考基準については、「洗足学園音楽大学専任教員選考規程」に基づき、経験、専攻分野での能力、教育・研究業績を判断材料としている（資料 52）。教員の募集については、幅広く応募を受け付ける公募制と、教員が持つ人脈等による推薦制の 2 本立

てで行っている。公募制については、まず研究業績・コンクール受賞歴・演奏歴・教育指導歴による書類審査を行い、その後、書類審査合格者には学部長による面接を行い、合否を判定する。出身大学、経歴に偏りなく幅広い応募があり、また、公平な審査に基づいた採用ができています。一方、教員からの推薦においても、演奏歴・コンクール受賞歴を重視した書類審査を行い、採用を決定している。音楽大学の特徴としてレッスン重視の教育課程編成であり、学生は、実際に楽器などを師事する教員を選ぶ傾向にあるため、各楽器など専門分野に秀でた教員が必要であり、必然的に主要楽団に所属する現役の演奏家、著名な演奏家を数多く採用している。

なお、専任教員数はコース毎の分野と学生数に応じて増減する編成方針となっており、新コースの設立やコース学生数の増加に対応し、本学の教育理念・目的や教育内容に沿って教育の質を保つこととしている。定員変更前の令和3年度と変更後の令和5年度、完成年度である令和8年度でコース別の専任教員一人当たりの学生数が一定の範囲となるように教員配置を計画している（資料53）。

また、本学の教育課程は、コースが独自の専門性を有するため、各コースを代表・統括する専任教員を配置している。この専任教員はアカデミック・プロデューサー（AP）と呼ばれており、「キャリア形成」を支援し学生を卒業まで「一貫指導」する一方、各コースの教育・指導方針の策定などの業務を行っている。AP統括の下、各コースより選出されたアカデミック・アドバイザー（AA）を務める教員64名を配置している。このAAは、一人当たり36名程度の学生を担当し、個人の専門知識を活かしながら、履修及び修学アドバイジングなど、学生生活の支援を行っている（資料49）。一方、全学的な委員会組織にて、諸問題の解決、コース間の連携を定例的に行い、AP・AAを通じて学生から聴取した問題等について審議するなど、全方位の連携体制を構築している。

年間200回を超える演奏会の運営について、平成27年度より、「アカデミック・コーディネーター（AC）制度」を導入し、ACとして選出された教員が、授業等の専任教員の指示に基づき全体の調整・連絡など演奏会のマネジメントを主体的に行っている。広報、集客、運営についてACである教員が、指導する専任教員だけでなく出演する学生をマネジメントすることにより、教育面にも取り込む試みとなっている（資料54）。

そのほか、本学が教育理念・目的を達成するために設定した「主体的な学

び」の実践に向けて、学生の主体性を尊重した幅広い選択が可能な体系及び配慮の行き届いた指導を可能とするために効果的な学修サポートシステムを構築している。具体的には、教育課程において多数の選択科目を開講していること、中核科目と位置づけている1対1のレッスン（各コースの奏法研究等）において、幅広い選択肢（担当教員）を用意していること、同じく中核科目である合奏・アンサンブル授業（オーケストラ研究他）や音楽理論（和声学、ソルフェージュ等）に、きめ細やかな指導を行える布陣を揃えていることである。レッスンについては、専任教員以外にも、第一線の現役の演奏家を多数非常勤講師としていることから、学生は、幅広い選択肢の中からレッスン担当教員を選ぶことができ、希望する憧れの教員から指導を受けることが可能である。合奏については、主に専任教員が授業の中心的指導を行っているが、サポートする兼任教員も合わせて手厚い指導を行っている。

本学は、多様なコースを設けているが、いずれも授業がレッスン主体であるため、各コース・各楽器に相当数の教員を配置することを前提に個別指導を行うことになり、コース必修科目とコース選択科目には専任教員を配置し、非常勤講師についても少人数の学生を担当することになっており、極めて細やかな指導体制と言える（資料 55）。このような本学の教員組織に対して高等学校の教員のヒアリングからは、「つきたい先生がいた」、「教えている先生が第一線で活躍している」、「他大学と比べて先生が丁寧。道を示してくれる」といった評価を得ている。

以上のような教員組織編成の方針と体制は、定員変更後も継続するが、入学定員変更に伴う学生数の増加やコースの新設なども考慮し、令和5年度は69名の教員数を確保している。完成年度の令和8年度においては、学年進行による学生数の増加に応じ、任用、退任、昇格をも含めた教員組織を編成することとし、大学設置基準の必要専任教員数49名を超える70名とする計画である。また、専任教員一人当たりの学生数については、定員変更前の32名から変更後（完成年度）34名程度の増加であり、専任教員以外のアカデミック・アドバイザー（AA）2名の増員を計画しており、定員管理をより適正に行うこととあわせて、現在の教育水準を十分に維持できると考える。

② 教員の年齢構成

完成年度の教員組織は、開設時より多い、教授49名、准教授15名、講師6名、計70名配置の計画である。年齢構成については、教授は、60歳～69歳

11名、50歳～59歳37名、40歳～49歳1名、准教授は、50歳～59歳3名、40歳～49歳12名、講師40歳～49歳5名、30歳～39歳1名の構成となっている（資料56）。

教授の60歳～69歳が11名いることは、教育・研究に対して実績・経験が豊富で、教育研究活動・組織を統括・運営できる能力を有する教員を配置しているためであり、准教授については、中長期的な観点も踏まえ、年齢層に偏りがないように配慮している。

以上のように教員組織は、すでに設置基準上の必要専任教員数を上回る人数を配置しており、引き続き教育研究上必要となる専攻分野において優れた知識又は経験を有する者、大学における教育を担当するにふさわしい教育上の能力を有する者を配置し、定員変更の後の教育課程に応じた教員組織を整備する。

（4）大学全体の施設・設備の変更内容

昭和42年に溝の口キャンパス（川崎市高津区）で開学以来、メインキャンパスとして地域に根ざした活動を展開してきた。溝の口以外では、平成6年に開校した横浜キャンパス（横浜市都筑区）を音楽学部ジャズコース及びジャズヴォーカルコースのみ使用していたが、平成20年度末でこのキャンパスの使用を終え、平成21年度より全ての機能を溝の口キャンパスに統合している。

① 校舎等施設、設備

本学において、施設は全て併設の短期大学との共用であり、設置基準上必要な校地面積・校舎面積をともに十分に満たし、必要施設を有している。

本学の校舎は全て耐震基準を満たし、多様化するコースの仕様に合わせ、この10年間で4棟の校舎を建設している。平成27年に竣工した講義のみでなく、オーケストラ・合奏合唱・室内楽等、様々な用途に対応可能なアンサンブルシティや平成30年に竣工したダンス・バレエコースが主に使用するスタジオ機能を備えたホワイトキャッスルなど、それぞれの特色に合わせ名前を付け、魅力ある機能的なキャンパスを整備している。

主要施設についても、アンサンブルシティ、ターミナルL、エチュードステーション、キッズスクウェア、ブラックホール、ブラックホール・アネックスなどの校舎に学生数・教員数に十分対応した講義室、研究室、自習室、

実習室等を配置し、カレッジセンター（学生食堂・売店・ロッカースペース等）等のキャンパス・アメニティ、アンサンブルやオーケストラなど多数の合奏系授業のリハーサルが行えるシルバーマウンテン、ビッグマウス、前田ホールなど充実した設備を保有しており、定員変更後も音楽大学で学ぶ学生や教員の教育研究環境として相応しい校舎を整備している。

定員変更年度の令和5年度にはメディアアーツコースを新設するが、同コース開設に合わせて、これに相応しい設備・施設を整備した新校舎の建設を計画しており、更に、音楽・音響デザインコースや音楽環境創造コースと連携したインタラクティブな成果発表を想定した演習室等も視野に入れている。COVID-19後の新しい生活様式にもマッチした、音楽芸術提供をより充実させる施設を想定している。

「主体的な学び」の実践を教育目標としてかかげている教育課程の特徴として、合奏系授業の充実及び授業成果の発表の場として開催される、年間200回を超えるジャンル・回数とも豊富な演奏会が挙げられる。これらの授業と演奏会を支える施設・設備として、平成25年に竣工したシルバーマウンテン（地上2階・地下1階）には、300㎡を超える演習室が3室あり多数の合奏系授業のリハーサルが行われ、ライブ等も実施可能なビッグマウス、客席1,081席を備えたシューボックス型コンサートホールとなる前田ホールなど、音楽大学で学ぶ学生や教員の教育研究環境として相応しい校舎を整備している（資料57）。

また、コースに応じた施設として、ブラックホールには、大小5つの録音ブースと2つのコントロールルームを備え、ロック&ポップスコース、音楽・音響デザインコース等の学生が最先端の音作りを追求できるプロユースのレコーディングスタジオを備えている。また、アンサンブルシティには、声優アニメソングコース等の学生がアフレコ・アテレコ等の授業を行うためのアフレコスタジオ、シアタースタジオ等を備えている。エチュードステーションの防音及び冷暖房完備の個室84室を学生の自習室とし、原則として授業期間中の平日7:15~22:00と長時間に亘り利用可能となっている。また、土日曜祝日及び授業期間以外も、利用可能な時間を設け、学生の自主的な学習に供している。

平成30年2月に竣工したスタジオ棟であるホワイトキャッスルは、鉄筋コンクリート造の耐火建築物で、地上5階、高さ19.95メートル、建築面積637.96㎡、延べ面積2,655.85㎡となり、バレエ・ダンス用の演習室として

スタジオが7室、音楽環境創造コースの演習室として大スタジオが1室、その他研究所、保健室(医務室)、学生相談室、更衣室を設置している。演習室は広さ約230㎡のスタジオで、外周RCフレームに加えロングスパン鉄骨ハンチ梁架構と直天井により高い天井高をもつ大空間を確保し、様々な授業やレッスンにフレキシブルに対応することを可能としている。音楽環境創造コースでは、舞台スタッフ育成も目的の一つであり、舞台、照明、音響の三分野について教育研究対象としているため、コースの基盤となる施設として舞台機能を備えた演習室を設けている。この演習室は、最大天井高さ6mを確保した、2層吹き抜けの大スタジオであり、高度な音響設備として、従来のアナログ伝送型ではなく、デジタルミキサーを中核に、音声をデジタル伝送する最新のインフラが整備され、舞台上部に大型のメインスピーカー、両サイドにモニター用のスピーカーが設置される。照明設備としては、電動式昇降ボタンが装備され、次世代型舞台照明を意識した構成となっている。パースライト、スポットライト、ムービングライト、フォロースポットライトなど、全てLED球の灯体とし、DMX調光卓、あるいはiPadなどタブレット型端末機によるワイヤレス調光操作が可能となっている。また、敷設される信号線は従来型のDMXケーブル型と最新のイーサネット型が混在するハイブリッド構成となっており、今後の照明業界での機材の変化にも対応できる仕様となっている。加えて、上部ギャラリーを備え、イベントや公演にも幅広く対応できる高機能を有している。なお、ブラックホール1階のイベント対応型教室のビッグマウスには、ホワイトキャッスル1階の教室であるメインスタジオと同等の設備がすでに実装されており、2教室において舞台スタッフ養成の実習を行うことが可能となっている。

令和2年には、ミュージカル用劇場として、客席数300席の「Music Pool Cino(ミュージック・プール・シーノ)」を竣工し、学生数の増加が顕著なミュージカルコースや、音楽環境創造コースの実習の場として活用している(資料58)。

COVID-19の影響下に於いても学習機会を確保するため、令和3年夏には「C603配信スタジオ」を設置し、配信のみならず収録も可能なライブ配信専用機材を常設し、授業コンテンツの充実、学外への配信への利用などを積極的に行っている(資料59)。

学生数が増加傾向にある以下のコースに関しては、すでに次のとおり施設、設備の充実が図られており、今後益々需要が予想されるICT教育への設備も

整備されている。

(ア) 音楽・音響デザインコース

音楽制作を教育研究の中心とするコースであるが、学生数の増加によりその制作環境の拡充及び更新を実施している。

音楽・音響デザインコースの学生が最先端の技術と指導が受けられるよう、大小 5 つの録音ブースや 2 つのコントロールルームを完備した、プロユースのレコーディングスタジオや、講義演習室（コンピュータ室）を整備している。同コースは、このレコーディングスタジオに、本学の豊富なコースから様々な楽器を迎え、実際の録音現場のような演習を行うことで、多くの経験を積むことが出来る。或いは、専用のコンピュータ（Mac：72 台）の使用により、音楽・音響デザインを理解する上で欠かせないシンセサイザー理論、オーディオ理論を学びながらシーケンソフト（DAW）の操作を修得することが可能となる。

(イ) ミュージカルコース

学生数の増加に対応するため、従来バレエコースが使用していた全面リノリウム張りのアンサンブルシティの 3 教室をミュージカルコースの授業用スタジオに充当するとともに、更衣用ロッカーを随時増設、ミュージカルコース学生全員分の数を確保する等、授業環境の整備を実施している。また、令和 2 年に竣工した、客席数 300 席の「Music Pool Cino（ミュージック・プール・シーノ）」を学修成果発表の場として活用している（資料 58）。

(ウ) 声優アニメソングコース

同コース開設時に、アンサンブルシティに、アフレコ・アテレコ専用スタジオ 1 室、レッスン室 1 室を完備していたが、平成 30 年度には、既存スタジオと同等の専用スタジオ 1 室と映像授業等で使用するシアタースタジオ 1 室（音楽音響デザインコースと共用）を新たに設置するなど、学生数の増加に合わせて、毎年、施設・設備面の整備を実施している。声優アニメソングコースの授業に対応するため、2 教室に映像・音響機材も設置した。

(エ) バレエコース・ダンスコース

ホワイトキャッスルは、ダンス、バレエの授業を中心とした専用校舎とな

っており、約 230 m²の 8 教室（スタジオ）には最新の視聴覚施設をはじめ、バレエ用レッスンバー、大型壁面ミラーを設置、床は全面リノリウム張りの乾式二重床構造となっている。また、シャワールームなども充実している。ホワイトキャッスル 1 階のメインスタジオは、最新の音響・照明機材を完備しており公演や発表会も実施可能となっている。

このように、本学の校舎は教育研究環境として相応しいだけでなく、本学の施設は、新たなコースにも対応した魅力ある実用性の高いものとなっている。

また、その他の設備については、ピアノ 330 台をはじめとして、パイプオルガン、チェンバロ、チェレスタ等の設備楽器や弦楽器、管楽器、打楽器等の貸出用楽器 3,086 点、AV 機器などの教室設備、IT 環境など、経年劣化による設備更新を常に行い、教育研究活動の多様な展開への条件を満たしているほか、定員変更の前年度には設備投資を行い、コースの増設や学生数、教育方法等に応じて十分に整備する（資料 60）。

② 図書及び図書館の整備状況

図書館の施設としては、地下 1 階に主に楽譜、図書を収納した閉架式、1 階 2 階に開架式の書架、学生閲覧コーナー、AV ルーム等を備えている。学生閲覧席の規模は 301 席である。館内には各種事典・辞書等を配架したレファレンスコーナー、教員からの推薦本や話題の図書、新規受入資料などをまとめて展示したレコメンドコーナー、学内演奏会の CD・DVD コーナー、教員・卒業生が制作した CD コーナー、音楽関連雑誌コーナー等のほか、PC78 台、CD プレイヤー30 台、DVD・ブルーレイ・プレイヤー30 台の機器を設置している。グループ学習室も 2 室用意し学生のアクティブ・ラーニングの場となっている。図書館が契約する電子ジャーナル・データベース等についても充実させるとともに、スマートフォン等でも利用可能なりモート・アクセス環境も提供し、学習環境の整備に努めている。

本学では、以上のように音楽分野の教育研究環境を考えた施設・設備、その他教育研究等環境についての方針・目標・計画にもとづき、「主体的な学び」の実践を教育目標としてかかげる本学の土台を支える校舎・施設・設備を適切かつ恒常的に維持・管理しており、定員変更後も十分対応できる環境を整

えている。なお、これらの施設・設備は、魅力あるキャンパスとしての一面も有しており、学生募集上も有効なものとなっている。

【目次】

- 資料 1 教育課程等の概要
- 資料 2 大学案内 2022 抜粋：学びのサイクルと成長する力・協働する力
- 資料 3 大学案内 2022 抜粋：200 回を超える演奏会
- 資料 4 2021 年度主催演奏会
- 資料 5 2040 年に向けた高等教育のグランドデザイン（抜粋）
- 資料 6 社会連携・社会貢献ポリシー
- 資料 7 2021 年度「音楽のまち・かわさき」推進協議会理事会議案書
- 資料 8 2021 年度ジュニア音楽リーダー育成事業活動報告書
- 資料 9 川崎市長副申書
- 資料 10 2019-2021 高津区との連携（実績）
- 資料 11 社会連携・社会貢献委員会議事録等・2021 年度活動まとめ
- 資料 12 昭和大学包括連携協定書・活動記録
- 資料 13 昭和大学との連携教育
- 資料 14 昭和大学リカレントカレッジ入学式における講師派遣について
- 資料 15 ミュージカルで被害防止高津警察署への協力
- 資料 16 2019 年 4 月 4 日教授会議事録
- 資料 17 Berklee college of music 提携
- 資料 18 マヒドン大学提携
- 資料 19 第一回「洗足音楽大学」杯～目指せ！電腦アフレコ王～
- 資料 20 SENZOKU ONLINE SCHOOL OF MUSIC
- 資料 21 オンラインスクール入学前教育
- 資料 22 伝統音楽デジタルライブラリー
- 資料 23 SENZOKU ONLINE SCHOOL OF MUSIC（中国語版）
- 資料 24 高校教員ヒアリング調査
- 資料 25 音楽・音響デザインコースリーフレット
- 資料 26 声優アニメンタリングコースリーフレット
- 資料 27 ミュージカルコースリーフレット
- 資料 28 大学案内 2022 抜粋：多彩な合奏授業
- 資料 29 川崎市文化賞

- 資料 30 【洗足学園音楽大学】「入学意向調査」全体集計
- 資料 31 【洗足学園音楽大学】「入学意向調査」結果報告書
- 資料 32 【洗足学園音楽大学】「採用意向調査」全体集計
- 資料 33 【洗足学園音楽大学】「採用意向調査」結果報告書
- 資料 34 2021 年度オリエンテーション日程
- 資料 35 音楽分析基礎講座シラバス
- 資料 36 音楽史シラバス
- 資料 37 キャリアデザイン講座 1・2 シラバス
- 資料 38 演奏会実習シラバス
- 資料 39 2021 年キャリアガイダンス一覧
- 資料 40 就職活動ハンドブック
- 資料 41 進路状況
- 資料 42 公開講座開設状況
- 資料 43 海外教員招聘プログラム
- 資料 44 被災地支援-10 年間まとめ
- 資料 45 リモート被災地演奏会
- 資料 46 2021 年 3 月 4 日教授会議事録
- 資料 47 教員遠隔授業ガイド
- 資料 48 2021 年 7 月 8 日教授会議事録
- 資料 49 AP・AA 制度
- 資料 50 2021 年度履修モデル
- 資料 51 2021 年度履修要項 GPA
- 資料 52 人事委員会規程・専任教員選考規程
- 資料 53 収容定員増に基づく設置基準上必要専任教員数および学生教員比
- 資料 54 アカデミック・コーディネーター規程
- 資料 55 授業科目の専兼比率
- 資料 56 専任教員年齢構成
- 資料 57 施設
- 資料 58 施設：MUSIC POOL CINO
- 資料 59 施設：C603 配信スタジオ
- 資料 60 設備楽器

| 教育課程等の概要 | | | | | | | | | | | | | | |
|-------------|-------------|------|-----|----|----|------|----|-------|----------|-----|----|----|-----|-----|
| (音楽学部音楽学科等) | | | | | | | | | | | | | | |
| 科目区分 | 授業科目の名称 | 配当年次 | 単位数 | | | 授業形態 | | | 専任教員等の配置 | | | | | 備考 |
| | | | 必修 | 選択 | 自由 | 講義 | 演習 | 実験・実習 | 教授 | 准教授 | 講師 | 助教 | 助手 | |
| 必修科目（各コース） | 作曲技法研究Ⅰ | 1通 | | 3 | | | | ○ | 1 | | | | | 兼4 |
| | 作曲技法研究Ⅱ | 2通 | | 3 | | | | ○ | 2 | | | | | 兼1 |
| | 作曲技法研究Ⅲ | 3通 | | 3 | | | | ○ | 1 | | | | | 兼5 |
| | 作曲技法研究Ⅳ | 4通 | | 3 | | | | ○ | 1 | | | | | 兼2 |
| | 作曲理論研究Ⅰ | 1通 | | 3 | | | | ○ | 1 | | | | | 兼5 |
| | 作曲理論研究Ⅱ | 2通 | | 3 | | | | ○ | 2 | | | | | 兼3 |
| | 作曲理論研究Ⅲ | 3通 | | 3 | | | | ○ | 2 | | | | | 兼4 |
| | 作曲理論研究Ⅳ | 4通 | | 3 | | | | ○ | 1 | | | | | 兼2 |
| | 創作技法研究Ⅰ | 1通 | | 6 | | | | ○ | 4 | 1 | 2 | | | 兼27 |
| | 創作技法共同研究Ⅰ | 1通 | | 6 | | | | ○ | | | | | | 兼1 |
| | 創作技法研究Ⅱ | 2通 | | 6 | | | | ○ | 2 | | 2 | | | 兼27 |
| | 創作技法共同研究Ⅱ | 2通 | | 6 | | | | ○ | | | | | | 兼1 |
| | 創作技法研究Ⅲ | 3通 | | 6 | | | | ○ | 4 | | 1 | | | 兼28 |
| | 創作技法共同研究Ⅲ | 3通 | | 6 | | | | ○ | | | | | | 兼1 |
| | 創作技法研究Ⅳ | 4通 | | 6 | | | | ○ | 2 | | 1 | | | 兼29 |
| | 創作技法共同研究Ⅳ | 4通 | | 6 | | | | ○ | | | | | | 兼1 |
| | ピアノ奏法研究Ⅰ | 1通 | | 6 | | | | ○ | 4 | 1 | | | | 兼13 |
| | ピアノ奏法研究Ⅱ | 2通 | | 6 | | | | ○ | 5 | 1 | | | | 兼13 |
| | ピアノ奏法研究Ⅲ | 3通 | | 6 | | | | ○ | 4 | 1 | | | | 兼14 |
| | ピアノ奏法研究Ⅳ | 4通 | | 6 | | | | ○ | 5 | 1 | | | | 兼15 |
| | 管楽器奏法研究Ⅰ | 1通 | | 6 | | | | ○ | 9 | 2 | 1 | | | 兼46 |
| | 管楽器奏法研究Ⅱ | 2通 | | 6 | | | | ○ | 7 | 2 | 1 | | | 兼51 |
| | 管楽器奏法研究Ⅲ | 3通 | | 6 | | | | ○ | 6 | 2 | 1 | | | 兼50 |
| | 管楽器奏法研究Ⅳ | 4通 | | 6 | | | | ○ | 7 | 2 | 1 | | | 兼45 |
| | 弦楽器奏法研究Ⅰ | 1通 | | 6 | | | | ○ | 2 | | | | | 兼8 |
| | 弦楽器奏法研究Ⅱ | 2通 | | 6 | | | | ○ | 1 | 1 | | | | 兼5 |
| | 弦楽器奏法研究Ⅲ | 3通 | | 6 | | | | ○ | 1 | 1 | | | | 兼4 |
| | 弦楽器奏法研究Ⅳ | 4通 | | 6 | | | | ○ | 1 | | | | | 兼8 |
| | 打楽器奏法研究Ⅰ | 1通 | | 6 | | | | ○ | 1 | 1 | | | | 兼5 |
| | 打楽器奏法研究Ⅱ | 2通 | | 6 | | | | ○ | 1 | 1 | | | | 兼7 |
| | 打楽器奏法研究Ⅲ | 3通 | | 6 | | | | ○ | 1 | | | | | 兼8 |
| | 打楽器奏法研究Ⅳ | 4通 | | 6 | | | | ○ | 1 | | | | | 兼5 |
| | 電子オルガン奏法研究Ⅰ | 1通 | | 6 | | | | ○ | 1 | | | | | 兼3 |
| | 電子オルガン奏法研究Ⅱ | 2通 | | 6 | | | | ○ | 1 | | | | | 兼4 |
| | 電子オルガン奏法研究Ⅲ | 3通 | | 6 | | | | ○ | 1 | | | | | 兼3 |
| | 電子オルガン奏法研究Ⅳ | 4通 | | 6 | | | | ○ | 1 | | | | | 兼3 |
| | ジャズ奏法研究Ⅰ | 1通 | | 6 | | | | ○ | 1 | | | | | 兼14 |
| | ジャズ奏法研究Ⅱ | 2通 | | 6 | | | | ○ | 2 | | 1 | | | 兼8 |
| | ジャズ奏法研究Ⅲ | 3通 | | 6 | | | | ○ | 2 | | 1 | | | 兼10 |
| | ジャズ奏法研究Ⅳ | 4通 | | 6 | | | | ○ | 2 | | | | | 兼11 |
| | 邦楽器奏法研究Ⅰ | 1通 | | 6 | | | | ○ | | | | | | 兼1 |
| | 邦楽器奏法研究Ⅱ | 2通 | | 6 | | | | ○ | | | | | | 兼1 |
| | 邦楽器奏法研究Ⅲ | 3通 | | 6 | | | | ○ | | | | | | 兼1 |
| | 邦楽器奏法研究Ⅳ | 4通 | | 6 | | | | ○ | | | | | | 兼1 |
| | R&P演奏技法研究Ⅰ | 1通 | | 6 | | | | ○ | 4 | | | | | 兼34 |
| R&P演奏技法研究Ⅱ | 2通 | | 6 | | | | ○ | 4 | | | | | 兼34 | |
| R&P演奏技法研究Ⅲ | 3通 | | 6 | | | | ○ | 4 | | | | | 兼34 | |
| R&P演奏技法研究Ⅳ | 4通 | | 6 | | | | ○ | 4 | | | | | 兼34 | |
| 声楽研究Ⅰ | 1通 | | 6 | | | | ○ | 2 | | | | | 兼9 | |
| 声楽研究Ⅱ | 2通 | | 6 | | | | ○ | 1 | | | | | 兼10 | |
| 声楽研究Ⅲ | 3通 | | 6 | | | | ○ | 1 | | | | | 兼10 | |

| | | | | | | | | | | |
|-------------------|----|---|--|---|---|---|---|---|--|-----|
| 声楽研究Ⅳ | 4通 | 6 | | | | ○ | 1 | | | 兼14 |
| シーンスタディⅠ | 1通 | 4 | | | ○ | | 1 | 2 | | 兼7 |
| シーンスタディⅡ | 2通 | 4 | | | ○ | | 1 | 1 | | 兼5 |
| シーンスタディⅢ | 3通 | 4 | | | ○ | | 1 | 1 | | 兼6 |
| シーンスタディⅣ | 4通 | 4 | | | ○ | | 1 | 1 | | 兼7 |
| MSアンサンブル実習Ⅰ | 1通 | 2 | | | | ○ | 1 | 2 | | 兼6 |
| MSアンサンブル実習Ⅱ | 2通 | 2 | | | | ○ | | 1 | | 兼4 |
| MSアンサンブル実習Ⅲ | 3通 | 2 | | | | ○ | 1 | 2 | | 兼3 |
| MSアンサンブル実習Ⅳ | 4通 | 2 | | | | ○ | | 1 | | 兼6 |
| バレエ研究Ⅰ | 1通 | 6 | | | | ○ | 2 | 2 | | 兼23 |
| バレエ研究Ⅱ | 2通 | 6 | | | | ○ | 2 | 2 | | 兼23 |
| バレエ研究Ⅲ | 3通 | 6 | | | | ○ | 2 | 2 | | 兼23 |
| バレエ研究Ⅳ | 4通 | 6 | | | | ○ | 2 | 2 | | 兼23 |
| ASスタジオワーク | 1通 | 2 | | | ○ | | | | | 兼2 |
| 音声表現演習Ⅰ-1 | 2通 | 2 | | | ○ | | | 2 | | 兼10 |
| 音声表現演習Ⅰ-2 | 2通 | 2 | | | ○ | | | 2 | | 兼10 |
| 音声表現演習Ⅱ-1 | 3通 | 2 | | | ○ | | | 2 | | 兼10 |
| 音声表現演習Ⅱ-2 | 3通 | 2 | | | ○ | | | 2 | | 兼10 |
| 音声表現演習Ⅲ-1 | 4通 | 2 | | | ○ | | | 2 | | 兼10 |
| 音声表現演習Ⅲ-2 | 4通 | 2 | | | ○ | | | 2 | | 兼10 |
| ASアンサンブル実習Ⅰ | 1通 | 2 | | | | ○ | 1 | | | |
| ASアンサンブル実習Ⅱ | 2通 | 2 | | | | ○ | | | | 兼1 |
| ASアンサンブル実習Ⅲ | 3通 | 2 | | | | ○ | 1 | | | |
| ASアンサンブル実習Ⅳ | 4通 | 2 | | | | ○ | 1 | | | 兼1 |
| ヴォイスアーティスト技法研究Ⅰ | 1通 | 2 | | | | ○ | 1 | 1 | | 兼13 |
| ヴォイスアーティスト技法研究Ⅱ | 2通 | 2 | | | | ○ | 1 | 1 | | 兼14 |
| ヴォイスアーティスト技法研究Ⅲ | 3通 | 2 | | | | ○ | 1 | 1 | | 兼7 |
| ヴォイスアーティスト技法研究Ⅳ | 4通 | 2 | | | | ○ | 1 | 1 | | 兼13 |
| 舞踊研究Ⅰ | 1通 | 6 | | | | ○ | 2 | | | 兼19 |
| 舞踊研究Ⅱ | 2通 | 6 | | | | ○ | 2 | | | 兼19 |
| 舞踊研究Ⅲ | 3通 | 6 | | | | ○ | 2 | | | 兼19 |
| 舞踊研究Ⅳ | 4通 | 6 | | | | ○ | 2 | | | 兼19 |
| ワールドミュージック専門研究Ⅰ-A | 1通 | 6 | | | | ○ | | | | 兼1 |
| ワールドミュージック専門研究Ⅰ-B | 1通 | 3 | | | | ○ | | | | 兼1 |
| ワールドミュージック専門研究Ⅰ-C | 1通 | 3 | | | | ○ | | | | 兼1 |
| ワールドミュージック専門研究Ⅱ-A | 2通 | 6 | | | | ○ | | | | 兼1 |
| ワールドミュージック専門研究Ⅱ-B | 2通 | 3 | | | | ○ | | | | 兼1 |
| ワールドミュージック専門研究Ⅱ-C | 2通 | 3 | | | | ○ | | | | 兼1 |
| ワールドミュージック専門研究Ⅲ-A | 3通 | 6 | | | | ○ | | | | 兼1 |
| ワールドミュージック専門研究Ⅲ-B | 3通 | 3 | | | | ○ | | | | 兼1 |
| ワールドミュージック専門研究Ⅲ-C | 3通 | 3 | | | | ○ | | | | 兼1 |
| ワールドミュージック専門研究Ⅳ-A | 4通 | 6 | | | | ○ | | | | 兼1 |
| ワールドミュージック専門研究Ⅳ-B | 4通 | 3 | | | | ○ | | | | 兼1 |
| ワールドミュージック専門研究Ⅳ-C | 4通 | 3 | | | | ○ | | | | 兼1 |
| 音楽教育研究Ⅰ | 1通 | 4 | | ○ | | | 1 | | | |
| 音楽教育研究Ⅱ | 2通 | 4 | | ○ | | | | | | 兼1 |
| 音楽教育研究Ⅲ | 3通 | 4 | | ○ | | | 1 | | | |
| 音楽教育研究Ⅳ | 4通 | 4 | | ○ | | | 1 | | | |
| アートマネジメント研究1 | 1通 | 4 | | ○ | | | | | | 兼1 |
| 邦楽実習（民謡）1 | 1通 | 2 | | | | ○ | | | | 兼1 |
| 邦楽実習（謡曲）1 | 1通 | 2 | | | | ○ | | | | 兼1 |
| 邦楽実習（箏）1 | 1通 | 2 | | | | ○ | | | | 兼1 |
| 邦楽実習（笛）1 | 1通 | 2 | | | | ○ | | | | 兼1 |
| 作曲法・編曲法Ⅰ | 2前 | 2 | | ○ | | | 2 | | | |
| 作曲法・編曲法Ⅱ | 2後 | 2 | | ○ | | | 2 | | | |
| 言語表現演習Ⅰ | 1前 | 1 | | ○ | | | 1 | | | |
| 言語表現演習Ⅱ | 1後 | 1 | | ○ | | | | | | 兼1 |
| 身体表現演習Ⅰ | 2前 | 1 | | ○ | | | | | | 兼1 |
| 身体表現演習Ⅱ | 2後 | 1 | | ○ | | | | | | 兼1 |
| 声楽実習 | 1通 | 2 | | | | ○ | | | | 兼7 |
| ピアノ実習 | 1通 | 2 | | | | ○ | 1 | | | 兼9 |

| | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
|------------------|----------------------|----|---|-----|---|---|---|---|----|----|---|---|---|--|--|--|--|--|----|-----|
| | 公演実習 I | 1通 | | 2 | | | | ○ | 1 | | | | | | | | | | | |
| | 公演実習 II | 2通 | | 2 | | | | ○ | 1 | | | | | | | | | | | |
| | 公演実習 III | 3通 | | 2 | | | | ○ | 1 | | | | | | | | | | | |
| | 公演実習 IV | 4通 | | 2 | | | | ○ | 1 | | | | | | | | | | | |
| | 音楽環境創造研究 I - 1 | 1通 | | 4 | | | | ○ | 2 | | | | | | | | | | | |
| | 音楽環境創造研究 I - 2 | 1通 | | 4 | | | | ○ | 2 | | | | | | | | | | | |
| | 音楽環境創造研究 II - 1 | 2通 | | 4 | | | | ○ | 2 | | | | | | | | | | | |
| | 音楽環境創造研究 II - 2 | 2通 | | 4 | | | | ○ | 2 | | | | | | | | | | | |
| | 音楽環境創造研究 III - 1 | 3通 | | 4 | | | | ○ | 2 | | | | | | | | | | | |
| | 音楽環境創造研究 III - 2 | 3通 | | 4 | | | | ○ | 2 | | | | | | | | | | | |
| | 音楽環境創造研究 IV - 1 | 4通 | | 4 | | | | ○ | 2 | | | | | | | | | | | |
| | 音楽環境創造研究 IV - 2 | 4通 | | 4 | | | | ○ | 2 | | | | | | | | | | | |
| | メディア制作研究 I | 1通 | | 8 | | ○ | | | 1 | | | | | | | | | | 兼1 | |
| | メディア制作研究 II | 2通 | | 8 | | ○ | | | 1 | | | | | | | | | | 兼1 | |
| | メディア制作研究 III | 3通 | | 8 | | ○ | | | 1 | | | | | | | | | | 兼1 | |
| | メディア制作研究 IV | 4通 | | 8 | | ○ | | | 1 | | | | | | | | | | 兼1 | |
| | 小計 (128科目) | — | 0 | 550 | 0 | — | | | 45 | 14 | 4 | 0 | 0 | | | | | | | |
| 選択科目 (各コース) | 管弦楽法 | 3通 | | 4 | | ○ | | | 1 | | | | | | | | | | | |
| | 楽曲分析研究 I | 3前 | | 2 | | ○ | | | 1 | | | | | | | | | | | |
| | 楽曲分析研究 II | 3後 | | 2 | | ○ | | | 1 | | | | | | | | | | | |
| | 浄書と音源の制作 | 1通 | | 4 | | ○ | | | 1 | | | | | | | | | | | |
| | 歌曲作曲研究 I | 1前 | | 2 | | ○ | | | | | | | | | | | | | 兼1 | |
| | 歌曲作曲研究 II | 1後 | | 2 | | ○ | | | | | | | | | | | | | 兼1 | |
| | 合唱曲作曲研究 | 2前 | | 2 | | ○ | | | | | | | | | | | | | 兼1 | |
| | 音階研究 | 2後 | | 2 | | ○ | | | 1 | | | | | | | | | | | |
| | 20世紀の和声法研究 | 3前 | | 2 | | ○ | | | | | | | | | | | | | 兼1 | |
| | 20世紀の奏法研究 | 3後 | | 2 | | ○ | | | | | | | | | | | | | 兼1 | |
| | 20世紀の作曲技法 I | 3前 | | 2 | | ○ | | | | | | | | | | | | | 兼1 | |
| | 20世紀の作曲技法 II | 3後 | | 2 | | ○ | | | | | | | | | | | | | 兼1 | |
| | ピアノ実技 1 | 1通 | | 2 | | | | ○ | | 1 | | | | | | | | | | 兼3 |
| | ピアノ実技 2 | 2通 | | 2 | | | | ○ | | | | | | | | | | | | 兼11 |
| | ピアノ実技 3 | 3通 | | 2 | | | | ○ | | 1 | | | | | | | | | | 兼5 |
| | ピアノ実技 4 | 4通 | | 2 | | | | ○ | | | | | | | | | | | | 兼9 |
| | アドバンスト・サポート・レッスン 1 | 1通 | | 4 | | | | ○ | | | | | | | | | | | | 兼1 |
| | アドバンスト・サポート・レッスン 2 | 2通 | | 4 | | | | ○ | | | | | | | | | | | | 兼1 |
| | アドバンスト・サポート・レッスン 3 | 3通 | | 4 | | | | ○ | | | | | | | | | | | | 兼1 |
| | アドバンスト・サポート・レッスン 4 | 4通 | | 4 | | | | ○ | | | | | | | | | | | | 兼1 |
| | ポピュラーミュージック・ハーモニー I | 2前 | | 2 | | ○ | | | | | | | | | | | | | | 兼1 |
| | ポピュラーミュージック・ハーモニー II | 2後 | | 2 | | ○ | | | | | | 1 | | | | | | | | |
| | アドバンスト・ハーモニー | 3通 | | 4 | | ○ | | | | | | | | | | | | | | 兼1 |
| | コンテンポラリー・ハーモニー | 4通 | | 4 | | ○ | | | | | 1 | | | | | | | | | |
| | DAW演習 I | 2通 | | 2 | | | | ○ | | | | 1 | | | | | | | | 兼4 |
| | DAW演習 II | 2通 | | 2 | | | | ○ | | | | | | | | | | | | 兼2 |
| | ProTools 演習 | 2通 | | 2 | | | | ○ | | | | | | | | | | | | 兼1 |
| | リズムセクション・ライティング | 1通 | | 4 | | ○ | | | | | | | | | | | | | | 兼5 |
| | アドバンスト・アレンジングテクニック A | 2通 | | 4 | | ○ | | | | | | | | | | | | | | 兼2 |
| | アドバンスト・アレンジングテクニック B | 2通 | | 4 | | ○ | | | | | | | | | | | | | | 兼1 |
| | 音楽プログラミング入門 | 1通 | | 4 | | ○ | | | | | | 1 | | | | | | | | |
| | オーケストラ・ライティング | 3通 | | 4 | | ○ | | | | | | 1 | | | | | | | | |
| WEBデザイン実習 | 1通 | | 2 | | | | | ○ | | | | | | | | | | | 兼1 | |
| コンピュータ音楽表現 | 2通 | | 2 | | | | ○ | | | | 1 | | | | | | | | | |
| スタジオレコーディング演習 1 | 1通 | | 4 | | | | ○ | | | | | | | | | | | | 兼1 | |
| スタジオレコーディング演習 2 | 2通 | | 4 | | | | ○ | | | | | | | | | | | | 兼1 | |
| スタジオレコーディング演習 3 | 3通 | | 4 | | | | ○ | | | | | | | | | | | | 兼1 | |
| スタジオレコーディング演習 4 | 4通 | | 4 | | | | ○ | | | | | | | | | | | | 兼1 | |
| サウンドエンジニアリング基礎理論 | 1通 | | 4 | | ○ | | | | | | | | | | | | | | 兼2 | |
| サウンドエンジニアリング応用理論 | 2通 | | 4 | | ○ | | | | | | 1 | | | | | | | | | |
| 音響空間エレクトロニクス 1 | 1通 | | 4 | | ○ | | | | | | | | | | | | | | 兼1 | |
| 音響空間エレクトロニクス 2 | 2通 | | 4 | | ○ | | | | | | | | | | | | | | 兼1 | |
| 音響空間エレクトロニクス 3 | 3通 | | 4 | | ○ | | | | | | | | | | | | | | 兼1 | |
| 音響空間エレクトロニクス 4 | 4通 | | 4 | | ○ | | | | | | | | | | | | | | 兼1 | |

| | | | | | | | | | | | | | |
|---------------------------|----|---|--|--|---|---|---|---|---|--|--|--|-----|
| 指導法研究 1-I | 3前 | 2 | | | | ○ | 1 | | | | | | |
| 指導法研究 1-II | 3後 | 2 | | | | ○ | 1 | | | | | | |
| 指導法研究 2-I | 4前 | 2 | | | | ○ | 1 | | | | | | |
| 指導法研究 2-II | 4後 | 2 | | | | ○ | 1 | | | | | | |
| ポピュラーミュージック研究 1-I | 3前 | 2 | | | | ○ | 1 | | | | | | |
| ポピュラーミュージック研究 1-II | 3後 | 2 | | | | ○ | 1 | | | | | | |
| ポピュラーミュージック研究 2-I | 4前 | 2 | | | | ○ | 1 | | | | | | |
| ポピュラーミュージック研究 2-II | 4後 | 2 | | | | ○ | 1 | | | | | | |
| アンサンブル奏法研究 1-I | 3前 | 2 | | | | ○ | 1 | | | | | | |
| アンサンブル奏法研究 1-II | 3後 | 2 | | | | ○ | 1 | | | | | | |
| アンサンブル奏法研究 2-I | 4前 | 2 | | | | ○ | 1 | | | | | | |
| アンサンブル奏法研究 2-II | 4後 | 2 | | | | ○ | 1 | | | | | | |
| ピアノ奏法特殊研究 1 | 1通 | 4 | | | | ○ | | | | | | | 兼1 |
| ピアノ奏法特殊研究 2 | 2通 | 4 | | | | ○ | 2 | | | | | | 兼1 |
| ピアノ奏法特殊研究 3 | 3通 | 4 | | | | ○ | 1 | | | | | | 兼2 |
| ピアノ奏法特殊研究 4 | 4通 | 4 | | | | ○ | | | | | | | 兼1 |
| 応用キーボードソルフェージュ | 1通 | 4 | | | ○ | | | | | | | | 兼1 |
| コミュニケーション&セルフマネージメント・スタディ | 1通 | 4 | | | ○ | | 1 | | | | | | |
| 身体向上メソッド 1 | 1通 | 4 | | | ○ | | | | | | | | 兼2 |
| 身体向上メソッド 2 | 1通 | 4 | | | ○ | | | | | | | | 兼2 |
| 吹奏楽研究 1 | 1通 | 4 | | | ○ | | 7 | 2 | 1 | | | | 兼53 |
| 吹奏楽研究 2 | 2通 | 4 | | | ○ | | 7 | 2 | 1 | | | | 兼53 |
| 吹奏楽研究 3 | 3通 | 4 | | | ○ | | 7 | 2 | 1 | | | | 兼53 |
| 吹奏楽研究 4 | 4通 | 4 | | | ○ | | 7 | 2 | 1 | | | | 兼53 |
| オーケストラ研究 1-1 | 1通 | 4 | | | ○ | | 8 | 3 | | | | | 兼71 |
| オーケストラ研究 1-2 | 2通 | 4 | | | ○ | | 8 | 3 | | | | | 兼71 |
| オーケストラ研究 1-3 | 3通 | 4 | | | ○ | | 8 | 3 | | | | | 兼71 |
| オーケストラ研究 1-4 | 4通 | 4 | | | ○ | | 8 | 3 | | | | | 兼71 |
| オーケストラ研究 2-1 | 1通 | 4 | | | ○ | | 8 | 3 | | | | | 兼71 |
| オーケストラ研究 2-2 | 2通 | 4 | | | ○ | | 8 | 3 | | | | | 兼71 |
| オーケストラ研究 2-3 | 3通 | 4 | | | ○ | | 8 | 3 | | | | | 兼71 |
| オーケストラ研究 2-4 | 4通 | 4 | | | ○ | | 8 | 3 | | | | | 兼71 |
| フルートオーケストラ 1 | 1通 | 4 | | | ○ | | 1 | | | | | | 兼7 |
| フルートオーケストラ 2 | 2通 | 4 | | | ○ | | 1 | | | | | | 兼7 |
| フルートオーケストラ 3 | 3通 | 4 | | | ○ | | 1 | | | | | | 兼7 |
| フルートオーケストラ 4 | 4通 | 4 | | | ○ | | 1 | | | | | | 兼7 |
| サクソオーケストラ 1 | 1通 | 4 | | | ○ | | 2 | | 1 | | | | 兼6 |
| サクソオーケストラ 2 | 2通 | 4 | | | ○ | | 2 | | 1 | | | | 兼6 |
| サクソオーケストラ 3 | 3通 | 4 | | | ○ | | 2 | | 1 | | | | 兼6 |
| サクソオーケストラ 4 | 4通 | 4 | | | ○ | | 2 | | 1 | | | | 兼6 |
| 室内楽研究 1 | 1通 | 2 | | | ○ | | 1 | | | | | | 兼7 |
| 室内楽研究 2 | 2通 | 2 | | | ○ | | 9 | 1 | 1 | | | | 兼36 |
| 室内楽研究 3 | 3通 | 2 | | | ○ | | 9 | 1 | 1 | | | | 兼36 |
| 室内楽研究 4 | 4通 | 2 | | | ○ | | 9 | 1 | 1 | | | | 兼36 |
| ブリティッシュプラス 1 | 1通 | 4 | | | ○ | | | | | | | | 兼8 |
| ブリティッシュプラス 2 | 2通 | 4 | | | ○ | | | | | | | | 兼8 |
| ブリティッシュプラス 3 | 3通 | 4 | | | ○ | | | | | | | | 兼8 |
| ブリティッシュプラス 4 | 4通 | 4 | | | ○ | | | | | | | | 兼8 |
| ファンファーレオーケスト 1 | 1通 | 4 | | | ○ | | 3 | | 1 | | | | 兼20 |
| ファンファーレオーケスト 2 | 2通 | 4 | | | ○ | | 3 | | 1 | | | | 兼20 |
| ファンファーレオーケスト 3 | 3通 | 4 | | | ○ | | 3 | | 1 | | | | 兼20 |
| ファンファーレオーケスト 4 | 4通 | 4 | | | ○ | | 3 | | 1 | | | | 兼20 |
| 吹奏楽指導法 1 | 1通 | 4 | | | ○ | | | | | | | | 兼1 |
| 吹奏楽指導法 2 | 2通 | 4 | | | ○ | | | | | | | | 兼1 |
| 吹奏楽指導法 3 | 3通 | 4 | | | ○ | | | | | | | | 兼1 |
| 吹奏楽指導法 4 | 4通 | 4 | | | ○ | | | | | | | | 兼1 |
| マーチングディレクター概論 1 | 1通 | 4 | | | ○ | | | | | | | | 兼1 |
| マーチングディレクター概論 2 | 2通 | 4 | | | ○ | | | | | | | | 兼1 |
| マーチングディレクター概論 3 | 3通 | 4 | | | ○ | | | | | | | | 兼1 |
| マーチングディレクター概論 4 | 4通 | 4 | | | ○ | | | | | | | | 兼1 |
| 管打合奏 1 | 1通 | 2 | | | | ○ | | | | | | | 兼2 |

| | | | | | | | | | | | | | |
|---------------------|----|---|--|--|--|---|---|---|---|---|--|--|-----|
| 管打合奏 2 | 2通 | 2 | | | | ○ | | | | | | | 兼2 |
| 管打合奏 3 | 3通 | 2 | | | | ○ | | | | | | | 兼2 |
| 管打合奏 4 | 4通 | 2 | | | | ○ | | | | | | | 兼2 |
| 弦楽合奏 1 | 1通 | 4 | | | | ○ | | 2 | | | | | 兼16 |
| 弦楽合奏 2 | 2通 | 4 | | | | ○ | | 2 | | | | | 兼16 |
| 弦楽合奏 3 | 3通 | 4 | | | | ○ | | 2 | | | | | 兼16 |
| 弦楽合奏 4 | 4通 | 4 | | | | ○ | | 2 | | | | | 兼16 |
| ヴィオラ実習 1-1 | 1前 | 1 | | | | ○ | | | | | | | 兼5 |
| ヴィオラ実習 1-2 | 1後 | 1 | | | | ○ | | | | | | | 兼5 |
| ヴィオラ実習 2-1 | 2前 | 1 | | | | ○ | | | | | | | 兼5 |
| ヴィオラ実習 2-2 | 2後 | 1 | | | | ○ | | | | | | | 兼5 |
| ヴィオラ実習 3-1 | 3前 | 1 | | | | ○ | | | | | | | 兼5 |
| ヴィオラ実習 3-2 | 3後 | 1 | | | | ○ | | | | | | | 兼5 |
| ヴィオラ実習 4-1 | 4前 | 1 | | | | ○ | | | | | | | 兼5 |
| ヴィオラ実習 4-2 | 4後 | 1 | | | | ○ | | | | | | | 兼5 |
| 打楽器アンサンブル 1 | 1通 | 4 | | | | ○ | | 1 | 1 | | | | 兼3 |
| 打楽器アンサンブル 2 | 2通 | 4 | | | | ○ | | 1 | 1 | | | | 兼3 |
| 打楽器アンサンブル 3 | 3通 | 4 | | | | ○ | | 1 | 1 | | | | 兼3 |
| 打楽器アンサンブル 4 | 4通 | 4 | | | | ○ | | 1 | 1 | | | | 兼3 |
| 指導グレードマスター講座 1 | 1通 | 4 | | | | ○ | | | | | | | 兼1 |
| 指導グレードマスター講座 2 | 2通 | 4 | | | | ○ | | | | | | | 兼1 |
| 指導グレードマスター講座 3 | 3通 | 4 | | | | ○ | | | | | | | 兼1 |
| 指導グレードマスター講座 4 | 4通 | 4 | | | | ○ | | | | | | | 兼1 |
| オーケストラ演習 1 | 1通 | 2 | | | | ○ | | | | | | | 兼2 |
| オーケストラ演習 2 | 2通 | 4 | | | | ○ | | 1 | | | | | 兼1 |
| オーケストラ演習 3 | 3通 | 4 | | | | ○ | | 1 | | | | | 兼1 |
| オーケストラ演習 4 | 4通 | 4 | | | | ○ | | 1 | | | | | 兼1 |
| 創作演習 | 1通 | 2 | | | | ○ | | | | | | | 兼1 |
| 編曲演習 | 1通 | 2 | | | | ○ | | 1 | | | | | 兼3 |
| ポピュラー奏法研究 1 | 1通 | 2 | | | | ○ | | | | | | | 兼1 |
| ポピュラー奏法研究 2 | 2通 | 2 | | | | ○ | | | | | | | 兼1 |
| 電子オルガン・スタジオエレクトロニクス | 1通 | 2 | | | | ○ | | | | | | | 兼1 |
| 電子オルガン演奏法 1 | 1通 | 2 | | | | ○ | | 1 | | | | | |
| 電子オルガン演奏法 2 | 2通 | 2 | | | | ○ | | 1 | | | | | |
| 演奏グレードマスター講座 1 | 1通 | 4 | | | | ○ | | | | | | | 兼1 |
| 演奏グレードマスター講座 2 | 2通 | 4 | | | | ○ | | | | | | | 兼1 |
| 演奏グレードマスター講座 3 | 3通 | 4 | | | | ○ | | | | | | | 兼1 |
| 演奏グレードマスター講座 4 | 4通 | 4 | | | | ○ | | | | | | | 兼1 |
| オーケストラレシジョン | 1通 | 2 | | | | ○ | | | | | | | 兼1 |
| パイプオルガン実習 | 3通 | 2 | | | | | | ○ | | | | | 兼1 |
| ポピュラー奏法特別研究 1 | 1通 | 2 | | | | | | ○ | | | | | 兼1 |
| ポピュラー奏法特別研究 2 | 2通 | 2 | | | | | | ○ | | | | | 兼1 |
| ポピュラー奏法特別研究 3 | 3通 | 2 | | | | | | ○ | | | | | 兼1 |
| ポピュラー奏法特別研究 4 | 4通 | 2 | | | | | | ○ | | | | | 兼1 |
| ミュージシャンのための英語 1 | 1前 | 2 | | | | ○ | | | | | | | 兼1 |
| ミュージシャンのための英語 2 | 1後 | 2 | | | | ○ | | | | | | | 兼1 |
| アンサンブル/ラボ 1-1 | 1前 | 1 | | | | | ○ | 2 | | 1 | | | 兼13 |
| アンサンブル/ラボ 1-2 | 1後 | 1 | | | | | ○ | 2 | | 1 | | | 兼13 |
| アンサンブル/ラボ 2-1 | 2前 | 1 | | | | | ○ | 2 | | 1 | | | 兼13 |
| アンサンブル/ラボ 2-2 | 2後 | 1 | | | | | ○ | 2 | | 1 | | | 兼13 |
| アンサンブル/ラボ 3-1 | 3前 | 1 | | | | | ○ | 2 | | 1 | | | 兼13 |
| アンサンブル/ラボ 3-2 | 3後 | 1 | | | | | ○ | 2 | | 1 | | | 兼13 |
| アンサンブル/ラボ 4-1 | 4前 | 1 | | | | | ○ | 2 | | 1 | | | 兼13 |
| アンサンブル/ラボ 4-2 | 4後 | 1 | | | | | ○ | 2 | | 1 | | | 兼13 |
| 特別アンサンブル/ラボ 1 | 1前 | 1 | | | | | ○ | 2 | | 1 | | | 兼13 |
| 特別アンサンブル/ラボ 2 | 1後 | 1 | | | | | ○ | 2 | | 1 | | | 兼13 |
| 特別アンサンブル/ラボ 3 | 2前 | 1 | | | | | ○ | 2 | | 1 | | | 兼13 |
| 特別アンサンブル/ラボ 4 | 2後 | 1 | | | | | ○ | 2 | | 1 | | | 兼13 |
| 特別アンサンブル/ラボ 5 | 3前 | 1 | | | | | ○ | 2 | | 1 | | | 兼13 |
| 特別アンサンブル/ラボ 6 | 3後 | 1 | | | | | ○ | 2 | | 1 | | | 兼13 |
| 特別アンサンブル/ラボ 7 | 4前 | 1 | | | | | ○ | 2 | | 1 | | | 兼13 |

| | | | | | | | | | | | | |
|---------------------|-----|---|--|---|---|---|---|---|--|---|--|-----|
| 特別アンサンブル/ラボ 8 | 4後 | 1 | | | ○ | | | 2 | | 1 | | 兼13 |
| ハーモニー 1 | 1前 | 2 | | ○ | | | | 1 | | | | 兼1 |
| ハーモニー 2 | 1後 | 2 | | ○ | | | | 1 | | | | 兼1 |
| ハーモニー 3 | 2前 | 2 | | ○ | | | | 1 | | | | 兼1 |
| ハーモニー 4 | 2後 | 2 | | ○ | | | | 1 | | | | 兼1 |
| ハーモニー 5 | 3前 | 2 | | ○ | | | | 1 | | | | 兼1 |
| ハーモニー 6 | 3後 | 2 | | ○ | | | | 1 | | | | 兼1 |
| ヴォイシング&オーケストレーション 1 | 1前後 | 2 | | ○ | | | | | | | | 兼1 |
| ヴォイシング&オーケストレーション 2 | 2前 | 2 | | ○ | | | | | | | | 兼2 |
| ヴォイシング&オーケストレーション 3 | 2後 | 2 | | ○ | | | | | | | | 兼1 |
| ヴォイシング&オーケストレーション 4 | 3前 | 2 | | ○ | | | | | | | | 兼1 |
| ヴォイシング&オーケストレーション 5 | 3後 | 2 | | ○ | | | | | | | | 兼1 |
| ヴォイシング&オーケストレーション 6 | 4前 | 2 | | ○ | | | | | | | | 兼1 |
| レパトリー 1 | 1前 | 1 | | | | ○ | | | | | | 兼1 |
| レパトリー 2 | 1後 | 1 | | | | ○ | | | | | | 兼1 |
| レパトリー 3 | 2前 | 1 | | | | ○ | | | | | | 兼1 |
| レパトリー 4 | 2後 | 1 | | | | ○ | | | | | | 兼1 |
| レパトリー 5 | 3前 | 1 | | | | ○ | | | | | | 兼1 |
| レパトリー 6 | 3後 | 1 | | | | ○ | | | | | | 兼1 |
| レパトリー 7 | 4前 | 1 | | | | ○ | | | | | | 兼1 |
| レパトリー 8 | 4後 | 1 | | | | ○ | | | | | | 兼1 |
| 作品研究 1 | 2前 | 2 | | ○ | | | | 1 | | | | |
| 作品研究 2 | 2後 | 2 | | ○ | | | | 1 | | | | |
| コンポジション 1 | 3前 | 2 | | ○ | | | | 1 | | | | |
| コンポジション 2 | 3後 | 2 | | ○ | | | | 1 | | | | |
| リズムックトレーニング I | 1前 | 1 | | | | ○ | | | | | | 兼1 |
| リズムックトレーニング II | 1後 | 1 | | | | ○ | | | | | | 兼1 |
| ハウトゥインプロヴァイズ | 1前 | 1 | | | | ○ | | | | | | 兼1 |
| ハウトゥコンポーズ | 1後 | 1 | | | | ○ | | | | | | 兼1 |
| インプロビゼーションテクニック | 2後 | 1 | | | | ○ | | | | | | 兼1 |
| ジャズフレージング入門 | 1後 | 2 | | ○ | | | | | | | | 兼1 |
| リスニング・サーヴェイ 1 | 1前 | 2 | | ○ | | | | 1 | | | | |
| リスニング・サーヴェイ 2 | 1後 | 2 | | ○ | | | | 1 | | | | |
| ジャズ特別奏法研究 1 | 1後 | 1 | | | | | ○ | 2 | | 1 | | 兼13 |
| ジャズ特別奏法研究 2-1 | 2前 | 1 | | | | | ○ | 2 | | 1 | | 兼13 |
| ジャズ特別奏法研究 2-2 | 2後 | 1 | | | | | ○ | 2 | | 1 | | 兼13 |
| ジャズ特別奏法研究 3-1 | 3前 | 1 | | | | | ○ | 2 | | 1 | | 兼13 |
| ジャズ特別奏法研究 3-2 | 3後 | 1 | | | | | ○ | 2 | | 1 | | 兼13 |
| ジャズ特別奏法研究 4-1 | 4前 | 1 | | | | | ○ | 2 | | 1 | | 兼13 |
| ジャズ特別奏法研究 4-2 | 4後 | 1 | | | | | ○ | 2 | | 1 | | 兼13 |
| ミュージックインリリックス 1 | 1前 | 1 | | | | ○ | | | | | | 兼1 |
| ミュージックインリリックス 2 | 1後 | 1 | | | | ○ | | | | | | 兼1 |
| スタジオ・アレンジ | 3後 | 1 | | | | ○ | | | | | | 兼1 |
| キーボードスタディ 1 | 2前 | 1 | | | | ○ | | | | 1 | | |
| キーボードスタディ 2 | 2後 | 1 | | | | ○ | | | | 1 | | |
| アレンジ 1 | 3前 | 2 | | ○ | | | | | | 1 | | |
| アレンジ 2 | 3後 | 2 | | ○ | | | | 1 | | | | |
| アレンジ 3 | 4前 | 2 | | ○ | | | | | | 1 | | |
| アレンジ 4 | 4後 | 2 | | ○ | | | | 1 | | | | |
| ベーシックインプロビゼーション 1 | 1前 | 1 | | | | ○ | | 1 | | | | |
| ベーシックインプロビゼーション 2 | 1後 | 1 | | | | ○ | | 1 | | | | |
| ベーシックインプロビゼーション 3 | 2前 | 1 | | | | ○ | | 1 | | | | |
| ベーシックインプロビゼーション 4 | 2後 | 1 | | | | ○ | | 1 | | | | |
| イヤートレーニング I | 1前 | 2 | | ○ | | | | 1 | | | | |
| イヤートレーニング II | 1後 | 2 | | ○ | | | | 1 | | | | |
| イヤートレーニング III | 2前 | 2 | | ○ | | | | 1 | | | | |
| イヤートレーニング IV | 2後 | 2 | | ○ | | | | 1 | | | | |
| 邦楽ワークショップ 2 | 2通 | 2 | | | | ○ | | | | | | 兼4 |
| 邦楽ワークショップ 3 | 3通 | 2 | | | | ○ | | | | | | 兼4 |
| 邦楽ワークショップ 4 | 4通 | 2 | | | | ○ | | | | | | 兼4 |
| 日本伝統芸能研究 1 | 1通 | 4 | | ○ | | | | | | | | 兼1 |

| | | | | | | | | | | | | | |
|---------------------|-----|---|--|---|---|---|--|---|---|--|---|--|----|
| 声楽基礎演習Ⅰ-1 | 1通 | 2 | | | ○ | | | | 1 | | | | |
| 声楽基礎演習Ⅰ-2 | 1通 | 2 | | | ○ | | | | 1 | | | | |
| 声楽基礎演習Ⅱ-1 | 2通 | 2 | | | ○ | | | | 1 | | | | |
| 声楽基礎演習Ⅱ-2 | 2通 | 2 | | | ○ | | | | 1 | | | | |
| シアターダンス1-1 | 1前 | 1 | | | ○ | | | | 1 | | | | 兼1 |
| シアターダンス1-2 | 1後 | 1 | | | ○ | | | | 1 | | | | 兼2 |
| シアターダンス2-1 | 2前 | 1 | | | ○ | | | | | | | | 兼1 |
| シアターダンス2-2 | 2後 | 1 | | | ○ | | | | | | | | 兼1 |
| 歌曲研究1 | 2通 | 4 | | ○ | | | | | | | | | 兼1 |
| 歌曲研究2 | 2通 | 4 | | ○ | | | | | | | | | 兼1 |
| 歌曲研究3 | 3通 | 4 | | ○ | | | | | | | | | 兼1 |
| 歌曲研究4 | 3通 | 4 | | ○ | | | | | | | | | 兼1 |
| 歌曲研究5 | 3通 | 4 | | ○ | | | | | | | | | 兼1 |
| 専門合唱1 | 1通 | 4 | | | | | | ○ | | | | | 兼2 |
| 専門合唱2 | 2通 | 4 | | | | | | ○ | | | | | 兼2 |
| 専門合唱3 | 3通 | 4 | | | | | | ○ | | | | | 兼2 |
| 専門合唱4 | 4通 | 4 | | | | | | ○ | | | | | 兼2 |
| 合唱指導法(含指揮法) | 2通 | 2 | | | ○ | | | | | | | | 兼2 |
| ピアノ実技 | 1後 | 1 | | | | | | ○ | | | 1 | | |
| オペラ実習1 | 3通 | 4 | | | | | | ○ | | | | | 兼2 |
| オペラ実習2 | 4通 | 4 | | | | | | ○ | | | | | 兼2 |
| オラトリオ実習1 | 2通 | 4 | | | | | | ○ | | | | | 兼1 |
| オラトリオ実習2 | 3通 | 4 | | | | | | ○ | | | | | 兼1 |
| オラトリオ実習3 | 4通 | 4 | | | | | | ○ | | | | | 兼1 |
| 発声の為の解剖学 | 1前 | 2 | | ○ | | | | | | | | | 兼1 |
| IPA音声学 | 1後 | 2 | | ○ | | | | | | | | | 兼1 |
| アコースティックミュージカルスタディ1 | 1通 | 2 | | | | ○ | | | | | | | 兼1 |
| アコースティックミュージカルスタディ2 | 2通 | 2 | | | | ○ | | | | | | | 兼1 |
| アコースティックミュージカルスタディ3 | 3通 | 2 | | | | ○ | | | | | | | 兼1 |
| アコースティックミュージカルスタディ4 | 4通 | 2 | | | | ○ | | | | | | | 兼1 |
| 室内オペラスタディ1 | 1通 | 2 | | | | ○ | | | | | 1 | | |
| 室内オペラスタディ2 | 2通 | 2 | | | | ○ | | | | | 1 | | |
| 室内オペラスタディ3 | 3通 | 2 | | | | ○ | | | | | 1 | | |
| 室内オペラスタディ4 | 4通 | 2 | | | | ○ | | | | | 1 | | |
| ポップスハーモニー実習1 | 1通 | 2 | | | | | | ○ | | | 1 | | |
| ポップスハーモニー実習2 | 2通 | 2 | | | | | | ○ | | | 1 | | |
| ポップスハーモニー実習3 | 3通 | 2 | | | | | | ○ | | | 1 | | |
| ポップスハーモニー実習4 | 4通 | 2 | | | | | | ○ | | | 1 | | |
| ヴォイストレーニング・ラボ1 | 1通 | 2 | | | | ○ | | | | | 1 | | |
| ヴォイストレーニング・ラボ2 | 2通 | 2 | | | | ○ | | | | | 1 | | |
| ヴォイストレーニング・ラボ3 | 3通 | 2 | | | | ○ | | | | | 1 | | |
| ヴォイストレーニング・ラボ4 | 4通 | 2 | | | | ○ | | | | | 1 | | |
| ヴォーカル基礎演習1 | 1通 | 2 | | | | ○ | | | | | 1 | | |
| ヴォーカル基礎演習2 | 2通 | 2 | | | | ○ | | | | | 1 | | |
| ヴォーカル基礎演習3 | 3通 | 2 | | | | ○ | | | | | 1 | | |
| ヴォーカル基礎演習4 | 4通 | 2 | | | | ○ | | | | | 1 | | |
| ヴォイストレーニング1 | 1通 | 2 | | | | | | ○ | | | 1 | | |
| ヴォイストレーニング2 | 2通 | 2 | | | | | | ○ | | | 1 | | |
| ヴォイストレーニング3 | 3通 | 2 | | | | | | ○ | | | 1 | | |
| ヴォイストレーニング4 | 4通 | 2 | | | | | | ○ | | | 1 | | |
| 英会話講座1 | 1通 | 4 | | ○ | | | | | | | 1 | | |
| 英会話講座2 | 2通 | 4 | | ○ | | | | | | | 1 | | 兼1 |
| ミュージカル概論 | 1通 | 4 | | ○ | | | | | | | 1 | | |
| 舞台芸術概論 | 2通 | 4 | | ○ | | | | | | | | | 兼1 |
| 演技論1 | 3前 | 2 | | ○ | | | | | | | 1 | | 兼1 |
| 演技論2 | 3後 | 2 | | ○ | | | | | | | 1 | | 兼1 |
| 演出論1 | 3前 | 2 | | ○ | | | | | | | | | 兼3 |
| 演出論2 | 3後 | 2 | | ○ | | | | | | | | | 兼3 |
| 舞台音楽論1 | 3前 | 2 | | ○ | | | | | | | 1 | | |
| 舞台音楽論2 | 3後 | 2 | | ○ | | | | | | | 1 | | |
| 伝統芸能実習1 | 2前後 | 1 | | | | | | ○ | | | | | 兼2 |

| | | | | | | | | | | |
|------------------|----|---|--|---|---|---|---|---|--|-----|
| バレエ指導特別実習 1 | 1通 | 2 | | | | ○ | 1 | 2 | | |
| バレエ指導特別実習 2 | 2通 | 2 | | | | ○ | 1 | 2 | | |
| バレエ指導特別実習 3 | 3通 | 2 | | | | ○ | 1 | 2 | | |
| バレエ指導特別実習 4 | 4通 | 2 | | | | ○ | 1 | 2 | | |
| ヴォイスアーティスト基礎演習 | 1通 | 2 | | | ○ | | | 1 | | 兼1 |
| ヴォイスアーティスト演習 1-1 | 2通 | 2 | | | ○ | | | 2 | | 兼10 |
| ヴォイスアーティスト演習 1-2 | 2通 | 2 | | | ○ | | | 2 | | 兼10 |
| ヴォイスアーティスト演習 1-3 | 2通 | 2 | | | ○ | | | 2 | | 兼10 |
| ヴォイスアーティスト演習 1-4 | 2通 | 2 | | | ○ | | | 2 | | 兼10 |
| ヴォイスアーティスト演習 2-1 | 3通 | 2 | | | ○ | | | 2 | | 兼10 |
| ヴォイスアーティスト演習 2-2 | 3通 | 2 | | | ○ | | | 2 | | 兼10 |
| ヴォイスアーティスト演習 2-3 | 3通 | 2 | | | ○ | | | 2 | | 兼10 |
| ヴォイスアーティスト演習 2-4 | 3通 | 2 | | | ○ | | | 2 | | 兼10 |
| ヴォイスアーティスト演習 3-1 | 4通 | 2 | | | ○ | | | 2 | | 兼10 |
| ヴォイスアーティスト演習 3-2 | 4通 | 2 | | | ○ | | | 2 | | 兼10 |
| ヴォイスアーティスト演習 3-3 | 4通 | 2 | | | ○ | | | 2 | | 兼10 |
| ヴォイスアーティスト演習 3-4 | 4通 | 2 | | | ○ | | | 2 | | 兼10 |
| アニメソング総合演習 1 | 1通 | 2 | | | ○ | | | | | 兼1 |
| アニメソング総合演習 2 | 2通 | 2 | | | ○ | | 1 | | | 兼1 |
| アニメソング総合演習 3 | 3通 | 2 | | | ○ | | | | | 兼1 |
| アニメソング総合演習 4 | 4通 | 2 | | | ○ | | | | | 兼1 |
| コンテンツ制作 1 | 1通 | 4 | | ○ | | | 1 | | | 兼2 |
| コンテンツ制作 2 | 2通 | 4 | | ○ | | | 1 | | | 兼2 |
| コンテンツ制作 3 | 2通 | 4 | | ○ | | | | | | 兼1 |
| ASダンス演習 1 | 1通 | 2 | | | ○ | | | | | 兼1 |
| ASダンス演習 2 | 2通 | 2 | | | ○ | | | | | 兼1 |
| ASダンス演習 3 | 3通 | 2 | | | ○ | | | | | 兼2 |
| ASダンス演習 4 | 4通 | 2 | | | ○ | | | | | 兼2 |
| AS身体表現実習 | 2通 | 2 | | | | ○ | | | | 兼1 |
| ナレーション基礎演習 | 1通 | 2 | | | ○ | | | 1 | | 兼1 |
| ヴォイスアンサンブル 1 | 1通 | 2 | | | ○ | | | | | 兼1 |
| ヴォイスアンサンブル 2 | 2通 | 2 | | | ○ | | | | | 兼1 |
| ヴォイスアンサンブル 3 | 3通 | 2 | | | ○ | | | | | 兼1 |
| ヴォイスアンサンブル 4 | 4通 | 2 | | | ○ | | | | | 兼1 |
| リズムトレーニング | 2通 | 2 | | | ○ | | | | | 兼1 |
| 舞踊創作研究 1-1 | 1通 | 2 | | | ○ | | | 2 | | 兼19 |
| 舞踊創作研究 1-2 | 1通 | 2 | | | ○ | | | 2 | | 兼19 |
| 舞踊創作研究 1-3 | 1通 | 2 | | | ○ | | | 2 | | 兼19 |
| 舞踊創作研究 1-4 | 1通 | 2 | | | ○ | | | 2 | | 兼19 |
| 舞踊創作研究 1-5 | 1通 | 2 | | | ○ | | | 2 | | 兼19 |
| 舞踊創作研究 2-1 | 2通 | 2 | | | ○ | | | 2 | | 兼19 |
| 舞踊創作研究 2-2 | 2通 | 2 | | | ○ | | | 2 | | 兼19 |
| 舞踊創作研究 2-3 | 2通 | 2 | | | ○ | | | 2 | | 兼19 |
| 舞踊創作研究 2-4 | 2通 | 2 | | | ○ | | | 2 | | 兼19 |
| 舞踊創作研究 2-5 | 2通 | 2 | | | ○ | | | 2 | | 兼19 |
| 舞踊創作研究 3-1 | 3通 | 2 | | | ○ | | | 2 | | 兼19 |
| 舞踊創作研究 3-2 | 3通 | 2 | | | ○ | | | 2 | | 兼19 |
| 舞踊創作研究 3-3 | 3通 | 2 | | | ○ | | | 2 | | 兼19 |
| 舞踊創作研究 3-4 | 3通 | 2 | | | ○ | | | 2 | | 兼19 |
| 舞踊創作研究 3-5 | 3通 | 2 | | | ○ | | | 2 | | 兼19 |
| 舞踊創作研究 4-1 | 4通 | 2 | | | ○ | | | 2 | | 兼19 |
| 舞踊創作研究 4-2 | 4通 | 2 | | | ○ | | | 2 | | 兼19 |
| 舞踊創作研究 4-3 | 4通 | 2 | | | ○ | | | 2 | | 兼19 |
| 舞踊創作研究 4-4 | 4通 | 2 | | | ○ | | | 2 | | 兼19 |
| 舞踊創作研究 4-5 | 4通 | 2 | | | ○ | | | 2 | | 兼19 |
| ワールドミュージック概論 1 | 1前 | 2 | | | ○ | | 1 | | | |
| ワールドミュージック概論 2 | 2前 | 2 | | | ○ | | 1 | | | |
| ワールドミュージック概論 3 | 3前 | 2 | | | ○ | | 1 | | | |
| ワールドミュージック概論 4 | 4前 | 2 | | | ○ | | 1 | | | |
| ワールドミュージック演奏論 1 | 1後 | 2 | | | ○ | | 1 | | | |
| ワールドミュージック演奏論 2 | 2後 | 2 | | | ○ | | 1 | | | |

| | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
|------------------|-----------------|-----|---|------|---|---|--|---|---|----|----|---|---|---|--|--|--|----|----|
| | アニメーション研究Ⅱ | 1後 | | 2 | | ○ | | | | 1 | | | | | | | | | 兼1 |
| | アニメーション研究Ⅲ | 2前 | | 2 | | ○ | | | | 1 | | | | | | | | | 兼1 |
| | アニメーション研究Ⅳ | 2後 | | 2 | | ○ | | | | 1 | | | | | | | | | 兼1 |
| | WEB制作研究Ⅰ | 2前 | | 2 | | ○ | | | | 1 | | | | | | | | | |
| | WEB制作研究Ⅱ | 2後 | | 2 | | ○ | | | | 1 | | | | | | | | | |
| | WEBプログラミング研究Ⅰ | 3前 | | 2 | | ○ | | | | 1 | | | | | | | | | |
| | WEBプログラミング研究Ⅱ | 3後 | | 2 | | ○ | | | | 1 | | | | | | | | | |
| | 特殊機材研究Ⅰ | 3前 | | 2 | | ○ | | | | | | | | | | | | | 兼1 |
| | 特殊機材研究Ⅱ | 3後 | | 2 | | ○ | | | | | | | | | | | | | 兼1 |
| | 特殊機材研究Ⅲ | 4前 | | 2 | | ○ | | | | | | | | | | | | | 兼1 |
| | 特殊機材研究Ⅳ | 4後 | | 2 | | ○ | | | | | | | | | | | | | 兼1 |
| | 色彩研究Ⅰ | 3前 | | 2 | | ○ | | | | | | | | | | | | | 兼1 |
| | 色彩研究Ⅱ | 3後 | | 2 | | ○ | | | | | | | | | | | | | 兼1 |
| | 色彩研究Ⅲ | 4前 | | 2 | | ○ | | | | | | | | | | | | | 兼1 |
| | 色彩研究Ⅳ | 4後 | | 2 | | ○ | | | | | | | | | | | | | 兼1 |
| | CG制作研究Ⅰ | 3前 | | 2 | | ○ | | | | | | | | | | | | | 兼1 |
| | CG制作研究Ⅱ | 3後 | | 2 | | ○ | | | | | | | | | | | | | 兼1 |
| | CG制作研究Ⅲ | 4前 | | 2 | | ○ | | | | | | | | | | | | | 兼1 |
| | CG制作研究Ⅳ | 4後 | | 2 | | ○ | | | | | | | | | | | | | 兼1 |
| | セルフプロデュース論 | 3前 | | 2 | | ○ | | | | | | | | | | | | | 兼1 |
| | 応用演奏会収録1-1 | 1通 | | 1 | | | | | ○ | 1 | | | | | | | | | |
| | 応用演奏会収録1-2 | 1通 | | 1 | | | | | ○ | 1 | | | | | | | | | |
| | 応用演奏会収録1-3 | 1通 | | 1 | | | | | ○ | 1 | | | | | | | | | |
| | 応用演奏会収録1-4 | 1通 | | 1 | | | | | ○ | 1 | | | | | | | | | |
| | 応用演奏会収録2-1 | 2通 | | 1 | | | | | ○ | 1 | | | | | | | | | |
| | 応用演奏会収録2-2 | 2通 | | 1 | | | | | ○ | 1 | | | | | | | | | |
| | 応用演奏会収録2-3 | 2通 | | 1 | | | | | ○ | 1 | | | | | | | | | |
| | 応用演奏会収録2-4 | 2通 | | 1 | | | | | ○ | 1 | | | | | | | | | |
| | 応用演奏会収録3-1 | 3通 | | 1 | | | | | ○ | 1 | | | | | | | | | |
| | 応用演奏会収録3-2 | 3通 | | 1 | | | | | ○ | 1 | | | | | | | | | |
| | 応用演奏会収録3-3 | 3通 | | 1 | | | | | ○ | 1 | | | | | | | | | |
| | 応用演奏会収録3-4 | 3通 | | 1 | | | | | ○ | 1 | | | | | | | | | |
| | 応用演奏会収録4-1 | 4通 | | 1 | | | | | ○ | 1 | | | | | | | | | |
| | 応用演奏会収録4-2 | 4通 | | 1 | | | | | ○ | 1 | | | | | | | | | |
| | 応用演奏会収録4-3 | 4通 | | 1 | | | | | ○ | 1 | | | | | | | | | |
| | 応用演奏会収録4-4 | 4通 | | 1 | | | | | ○ | 1 | | | | | | | | | |
| | 卒業研究 | 4通 | | 4 | | ○ | | | | 12 | 1 | | | | | | | | 兼5 |
| | 小計 (691科目) | - | 0 | 1565 | 0 | - | | | | 40 | 11 | 3 | 0 | 0 | | | | | |
| 選択科目 (全コース共通) | 吹奏楽演奏理論1 | 1通 | | 4 | | ○ | | | | 1 | | | | | | | | | |
| | 吹奏楽演奏理論2 | 2通 | | 4 | | ○ | | | | 1 | | | | | | | | | |
| | 吹奏楽演奏理論3 | 3通 | | 4 | | ○ | | | | 1 | | | | | | | | | |
| | 吹奏楽演奏理論4 | 4通 | | 4 | | ○ | | | | 1 | | | | | | | | | |
| | 音楽史 | 1通 | | 4 | | ○ | | | | 1 | | | | | | | | | 兼1 |
| | 声楽(教職) | 1通 | | 2 | | | | ○ | | 1 | | | | | | | | | 兼1 |
| | 学内リサイタル講座 | 4通 | | 2 | | | | ○ | | 1 | | | | | | | | | |
| | 即興演奏講座(初級) | 1通 | | 2 | | | | ○ | | | | | | | | | | | 兼1 |
| | 即興演奏講座(中級) | 2通 | | 2 | | | | ○ | | | | | | | | | | | 兼1 |
| | 音楽と宗教 | 1前後 | | 2 | | | | ○ | | | | | | | | | | | 兼1 |
| | ジャズの歴史1 | 1前 | | 2 | | ○ | | | | | | | | | | | | | 兼1 |
| | ジャズの歴史2 | 1後 | | 2 | | ○ | | | | | | | | | | | | | 兼1 |
| | ピアノ演奏史 | 1通 | | 4 | | ○ | | | | | | | | | | | | | 兼1 |
| | 管弦楽史 | 2前 | | 2 | | ○ | | | | | | | | | | | | | 兼1 |
| | 楽式論Ⅰ | 2前 | | 2 | | ○ | | | | | 1 | | | | | | | | 兼1 |
| | 楽式論Ⅱ | 2後 | | 2 | | ○ | | | | | 1 | | | | | | | | 兼1 |
| | 音楽美学 | 3後 | | 2 | | ○ | | | | | | | | | | | | | 兼1 |
| | 現代音楽 | 1前後 | | 2 | | ○ | | | | | | | | | | | | | 兼1 |
| | 幼児音楽指導法(含リトミック) | 2通 | | 4 | | ○ | | | | | | | | | | | | | 兼2 |
| | 日本の伝統芸能と音楽 | 1通 | | 4 | | ○ | | | | | | | | | | | | | 兼1 |
| 諸民族の音楽 | 1前後 | | 2 | | ○ | | | | | | | | | | | | | 兼1 | |
| 和声学研究 | 3通 | | 4 | | ○ | | | | | | | | | | | | | 兼1 | |
| 管弦楽概論 | 2通 | | 4 | | ○ | | | | | 1 | | | | | | | | 兼3 | |

| | | | | | | | | | | | | | |
|----------------|----------------|--------|---|-----|---|---|---|----|---|---|---|----|----|
| | ミュージカルⅠ-2 | 1後 | 1 | | | ○ | | 1 | | | | | 兼1 |
| | 記譜法基礎 | 1前後 | 2 | | ○ | | | | 1 | | | | 兼1 |
| | 記譜法概論 | 1通 | 4 | | ○ | | | | 1 | | | | |
| | シンガーソングライター講座1 | 1通 | 2 | | | ○ | | | 1 | | | | |
| | シンガーソングライター講座2 | 2通 | 2 | | | ○ | | | 1 | | | | |
| | シンガーソングライター講座3 | 3通 | 2 | | | ○ | | | 1 | | | | |
| | シンガーソングライター講座4 | 4通 | 2 | | | ○ | | | 1 | | | | |
| | 日本の伝統的歌唱（民謡） | 1234前後 | 1 | | | | ○ | | | | | | 兼1 |
| | 日本の伝統的歌唱（謡曲） | 1234前後 | 1 | | | | ○ | | | | | | 兼1 |
| | 日本の伝統的歌唱（長唄） | 1234前後 | 1 | | | | ○ | | | | | | 兼1 |
| | ITと音楽ビジネス | 1前後 | 2 | | ○ | | | | | | | | 兼1 |
| | 小計（95科目） | — | 0 | 190 | 0 | — | | 23 | 2 | 2 | 0 | 0 | |
| 一般 総合 科目 | 芸術史Ⅰ | 1234前 | 2 | | ○ | | | | | | | | 兼1 |
| | 芸術史Ⅱ | 1234後 | 2 | | ○ | | | | | | | | 兼1 |
| | 外国文学 | 1234前後 | 2 | | ○ | | | | | | | | 兼1 |
| | 法学（日本国憲法） | 1234前後 | 2 | | ○ | | | | | | | | 兼3 |
| | 経済学Ⅰ | 1234前 | 2 | | ○ | | | | | | | | 兼1 |
| | 経済学Ⅱ | 1234後 | 2 | | ○ | | | | | | | | 兼1 |
| | 著作権法 | 1234前後 | 2 | | ○ | | | | | | | | 兼2 |
| | 西洋文化史 | 1234前後 | 2 | | ○ | | | | | | | | 兼1 |
| | キャリアデザイン講座1 | 1234前 | 2 | | ○ | | | 1 | | | | | 兼1 |
| | キャリアデザイン講座2 | 1234後 | 2 | | ○ | | | 1 | | | | | 兼1 |
| | 社会福祉論 | 1234前後 | 2 | | ○ | | | | | | | | 兼1 |
| | ビジネス講座（秘書検定対策） | 1234前後 | 2 | | ○ | | | | | | | | 兼1 |
| | 音響学Ⅰ | 1234前 | 2 | | ○ | | | | | | | | 兼1 |
| | 音響学Ⅱ | 1234後 | 2 | | ○ | | | | | | | | 兼1 |
| | 情報機器の操作 | 2前後 | 2 | | ○ | | | | | | | | 兼2 |
| | 英語Ⅰ-Ⅰ | 1前 | 2 | | ○ | | | | | | | | 兼3 |
| | 英語Ⅰ-Ⅱ | 1後 | 2 | | ○ | | | | | | | | 兼3 |
| | 英語Ⅱ-Ⅰ | 2前 | 2 | | ○ | | | | | | | | 兼1 |
| | 英語Ⅱ-Ⅱ | 2後 | 2 | | ○ | | | | | | | | 兼1 |
| | 独語Ⅰ-Ⅰ | 1前 | 2 | | ○ | | | | | | | | 兼2 |
| | 独語Ⅰ-Ⅱ | 1後 | 2 | | ○ | | | | | | | | 兼2 |
| | 独語Ⅱ-Ⅰ | 2前 | 2 | | ○ | | | | | | | | 兼1 |
| | 独語Ⅱ-Ⅱ | 2後 | 2 | | ○ | | | | | | | | 兼1 |
| | 仏語Ⅰ-Ⅰ | 1前 | 2 | | ○ | | | | | | | | 兼2 |
| | 仏語Ⅰ-Ⅱ | 1後 | 2 | | ○ | | | | | | | | 兼2 |
| | 仏語Ⅱ-Ⅰ | 2前 | 2 | | ○ | | | | | | | | 兼1 |
| | 仏語Ⅱ-Ⅱ | 2後 | 2 | | ○ | | | | | | | | 兼1 |
| | 伊語Ⅰ-Ⅰ | 1前 | 2 | | ○ | | | | | | | | 兼2 |
| | 伊語Ⅰ-Ⅱ | 1後 | 2 | | ○ | | | | | | | | 兼2 |
| | 伊語Ⅱ-Ⅰ | 2前 | 2 | | ○ | | | | | | | | 兼1 |
| 伊語Ⅱ-Ⅱ | 2後 | 2 | | ○ | | | | | | | | 兼1 | |
| 保健体育 | 1前後 | 2 | | ○ | | | | | | | | | 兼3 |
| 体育実技（集中） | 1通 | 1 | | | | ○ | | | | | | | 兼5 |
| ジェンダー1 | 1234前 | 2 | | ○ | | | | | | | | | 兼1 |
| ジェンダー2 | 1234後 | 2 | | ○ | | | | | | | | | 兼1 |
| 心理学Ⅰ | 1234前 | 2 | | ○ | | | | | | | | | 兼1 |
| 心理学Ⅱ | 1234後 | 2 | | ○ | | | | | | | | | 兼1 |
| 読解力養成講座1 | 1234前 | 2 | | ○ | | | | | | | | | 兼1 |
| 読解力養成講座2 | 1234後 | 2 | | ○ | | | | | | | | | 兼1 |
| 文章力養成講座1 | 1234前 | 2 | | ○ | | | | | | | | | 兼1 |
| 文章力養成講座2 | 1234後 | 2 | | ○ | | | | | | | | | 兼1 |

| | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
|---|---------|---|-----------|---|---|---|------|---|----|-----------|---|---|---|--|-----|--|--|--|--|-----|
| 分析力養成講座 1 | 1234前 | 2 | | ○ | | | | | | | | | | | | | | | | 兼1 |
| 分析力養成講座 2 | 1234後 | 2 | | ○ | | | | | | | | | | | | | | | | 兼1 |
| ポピュラー芸術論 | 1234前後 | 2 | | ○ | | | | | | | | | | | | | | | | 兼1 |
| テクノロジーと芸術 | 1234前後 | 2 | | ○ | | | | | | | | | | | | | | | | 兼1 |
| 芸術と社会 | 1234前後 | 2 | | ○ | | | | | | | | | | | | | | | | 兼3 |
| 音響工学芸術論 | 1234前後 | 2 | | ○ | | | | | | | | | | | | | | | | 兼1 |
| プロデュース学 | 1234前後 | 2 | | ○ | | | | | | | | | | | | | | | | 兼1 |
| アートマネジメント入門 | 1234前後 | 2 | | ○ | | | | | | | | | | | | | | | | 兼1 |
| 舞踊史 1 | 1234前 | 2 | | ○ | | | | | | | | | | | | | | | | 兼1 |
| 舞踊史 2 | 1234後 | 2 | | ○ | | | | | | | | | | | | | | | | 兼1 |
| 舞踊史 3 | 1234前 | 2 | | ○ | | | | | | | | | | | | | | | | 兼1 |
| 舞踊史 4 | 1234後 | 2 | | ○ | | | | | | | | | | | | | | | | 兼1 |
| 運動生理学 | 1234前 | 2 | | ○ | | | | | | | | | | | | | | | | 兼2 |
| 栄養学 | 1234後 | 2 | | ○ | | | | | | | | | | | | | | | | 兼2 |
| 解剖学 | 1234前 | 2 | | ○ | | | | | | | | | | | | | | | | 兼1 |
| 動作学 | 1234後 | 2 | | ○ | | | | | | | | | | | | | | | | 兼1 |
| 映像学 1 | 1234前 | 2 | | ○ | | | | | | | | | | | | | | | | 兼1 |
| 映像学 2 | 1234後 | 2 | | ○ | | | | | | | | | | | | | | | | 兼1 |
| D T V 演習 | 1234通 | 2 | | | | ○ | | | | | | | | | | | | | | 兼4 |
| D T P 演習 | 1234通 | 2 | | | | ○ | | | | | | | | | | | | | | 兼4 |
| 建築と芸術 1 | 1234前 | 2 | | ○ | | | | | 1 | | | | | | | | | | | 兼1 |
| 建築と芸術 2 | 1234後 | 2 | | ○ | | | | | 1 | | | | | | | | | | | 兼1 |
| A I と芸術 I | 1234前 | 2 | | ○ | | | | | 1 | | | | | | | | | | | 兼1 |
| A I と芸術 II | 1234後 | 2 | | ○ | | | | | 1 | | | | | | | | | | | 兼1 |
| 作詩基礎研究 1 | 1234前 | 2 | | ○ | | | | | 1 | | | | | | | | | | | 兼1 |
| 作詩基礎研究 2 | 1234後 | 2 | | ○ | | | | | 1 | | | | | | | | | | | 兼1 |
| 社会実践演習 1 | 1通 | 2 | | | | ○ | | | 5 | | 1 | | | | | | | | | 兼19 |
| 社会実践演習 2 | 2通 | 2 | | | | ○ | | | 5 | | 1 | | | | | | | | | 兼19 |
| 社会実践演習 3 | 3通 | 2 | | | | ○ | | | 5 | | 1 | | | | | | | | | 兼19 |
| 社会実践演習 4 | 4通 | 2 | | | | ○ | | | 5 | | 1 | | | | | | | | | 兼19 |
| 応用社会実践演習 1-1 | 1通 | 1 | | | | ○ | | | 1 | | | | | | | | | | | |
| 応用社会実践演習 1-2 | 1通 | 1 | | | | ○ | | | 1 | | | | | | | | | | | |
| 応用社会実践演習 1-3 | 1通 | 1 | | | | ○ | | | 1 | | | | | | | | | | | |
| 応用社会実践演習 1-4 | 1通 | 1 | | | | ○ | | | 1 | | | | | | | | | | | |
| 応用社会実践演習 2-1 | 2通 | 1 | | | | ○ | | | 1 | | | | | | | | | | | |
| 応用社会実践演習 2-2 | 2通 | 1 | | | | ○ | | | 1 | | | | | | | | | | | |
| 応用社会実践演習 2-3 | 2通 | 1 | | | | ○ | | | 1 | | | | | | | | | | | |
| 応用社会実践演習 2-4 | 2通 | 1 | | | | ○ | | | 1 | | | | | | | | | | | |
| 応用社会実践演習 3-1 | 3通 | 1 | | | | ○ | | | 1 | | | | | | | | | | | |
| 応用社会実践演習 3-2 | 3通 | 1 | | | | ○ | | | 1 | | | | | | | | | | | |
| 応用社会実践演習 3-3 | 3通 | 1 | | | | ○ | | | 1 | | | | | | | | | | | |
| 応用社会実践演習 3-4 | 3通 | 1 | | | | ○ | | | 1 | | | | | | | | | | | |
| 応用社会実践演習 4-1 | 4通 | 1 | | | | ○ | | | 1 | | | | | | | | | | | |
| 応用社会実践演習 4-2 | 4通 | 1 | | | | ○ | | | 1 | | | | | | | | | | | |
| 応用社会実践演習 4-3 | 4通 | 1 | | | | ○ | | | 1 | | | | | | | | | | | |
| 応用社会実践演習 4-4 | 4通 | 1 | | | | ○ | | | 1 | | | | | | | | | | | |
| インターンシップ 1 | 2通 | 2 | | | | | | ○ | 1 | | | | | | | | | | | |
| インターンシップ 2 | 3通 | 2 | | | | | | ○ | 1 | | | | | | | | | | | |
| 映像史 1 | 34前 | 2 | | ○ | | | | | | | | | | | | | | | | 兼1 |
| 映像史 2 | 34後 | 2 | | ○ | | | | | | | | | | | | | | | | 兼1 |
| メディアアート論 1 | 34前 | 2 | | ○ | | | | | | | | | | | | | | | | 兼1 |
| メディアアート論 2 | 34後 | 2 | | ○ | | | | | | | | | | | | | | | | 兼1 |
| 小計 (93科目) | - | 0 | 169 | 0 | - | - | - | - | 8 | 1 | 0 | 0 | 0 | | | | | | | |
| 合計 (1007科目) | - | 0 | 2474 | 0 | - | - | - | - | 49 | 15 | 6 | 0 | 0 | | | | | | | |
| 学位又は称号 | 学士 (音楽) | | 学位又は学科の分野 | | | | 音楽関係 | | | | | | | | | | | | | |
| 卒業要件及び履修方法 | | | | | | | | | | 授業期間等 | | | | | | | | | | |
| 必修科目 (各コース) からコース毎の必修科目 (選択必修) を修得し、選択科目 (各コース)、選択科目 (コース共通)、一般総合科目から合わせて124単位以上修得すること。 年間の履修登録単位数の上限は前年度のGPAに基づく。 | | | | | | | | | | 1 学年の学期区分 | | | | | 2期 | | | | | |
| | | | | | | | | | | 1 学期の授業期間 | | | | | 15週 | | | | | |
| | | | | | | | | | | 1 時限の授業時間 | | | | | 90分 | | | | | |

200回を超える

演奏会 Over 200 concerts

2019年度
洗足学園音楽大学
演奏会

オーケストラ、吹奏楽などのクラシックから、ロック、ジャズ、ミュージカル、邦楽など、聴衆の心を引きつける多彩なコンサートの数々。多くの演奏体験を積み重ねることが、豊かな音楽性を育む糧となっています。

2020年度は新型コロナウイルス感染症拡大防止対策により、前期に企画していた演奏会を中止し、延期となりました。後期からはソーシャルメディアを活用し、観覧放送制限のり、オンラインで配信したり新しい生活様式に沿った演奏会を開催してきました。何年通りの開催ができておりましたので、2019年度の演奏会開催実績を掲載しております。

演奏会制作班

演奏会やホトをその役割を担うが、アカデミック、コネクター、コーディネーターと呼ばれる職員です。その職員の指導のもと、出演する学生たちが演奏会の制作に携わり、印刷物の制作から広報まで実践を通して演奏会のマーケティングまでシステムを学んでいます。

| | |
|-------------------------------|--|
| <p>5 May</p> | <ul style="list-style-type: none"> ・ 自前座キヤン(バココンサート) (大塚健一 指揮) ・ DO JAZZ SENZOKU! 2019 ・ 聴取学生によるピアノコンサート ・ 打楽器アンサンブル、夏の演奏会 (山崎洋之 指揮) ・ SENZOKUストリングスオーケストラ演奏会 - 初演の再演 - (古澤廉 指揮) ・ アンサンブルの夜①-NHK全国学校放送コンクール課題曲講習会 (相澤直人 指揮) ・ The Debut!!! ・ アンサンブルレオナルド第27回定期演奏会 (近藤久敏 指揮) ・ Last Spurt ・ クリスマス、タイ ウィンド、アンサンブル演奏会 (タイムモシー、レイニッシュ 指揮) ・ シアトリカル、リネティンク「眠狂生」 ・ フォー・タイ ウィンド、アンサンブル演奏会 (原田慶太 指揮) ・ フォー・タイ ウィンド、アンサンブル演奏会 (大塚英次 指揮) |
| <p>6 June</p> | <ul style="list-style-type: none"> ・ フレッシュマン、ウィンド、アンサンブル演奏会 (増井信貴 指揮) ・ 3rd Year Class Revue ・ 赤足ウィンド、シンフォニー演奏会 (保科洋 指揮) ・ ジャズオーケストラ、オーケストラ夏の演奏会 (増井信貴 指揮) ・ ジャズコースライブ ・ Natsuko Basement GIG ・ フォー・タイ ウィンド演奏会 (潮尾宗利 指揮) ・ 音楽祭第77回定期演奏会 (秋山和慶 指揮) ・ Summer Musical Showcase vol.14 ・ クラシックキタココース演奏会 ・ ベンシツクオーケストラ、チャレンジコンサート2019 (松元宏謙 指揮) ・ 吹奏楽指導者マスタークラス演奏会 ・ ハレエコース前期公演 (秋山和慶 指揮) ・ 邦楽演奏会「和の13」は、伝統と革新 ・ 日中交流コンサート "Friendship Concert" 電子オルガンで劇が交貨の輪 ・ ダンスコース前期公演 ・ SUMMER STAGE 2019 ・ 電子オルガンによる管弦楽曲、ピアノ協奏曲の夕べ (竹内聡 指揮) |
| <p>7 July</p> | <ul style="list-style-type: none"> ・ SUMMER STAGE 2019 ・ フェスタサマーミュージック(KAWASAKI)2019 (秋山和慶 指揮) ・ 多摩美術大学×洗足学園音楽大学コラボレーション 歌劇「モジ、ファン、トゥッチ」ハイライト ・ 2019年度 作曲コース 作品発表演奏会 in Summer |
| <p>8 August</p> | <ul style="list-style-type: none"> ・ Next Generation ・ 学内リサイタル講座 履修4年生によるシオンリサイタル ・ 第2回電子オルガン定期演奏会 |
| <p>9 September</p> | <ul style="list-style-type: none"> ・ 学内リサイタル講座 履修4年生によるシオンリサイタル ・ Song Writers ・ 室内楽七レクシオンチーム演奏会 ・ 第1回ミュージカル公演「The Pejama Game」 ・ プリティッシュグループ第50回記念定期演奏会 (ニコラス、チャイルズ/山本誠雄 指揮) ・ ジャズコース定期演奏会 My Favorite Things |
| <p>10 October</p> | <ul style="list-style-type: none"> ・ 学内リサイタル講座 履修4年生によるシオンリサイタル ・ オペラ公演「魔笛」 (温平英平 指揮) ・ 安永徹・市野あゆみ特別レクシオン生による演奏会 ・ 洗足学園音楽大学4年生による学内リサイタル講座 成績優秀者によるスペシャル・コンサート ・ 洗足学園音楽大学フェスティバル ・ 卒業演奏会 ・ Welcome to the Real World ・ ドラマティック・シアター ・ ニューフェイタル・モニック管弦楽定期演奏会 (秋山和慶 指揮) ・ 第9回音楽大等フェスティバルオーケストラ (井上建貴 指揮) |



11 November

- ・ ピアノ/コンチエルトの夕べ オペラ・デ・シオン合奏によるソロの演奏 (現田英夫 指揮)
- ・ 第41回記念定期演奏会「ソロ」定期演奏会 (伊藤誠英 指揮)
- ・ 秋の歌謡演奏会～伝統の音色、現代の響き、選抜学生によるピアノコンサート
- ・ フォー・タイ ウィンド、アンサンブル演奏会 (フレリッパ、スパーク 指揮)
- ・ レオナルド・オーケストラ演奏会 (橋本健 指揮)
- ・ フレッシュマン、ウィンド、アンサンブル演奏会 (宇、若生、マー、マー 指揮)
- ・ 管弦楽第70回定期演奏会 (シルヴァン、カンパリラン 指揮)
- ・ ハレエコースライブ
- ・ FLYING UP! ミニアコンサートCandle Night JAZZ
- ・ オペラ・デ・シオン with シェリオン (カチエニ、ワゴン 指揮)
- ・ 伊藤和信の歌曲公開講座
- ・ 音楽遺産 vol.1

12 December

- ・ 音楽遺産 vol.2
- ・ 月ランディ・コンサート演奏会 - リコーダーと共に -
- ・ ピアノ/コンチエルトの夕べ (ピアノ/合唱コンサート)
- ・ 合唱の祭典「結集」人 指揮
- ・ 第14回音楽大等フェスティバル演奏会 (秋山和慶 指揮)
- ・ 洗足学園音楽大学クラシックコンサート演奏会 (大和田雄輔 指揮)
- ・ 冬の音楽祭「フル・アンサンブル」の初演 (橋本誠 指揮)
- ・ SENZOKUストリングスオーケストラ演奏会 編曲、再演 (Ynフェリコ、アズステア、ニコ)
- ・ ハレエコース&和楽器アンサンブル演奏会、ゴッパレション企画「くまのり人形 with ナレーション」
- ・ ワールドミュージックコンサート、ウィンド、コンサート
- ・ 赤足ウィンド、シンフォニー演奏会 (シェリー、ジャンケン 指揮)
- ・ フォー・タイ ウィンド、アンサンブル演奏会 (クワン、セタール 指揮)
- ・ ハレエコース&和楽器アンサンブル演奏会、ゴッパレション企画「くまのり人形 with ナレーション」
- ・ ベンシツクオーケストラ、クラシックコンサート2019 (秋山和慶 指揮)
- ・ クリスマス・ウィンド、アンサンブル演奏会 (タケラ、ホストック 指揮)
- ・ ヒロノ・タンザン、コンパチエニ
- ・ サクソフォーン、オーケストラ冬の演奏会 (大井智史 指揮)
- ・ 邦楽ミュージック 第3弾「三人、恋ひ討」
- ・ 第15回音楽教育コース定期演奏会、明日の歌謡祭
- ・ オペラ「美智子」コンサート (時任謙文 指揮)
- ・ Winter Theater 2019
- ・ 第2回ダンスコース後期公演
- ・ 第5回ハレエコース本公演「くまのり人形」 谷津子ハレエ回クラス (松元宏謙 指揮)
- ・ 第5回ハレエコース本公演「くまのり人形」 秋向佐美ハレエ回クラス (橋本健 指揮)
- ・ 第5回ハレエコース本公演「くまのり人形」 グローバルクラス (井田勝大 指揮)

1 January

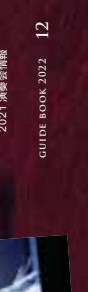
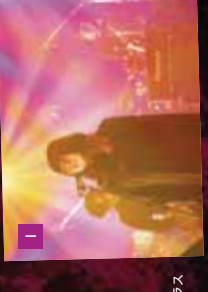
- ・ Senior Musical Showcase Vol.7 (橋本健 指揮)
- ・ 作曲コース 作品発表演奏会 (吉田行 指揮)
- ・ 室内楽コンサート
- ・ 歌曲の祭典
- ・ Winter Musical Showcase vol.2
- ・ 電子オルガンコンサート2019
- ・ ジャズコースライブ
- ・ Senzoku Digital Music & Arts Project
- ・ Harvest vol.1-4

2 February

- ・ 2nd Year Class Revue
- ・ MUSIC DESIGN SYMPHONIC ORCHESTRA & ELECTRO CARNIVAL (須江俊章/山下徹介 指揮)
- ・ 音楽アンサンブル第22回定期演奏会
- ・ Abiding star5 - 声優アニメソングコース (ASコース) 1期生Final Stage
- ・ ダンスコース 学生企画「自主公演」JAM Vol.2
- ・ 室内楽なごもりらいむ演奏会 自主公演
- ・ 第5回音楽教育コース、ソロ、コンサート
- ・ 邦楽第10回定期演奏会 現代邦楽の響き
- ・ 第9回ミュージカルアクトライブ (橋本健 指揮)
- ・ オペラ公演「魔笛」 (温平英平 指揮)

3 March

- ・ 第9回ミュージカルアクトライブ (橋本健 指揮)
- ・ オペラ公演「魔笛」 (温平英平 指揮)
- ・ 安永徹・市野あゆみ特別レクシオン生による演奏会
- ・ 洗足学園音楽大学4年生による学内リサイタル講座 成績優秀者によるスペシャル・コンサート
- ・ 洗足学園音楽大学フェスティバル
- ・ 卒業演奏会
- ・ Welcome to the Real World
- ・ ドラマティック・シアター
- ・ ニューフェイタル・モニック管弦楽定期演奏会 (秋山和慶 指揮)
- ・ 第9回音楽大等フェスティバルオーケストラ (井上建貴 指揮)



2021 演奏会情報

2021年度主催演奏会観客数表 (2022年1月31日時点)

| No. | 日程 | 演奏会名 | 会場 | 観客数 |
|-----|----------|------------------------------------|-----------------|-----|
| 1 | 5/ 2/ 日 | 2019年度 洗足学園ジュニアコンクール受賞者披露演奏会 | 前田ホール | 75 |
| 2 | 5/ 9/ 日 | 2021課題曲クリニック | 前田ホール | 無観客 |
| 3 | 5/ 9/ 日 | 2021課題曲クリニック全曲コンサート | 前田ホール | 無観客 |
| 4 | 5/ 22/ 土 | Second Season | ビッグマウス | 37 |
| 5 | 5/ 23/ 日 | Three Quarters | ビッグマウス | 35 |
| 6 | 6/ 5/ 土 | Do Jazz | 前田ホール | 無観客 |
| 7 | 6/ 12/ 土 | 選抜学生によるピアノコンサート | シルバーマウンテン1F | 39 |
| 8 | 6/ 13/ 日 | ブリティッシュプラス第52回定期演奏会 | 前田ホール | 293 |
| 9 | 6/ 19/ 土 | The Debut!! | ビッグマウス | 50 |
| 10 | 6/ 19/ 土 | アンサンブルの魅力 ～NHK 合唱コンクール課題曲クリニック～ | シルバーマウンテン2F | 無観客 |
| 11 | 6/ 20/ 日 | Last Spurt | ビッグマウス | 45 |
| 12 | 6/ 25/ 金 | シアトリカル・リーディング① | MUSIC POOL CINO | 100 |
| 13 | 6/ 26/ 土 | 大学院室内管弦楽団第12回定期演奏会 | 前田ホール | 77 |
| 14 | 6/ 26/ 土 | シアトリカル・リーディング② | MUSIC POOL CINO | 57 |
| 15 | 6/ 26/ 土 | シアトリカル・リーディング③ | MUSIC POOL CINO | 81 |
| 16 | 6/ 26/ 土 | シアトリカル・リーディング④ | MUSIC POOL CINO | 78 |
| 17 | 6/ 27/ 日 | シアトリカル・リーディング⑤ | MUSIC POOL CINO | 79 |
| 18 | 6/ 27/ 日 | シアトリカル・リーディング⑥ | MUSIC POOL CINO | 104 |
| 19 | 6/ 30/ 水 | フルートオーケストラ演奏会 | 前田ホール | 97 |
| 20 | 7/ 2/ 金 | Summer Musical Showcase vol.16① 1幕 | MUSIC POOL CINO | 59 |
| 21 | 7/ 2/ 金 | Summer Musical Showcase vol.16① 2幕 | MUSIC POOL CINO | 74 |
| 22 | 7/ 2/ 金 | SENZOKUストリングオーケストラ演奏会 | 前田ホール | 162 |
| 23 | 7/ 3/ 土 | レパートリーオーケストラコンサート(前期) | 前田ホール | 195 |
| 24 | 7/ 3/ 土 | Summer Musical Showcase vol.16② 1幕 | MUSIC POOL CINO | 90 |
| 25 | 7/ 3/ 土 | 邦楽演奏会「和のいろは」 | シルバーマウンテン1F | 38 |
| 26 | 7/ 3/ 土 | ワールドミュージックコースサマーコンサート | シルバーマウンテン2F | 11 |
| 27 | 7/ 3/ 土 | Summer Musical Showcase vol.16② 2幕 | MUSIC POOL CINO | 91 |
| 28 | 7/ 3/ 土 | 吹奏楽指導者マスタークラス演奏会 | 前田ホール | 79 |
| 29 | 7/ 4/ 日 | Summer Musical Showcase vol.16③ 1幕 | MUSIC POOL CINO | 100 |
| 30 | 7/ 4/ 日 | Summer Musical Showcase vol.16③ 2幕 | MUSIC POOL CINO | 103 |
| 31 | 7/ 6/ 火 | ブルー・タイ ウインド・アンサンブル演奏会 | 前田ホール | 253 |
| 32 | 7/ 6/ 火 | Summer Stage2021① 第1部 松本梨香ゼミ | ビッグマウス | 34 |
| 33 | 7/ 6/ 火 | Summer Stage2021① 第2部 堀江美都子ゼミ | ビッグマウス | 65 |
| 34 | 7/ 7/ 水 | Summer Stage2021② 第1部 亀井芳子ゼミ | ビッグマウス | 61 |
| 35 | 7/ 7/ 水 | Summer Stage2021② 第2部 石原慎一ゼミ | ビッグマウス | 49 |
| 36 | 7/ 8/ 木 | Summer Stage2021③ 第1部 篠原恵美ゼミ | ビッグマウス | 40 |
| 37 | 7/ 8/ 木 | 管弦楽団第80回定期演奏会 | 前田ホール | 258 |
| 38 | 7/ 8/ 木 | Summer Stage2021③ 第2部 速水けんたろうゼミ | ビッグマウス | 63 |
| 39 | 7/ 8/ 木 | Summer Musical Showcase vol.16④ 1幕 | MUSIC POOL CINO | 105 |
| 40 | 7/ 8/ 木 | Summer Musical Showcase vol.16④ 2幕 | MUSIC POOL CINO | 96 |
| 41 | 7/ 9/ 金 | Summer Musical Showcase vol.16⑤ 1幕 | MUSIC POOL CINO | 95 |
| 42 | 7/ 9/ 金 | Summer Stage2021④ 第1部 石川光太郎ゼミ | ビッグマウス | 42 |
| 43 | 7/ 9/ 金 | Summer Musical Showcase vol.16⑤ 2幕 | MUSIC POOL CINO | 104 |
| 44 | 7/ 9/ 金 | Summer Stage2021④ 第2部 宇治川まさなりゼミ | ビッグマウス | 63 |
| 45 | 7/ 10/ 土 | Summer Stage2021⑤ 第1部 1年生選抜アフレコ | ビッグマウス | 44 |
| 46 | 7/ 10/ 土 | Summer Stage2021⑤ 第2部 尾田木美衣ゼミ | ビッグマウス | 48 |
| 47 | 7/ 10/ 土 | Summer Stage2021⑤ 第3部 鈴木勝美ゼミ | ビッグマウス | 54 |
| 48 | 7/ 10/ 土 | 洗足ウインド・シンフォニー演奏会 | 前田ホール | 224 |
| 49 | 7/ 10/ 土 | Natsuon Basement Gig 1 | ミューズ | 30 |
| 50 | 7/ 10/ 土 | Summer Musical Showcase vol.16⑥ 1幕 | MUSIC POOL CINO | 111 |
| 51 | 7/ 10/ 土 | Summer Musical Showcase vol.16⑥ 2幕 | MUSIC POOL CINO | 112 |
| 52 | 7/ 11/ 日 | フレッシュマン・ウインド・アンサンブル演奏会 | 前田ホール | 260 |
| 53 | 7/ 11/ 日 | Natsuon Basement Gig 2 | ミューズ | 20 |
| 54 | 7/ 12/ 月 | アラウンドヌーン・モーツァルト・コンサート | 前田ホール | 40 |
| 55 | 7/ 13/ 火 | グリーン・タイ ウインド・アンサンブル演奏会 | 前田ホール | 242 |
| 56 | 7/ 14/ 水 | 電子オルガンによるピアノ協奏曲と管弦楽曲の夕べ | 前田ホール | 79 |
| 57 | 7/ 16/ 金 | 3rd Year Class Revue① | MUSIC POOL CINO | 91 |

| No. | 日程 | 演奏会名 | 会場 | 観客数 |
|-----|-------------|---|-----------------|-----|
| 58 | 7/ 17/ 土 | 第1回 洗足学園音楽大学打楽器コンクール | 前田ホール | 39 |
| 59 | 7/ 17/ 土 | ジャズコースライブ（前期）① | ビッグマウス | 無観客 |
| 60 | 7/ 17/ 土 | 3rd Year Class Revue② | MUSIC POOL CINO | 118 |
| 61 | 7/ 18/ 日 | ジャズコースライブ（前期）② | ビッグマウス | 無観客 |
| 62 | 7/ 19/ 月 | ベーシックオーケストラ2021チャレンジコンサート | 前田ホール | 240 |
| 63 | 7/ 21/ 水 | バレエコース前期公演 | 前田ホール | 222 |
| 64 | 7/ 22/ 木・祝 | サクソフォンオーケストラ夏の演奏会 | 前田ホール | 251 |
| 65 | 7/ 30/ 金 | ファンファーレオーケストラ第30回定期演奏会 | 前田ホール | 142 |
| 66 | 8/ 30/ 月 | 作曲コース 録音・録画会 in Summer 2021① | シルバーマウンテン1F | 無観客 |
| 67 | 8/ 31/ 火 | 作曲コース 録音・録画会 in Summer 2021② | シルバーマウンテン1F | 無観客 |
| 68 | 9/ 1/ 水 | 学内リサイタル講座4年生によるジョイントリサイタル① | 前田ホール | 83 |
| 69 | 9/ 3/ 金 | 学内リサイタル講座4年生によるジョイントリサイタル② | 前田ホール | 55 |
| 70 | 9/ 5/ 日 | オーケストラwithナレーション | 前田ホール | 114 |
| 71 | 9/ 15/ 水 | 学内リサイタル講座4年生によるジョイントリサイタル③ | 前田ホール | 64 |
| 72 | 9/ 17/ 金 | 学内リサイタル講座4年生によるジョイントリサイタル④ | 前田ホール | 48 |
| 73 | 9/ 17/ 金 | Next Generation | ビッグマウス | 30 |
| 74 | 9/ 18/ 土 | ダンスコース 第4回 前期公演 | 前田ホール | 276 |
| 75 | 9/ 22/ 水 | 学内リサイタル講座4年生によるジョイントリサイタル⑤ | 前田ホール | 57 |
| 76 | 9/ 23/ 木・祝 | 室内楽セレクション・準セレクションチーム シルバーマウンテンコンサート 2021 | シルバーマウンテン1F | 36 |
| 77 | 9/ 24/ 金 | 学内リサイタル講座4年生によるジョイントリサイタル⑥ | 前田ホール | 79 |
| 78 | 9/ 25/ 土 | 電子オルガン定期演奏会 | ビッグマウス | 36 |
| 79 | 10/ 2/ 土 | 大学院リサイタルシリーズ① | シルバーマウンテン1F,2F | 17 |
| 80 | 10/ 2/ 土 | 大学院リサイタルシリーズ② | シルバーマウンテン1F,2F | 10 |
| 81 | 10/ 8/ 金 | 第17回ミュージカルコース本公演①ブロードウェイミュージカル『COMPANY』 | MUSIC POOL CINO | 107 |
| 82 | 10/ 9/ 土 | SENZOKU DIGITAL MUSIC & ARTS PROJECT 2021 | ビッグマウス | 無観客 |
| 83 | 10/ 9/ 土 | 大学院リサイタルシリーズ③ | シルバーマウンテン1F,2F | 10 |
| 84 | 10/ 9/ 土 | 大学院リサイタルシリーズ④ | シルバーマウンテン1F,2F | 23 |
| 85 | 10/ 9/ 土 | 第17回ミュージカルコース本公演②ブロードウェイミュージカル『COMPANY』 | MUSIC POOL CINO | 98 |
| 86 | 10/ 10/ 日 | 第17回ミュージカルコース本公演③ブロードウェイミュージカル『COMPANY』 | MUSIC POOL CINO | 100 |
| 87 | 10/ 10/ 日 | 選抜学生によるピアノコンサート | シルバーマウンテン1F | 44 |
| 88 | 10/ 10/ 日 | 大学院コンチェルトのタベ | 前田ホール | 108 |
| 89 | 10/ 15/ 金 | 第17回ミュージカルコース本公演④ブロードウェイミュージカル『COMPANY』 | MUSIC POOL CINO | 102 |
| 90 | 10/ 16/ 土 | 第17回ミュージカルコース本公演⑤ブロードウェイミュージカル『COMPANY』 | MUSIC POOL CINO | 100 |
| 91 | 10/ 16/ 土 | 第7回アドルフサックス国際コンクール最高位入賞記念演奏会 | 前田ホール | 226 |
| 92 | 10/ 16/ 土 | 第17回ミュージカルコース本公演⑥ブロードウェイミュージカル『COMPANY』 | MUSIC POOL CINO | 106 |
| 93 | 10/ 23/ 土 | ジャズコース定期演奏会 | 前田ホール | 無観客 |
| 94 | 10/ 23/ 土 | 大学院リサイタルシリーズ⑤ | シルバーマウンテン1F,2F | 32 |
| 95 | 10/ 24/ 日 | Song Writers | ビッグマウス | 28 |
| 96 | 10/ 30/ 土 | 大学院リサイタルシリーズ⑥ | シルバーマウンテン1F,2F | 7 |
| 97 | 10/ 30/ 土 | 大学院リサイタルシリーズ⑦ | シルバーマウンテン1F,2F | 13 |
| 98 | 10/ 31/ 日 | ダンスパフォーマンスⅠ① | ビッグマウス | 54 |
| 99 | 10/ 31/ 日 | ダンスパフォーマンスⅠ② | ビッグマウス | 53 |
| 100 | 10/ 31/ 日 | 大学院管楽器コンチェルト研究演奏会 | シルバーマウンテン1F | 33 |
| 101 | 10/ 31/ 日 | 2.5次元音楽劇「はたらく細胞 Senzoku Ver.」 | 前田ホール | 245 |
| 102 | 11/ 1/ 月 | ピアノコンチェルトのタベ | 前田ホール | 81 |
| 103 | 11/ 6/ 土 | 第42回 打楽器アンサンブル定期演奏会 | 前田ホール | 213 |
| 104 | 11/ 6/ 土 | バロックとその周辺の音楽 | シルバーマウンテンB1 | 18 |
| 105 | 11/ 6/ 土 | 第3回洗足学園音楽大学ピアノコース・学内コンクール決勝 | シルバーマウンテン1F | 無観客 |
| 106 | 11/ 7/ 日 | ブリティッシュプラス第53回定期演奏会 | 前田ホール | 256 |
| 107 | 11/ 7/ 日 | 大学院コンサートシリーズ・名手と共に「青柳晋氏を迎えて」交流演奏会with東京藝術大学 | シルバーマウンテン2F | 8 |
| 108 | 11/ 7/ 日 | コンテンポラリーダンス・キャラクターダンス パフォーマンス① | ビッグマウス | 36 |
| 109 | 11/ 7/ 日 | コンテンポラリーダンス・キャラクターダンス パフォーマンス② | ビッグマウス | 56 |
| 110 | 11/ 18/ 木 | レパートリーオーケストラコンサート(後期) | 前田ホール | 207 |
| 111 | 11/ 19/ 金 | 声楽アンサンブル第27回定期演奏会 | 前田ホール | 53 |
| 112 | 11/ 23/ 火・祝 | ファンファーレオーケストラ第31回定期演奏会 | 前田ホール | 194 |
| 113 | 11/ 24/ 水 | フルートオーケストラ演奏会 | 前田ホール | 106 |
| 114 | 11/ 26/ 金 | SENZOKUストリングオーケストラ演奏会 | 前田ホール | 91 |
| 115 | 11/ 27/ 土 | 音楽遺産 vol.1 | ビッグマウス | 44 |

| No. | 日程 | 演奏会名 | 会場 | 観客数 |
|-----|-----------|--------------------------------------|-----------------|-----|
| 116 | 11/ 27/ 土 | 邦楽ミュージカル10周年記念公演「恋娘近松合戦！」① | MUSIC POOL CINO | 113 |
| 117 | 11/ 28/ 日 | 洗足ウインド・シンフォニー演奏会 | 前田ホール | 264 |
| 118 | 11/ 28/ 日 | 音楽遺産 vol.2 | ビッグマウス | 47 |
| 119 | 11/ 28/ 日 | 邦楽ミュージカル10周年記念公演「恋娘近松合戦！」② | MUSIC POOL CINO | 111 |
| 120 | 11/ 30/ 火 | グリーン・タイ ウインド・アンサンブル演奏会 | 前田ホール | 199 |
| 121 | 12/ 1/ 水 | 打楽器コース パーカッションコンサートP | 前田ホール | 53 |
| 122 | 12/ 2/ 木 | 管弦楽団第81回定期演奏会 | 前田ホール | 230 |
| 123 | 12/ 3/ 金 | フレッシュマン・ウインド・アンサンブル演奏会 | 前田ホール | 234 |
| 124 | 12/ 4/ 土 | 第17回音楽教育コース定期演奏会 軌跡 ～音がつなぐ物語～ | 前田ホール | 136 |
| 125 | 12/ 4/ 土 | 音楽遺産 vol.3 | ビッグマウス | 60 |
| 126 | 12/ 4/ 土 | 大学院留学生によるコンサート～国際交流コラボライブ～ | シルバーマウンテンB1 | 37 |
| 127 | 12/ 4/ 土 | ピアノアンサンブルスペース（ピアノで合同コンサート） | シルバーマウンテン1F | 25 |
| 128 | 12/ 5/ 日 | 音楽遺産 vol.4 | ビッグマウス | 65 |
| 129 | 12/ 5/ 日 | ワールドミュージックコースウィンターコンサート | シルバーマウンテン2F | 16 |
| 130 | 12/ 5/ 日 | 大学院管楽器コースプロフェッショナル研究演奏会 | シルバーマウンテン1F | 15 |
| 131 | 12/ 5/ 日 | 自衛隊キャンパスコンサート | 前田ホール | 157 |
| 132 | 12/ 6/ 月 | 洗足こども短期大学幼児教育保育科ウインドバンド演奏会 | 前田ホール | 154 |
| 133 | 12/ 7/ 火 | ブルー・タイ ウインド・アンサンブル演奏会 | 前田ホール | 223 |
| 134 | 12/ 7/ 火 | 大学院コンサートシリーズ・名手と共に「ピアノデュオ ドウオールを迎えて」 | シルバーマウンテン1F | 48 |
| 135 | 12/ 8/ 水 | 合唱の祭典 | 前田ホール | 77 |
| 136 | 12/ 9/ 木 | 電子オルガンによるウィンターコンサート | 前田ホール | 23 |
| 137 | 12/ 10/ 金 | ピアノ・アンサンブル・コンペティション | 前田ホール | 58 |
| 138 | 12/ 10/ 金 | バレエwithナレーション① | ビッグマウス | 49 |
| 139 | 12/ 10/ 金 | Dance!Dance!!Dance!!!2021① | MUSIC POOL CINO | 110 |
| 140 | 12/ 11/ 土 | Dance!Dance!!Dance!!!2021② | MUSIC POOL CINO | 142 |
| 141 | 12/ 11/ 土 | 吹奏楽指導者マスタークラス演奏会 | 前田ホール | 112 |
| 142 | 12/ 11/ 土 | バレエwithナレーション② | ビッグマウス | 39 |
| 143 | 12/ 11/ 土 | バレエwithナレーション③ | ビッグマウス | 36 |
| 144 | 12/ 11/ 土 | 邦楽冬の演奏会 | シルバーマウンテンB1 | 30 |
| 145 | 12/ 11/ 土 | 大学院電子オルガン定期演奏会 | シルバーマウンテン2F | 17 |
| 146 | 12/ 12/ 日 | バレエwithナレーション④ | ビッグマウス | 46 |
| 147 | 12/ 12/ 日 | バレエwithナレーション⑤ | ビッグマウス | 50 |
| 148 | 12/ 14/ 火 | オペラ実習 ガラコンサート | 前田ホール | 111 |
| 149 | 12/ 14/ 火 | Winter Theater 2021①第1部 | ビッグマウス | 38 |
| 150 | 12/ 14/ 火 | Winter Theater 2021①第2部 | ビッグマウス | 61 |
| 151 | 12/ 15/ 水 | Winter Theater 2021②第1部 | ビッグマウス | 62 |
| 152 | 12/ 15/ 水 | Winter Theater 2021②第2部 | ビッグマウス | 63 |
| 153 | 12/ 16/ 木 | 大学院オペラ・ガラコンサート | 前田ホール | 92 |
| 154 | 12/ 16/ 木 | Winter Theater 2021③第1部 | ビッグマウス | 31 |
| 155 | 12/ 16/ 木 | Winter Theater 2021③第2部 | ビッグマウス | 65 |
| 156 | 12/ 17/ 金 | Winter Theater 2021④第1部 | ビッグマウス | 46 |
| 157 | 12/ 17/ 金 | Winter Theater 2021④第2部 | ビッグマウス | 59 |
| 158 | 12/ 18/ 土 | ダンスコース 第4回 後期公演 | 前田ホール | 242 |
| 159 | 12/ 18/ 土 | Winter Theater 2021⑤第1部 | ビッグマウス | 60 |
| 160 | 12/ 18/ 土 | Winter Theater 2021⑤第2部 | ビッグマウス | 41 |
| 161 | 12/ 18/ 土 | Winter Theater 2021⑤第3部 | ビッグマウス | 52 |
| 162 | 12/ 18/ 土 | Scholarship Student Showcase① | MUSIC POOL CINO | 75 |
| 163 | 12/ 19/ 日 | ベーシックオーケストラ2021クリスマスコンサート | 前田ホール | 258 |
| 164 | 12/ 19/ 日 | サクソフォンオーケストラ冬の演奏会 | 前田ホール | 257 |
| 165 | 12/ 19/ 日 | 大学院オラトリオ・アンサンブル演奏会 | シルバーマウンテン1F | 18 |
| 166 | 12/ 19/ 日 | Scholarship Student Showcase② | MUSIC POOL CINO | 88 |
| 167 | 12/ 20/ 月 | 2021年度 作曲コース 作品発表演奏会① | 前田ホール | 64 |
| 168 | 12/ 21/ 火 | 2021年度 作曲コース 作品発表演奏会② | シルバーマウンテン1F | 41 |
| 169 | 12/ 21/ 火 | コーラスアンサンブルクラス コンサート | シルバーマウンテン2F | 無観客 |
| 170 | 12/ 23/ 木 | バレエコース 本公演①(谷クラス) | 前田ホール | 172 |
| 171 | 12/ 25/ 土 | バレエコース 本公演② (グローバルクラス) | 前田ホール | 183 |
| 172 | 12/ 27/ 月 | バレエコース 本公演③ (牧&グローバルクラス) | 前田ホール | 198 |
| 173 | 1/ 7/ 金 | パベットリーディングシアター『アミアミ人形の冒険』 | ビッグマウス | 20 |

| No. | 日程 | 演奏会名 | 会場 | 観客数 |
|---------------------|------------|---|-------------|---------------|
| 174 | 1/ 8/ 土 | 歌曲の祭典 | シルバーマウンテン1F | 64 |
| 175 | 1/ 8/ 土 | Senior Musical Showcase Vol.9① | 前田ホール | 274 |
| 176 | 1/ 9/ 日 | Senior Musical Showcase Vol.9② | 前田ホール | 279 |
| 177 | 1/ 9/ 日 | 大学院歌曲の祭典 | シルバーマウンテン1F | 30 |
| 178 | 1/ 10/ 月・祝 | 室内楽コンサート Vol.25～弦・管・打・ピアノ 室内楽オーディション合格者による～ | 前田ホール | 87 |
| 179 | 1/ 12/ 水 | ポピュラーコンサート | ビッグマウス | 31 |
| 180 | 1/ 15/ 土 | ジャズコースライブ (後期) | ビッグマウス | 無観客 |
| 181 | 1/ 16/ 日 | ジャズコースライブ (後期) | ビッグマウス | 無観客 |
| 182 | 1/ 17/ 月 | 大学院研究・修了演奏① | 前田ホール | 8 |
| 183 | 1/ 18/ 火 | 大学院研究・修了演奏② | 前田ホール | 11 |
| 184 | 1/ 19/ 水 | 大学院研究・修了演奏③ | 前田ホール | 8 |
| 185 | 1/ 20/ 木 | 大学院研究・修了演奏④ | 前田ホール | 8 |
| 186 | 1/ 20/ 木 | HARVEST vol.1 | ビッグマウス | 40 |
| 187 | 1/ 21/ 金 | 大学院研究・修了演奏⑤ | 前田ホール | 15 |
| 188 | 1/ 21/ 金 | HARVEST vol.2 | ビッグマウス | 50 |
| 189 | 1/ 22/ 土 | HARVEST vol.3 | ビッグマウス | 30 |
| 190 | 1/ 23/ 日 | HARVEST vol.4 | ビッグマウス | 27 |
| 191 | 1/ 24/ 月 | 大学院研究・修了演奏⑥ | 前田ホール | 22 |
| 192 | 1/ 25/ 火 | 大学院研究・修了演奏⑦ | 前田ホール | 7 |
| 193 | 1/ 27/ 木 | 大学院研究・修了演奏⑧ | 前田ホール | 12 |
| 《193公演》観客数合計 | | | | 16,077 |

2040年に向けた高等教育のグランドデザイン

(答申)

平成30年11月26日

中央教育審議会

<目次>

| | |
|--|----|
| はじめに | 1 |
| I. 2040年の展望と高等教育が目指すべき姿 —学修者本位の教育への転換— | 3 |
| 1. 2040年に必要とされる人材と高等教育の目指すべき姿 | 3 |
| 2. 2040年頃の社会変化の方向 | 7 |
| 3. 2040年を見据えた高等教育と社会の関係 | 10 |
| II. 教育研究体制 —多様性と柔軟性の確保— | 14 |
| 1. 多様な学生 | 14 |
| 2. 多様な教員 | 18 |
| 3. 多様で柔軟な教育プログラム | 20 |
| 4. 多様性を受け止める柔軟なガバナンス等 | 22 |
| 5. 大学の多様な「強み」の強化 | 25 |
| III. 教育の質の保証と情報公表 —「学び」の質保証の再構築— | 27 |
| IV. 18歳人口の減少を踏まえた高等教育機関の規模や地域配置 —あらゆる世代が学ぶ「知の基盤」— | 34 |
| 1. 高等教育機関への進学者数とそれを踏まえた規模 | 34 |
| 2. 国公私の役割 | 36 |
| 3. 地域における高等教育 | 39 |
| V. 各高等教育機関の役割等 —多様な機関による多様な教育の提供— .. | 42 |
| 1. 各学校種における特有の検討課題 | 42 |
| 2. 大学院における特有の検討課題 | 43 |
| VI. 高等教育を支える投資 —コストの可視化とあらゆるセクターからの支援の拡充— | 46 |
| VII. 今後の検討課題 | 49 |
| おわりに | 50 |

はじめに

本答申を「2040年の高等教育のグランドデザイン」と位置付けた主目的は何か。それは、これから大学で学ぼうという高校生、高等学校の前段階にいる子供たち、また、人生100年時代を迎えこれからを見据えてもう一度学びたいと考えている社会人、さらに、我が国では非勉強してみたいと思っている留学生、そして現在高等教育機関で学んでいる学生に対し、「我が国の高等教育がこれからどう変化していくのか」を明らかにすることである。

高等教育における教育は、その前段階の教育機関と、修了後に人材が活躍する社会の間に位置付けられている。特に大学は、教育と研究を一体不可分のものとして人材育成と研究活動を行っており、自由な研究の遂行を通じて社会に大きく貢献している。高等教育は、初等中等教育段階と社会との協力と連携の中で更に進化するものである。

さらに、世界的規模の激しい社会的変化の中で、大学は教育と研究の本来的な機能の発揮を通じて、社会の将来的な発展を支え、推進する基盤となるものである。このことは、世界の多くの国々において共通に認識され、それに基づく方策の充実を目指した政策的な努力が様々に行われている。我が国においても、2040年の高等教育が求められる役割を果たすことができるよう、必要な環境条件の整備に向けた国としての政策的な努力が強く求められる。

我が国の高等教育のミッションは多様である。例えば、「大学」という機関に対し、世界的研究・教育が行われている機関をイメージする場合もあれば、地域の実情を踏まえた人材育成を行っている機関をイメージする場合もある。また、職業に直結する学びを提供している機関をイメージする場合もあれば、芸術や体育などの特定の専門分野に特化した機関をイメージする場合もある。このような多様性こそが、我が国で学んで日本や世界で活躍する人材の厚い層を創出するのであり、その多様性は今後も尊重していくべきものである。また、その中で、学生や教員は流動性をもって、様々な機関でその教育研究活動を行っていくことが望ましい。そのためには、教育研究の仕組みや制度の柔軟性も担保されていかなければならない。

中央教育審議会の高等教育段階に関する答申は、昭和29(1954)年の「医学および歯学の教育に関する答申」以降、42を数える。その間に、教育内容、質の保証、規模、役割、ガバナンス等について様々な提言がなされてきており、多くの提言の内容については、それに基づいた政策的な取組とも相まって、各高等教育機関で取組が進んでいるが、様々な要因や制約の中で、全ての高等教育機関での取組に至っていないものもある。

今回の答申は、これまでの答申の内容を踏まえた上で、取組が十分でないものについては、改めてその必要性を強調するとともに、2040年という22年先を見据えて、そこから逆算的に考え、必要な提言を行った。提言の中には、速やかに始めなければ間に合わないもの、議論を深めていくことで更に大きな改革につなげるべきもの、また、その改革が終了するまで

一定の期間を要するものがある。特に、改革の具体的な方策については、速やかに始めなければ間に合わない事項を中心に記載しており、この取組をしっかりと進めて成果を出していくことで、その後の社会状況の変化にもしなやかに対応できる高等教育を目指していく。

本審議会では、平成29(2017)年3月に「我が国の高等教育に関する将来構想について」の諮問を受けて以降、総会で4回、大学分科会で12回、将来構想部会で30回、制度・教育改革ワーキンググループで20回、大学院部会で8回にわたって審議を重ねてきた。その成果として取りまとめた本答申は、これからの高等教育改革の指針として位置付けられるべきものと考えており、その実現すべき方向性は以下のとおりである。

- ・ 高等教育機関がその多様なミッションに基づき、学修者が「何を学び、身に付けることができるのか」を明確にし、学修の成果を学修者が実感できる教育を行っていること。このための多様で柔軟な教育研究体制が各高等教育機関に準備され、このような教育が行われていることを確認できる質の保証の在り方へ転換されていくこと。
- ・ 18歳人口は、2040年には、88万人に減少し、現在の7割程度の規模となる推計が出されていることを前提に、各機関における教育の質の維持向上という観点からの規模の適正化を図った上で、社会人及び留学生の受入れ拡大が図られていくこと。
- ・ 地域の高等教育の規模を考える上でも、地域における高等教育のグランドデザインが議論される場が常時あり、各地域における高等教育が、地域のニーズに応えるという観点からも充実し、それぞれの高等教育機関の強みや特色を活かした連携や統合が行われていくこと。

これらが実現することで、高等教育が全ての学修者の「学び」の意欲を満たすと同時に、引き続き社会を支える重要な基盤となり、高等教育改革が全ての関係者の意見や思いを酌み取り、協力と支援を得ながら、進められていくことを期待している。

ーズに对应していくことは高等教育の役割の一つである。他方、新興国が成長し先進諸国間でも国際競争が激しくなる中で、論文数や論文の引用状況から見た日本の地位は相対的に低下傾向にあり、日本の存在感が薄れてきている。大学の研究力を引き上げるとともに、先端的な研究を推進することにより、イノベーションを創出していくことが重要である。

また、高等教育機関における学術研究は、専門化・細分化された分野の中だけで収まらない学際的・学融合的な研究が進められるようになってきている。知識や技術の全てを個人や一つの組織で生み出すことが困難な時代になっており、新たな知識や価値の創出に多様な専門性を持つ人材が結集し、チームとして活動することの重要性がますます高まっている。学術研究の成果もまた、社会に還元することを通じて、社会からの評価と支援を得るという好循環を形成していくことが必要である。

なお、一概に研究といっても、その成果は多方面にわたる。科学技術との関連や、政策形成への貢献といった直接的な関係性の強いものだけではなく、例えば、社会発展や世界平和への貢献の基礎となる知見の集積や、個人の生活や内省につながる知的探求等は、本来、大学が担うべき重要な社会的な機能である。

（産業界との協力・連携）

新卒一括採用や年功序列などのこれまでの雇用慣行を見直す動きが見え始めている中、これらの動きは、高等教育の変化の大きな後押しになる。通年採用導入による、ポテンシャル採用からジョブ型採用への転換や、大学教育の質と学修成果を活用した採用活動の拡大などは、産業界が取り組んでいくべき課題である。労働集約型経済から知識集約型経済への転換を真剣に考えていく際に、高等教育と産業界等との協力関係は欠かせない。経済・社会の発展をもたらす高等教育の在り方について、人材を育成する側と人材を活用する側で議論と理解を深めていく必要がある。

その際、今後更に重要性の増すリカレント教育については、知識の最新化や新たな知識を学ぶことのみならず、多様な学生が相互に学び合うことを実現するために、産業界の雇用の在り方、働き方改革と、**高等教育が提供する学びのマッチングが必要不可欠である。また、大学内外の資源を有効活用していくことは重要**であり、ガバナンスにおいても、教育研究を充実する際にも、**学外の協力を得ていくための産業界等との協力関係、連携関係を充実していく必要がある。**

さらに、大学と社会の接続を考える際には、学修者が自らを社会の一員として自覚し、自らの学びの社会的意味を理解し、学修の質を向上させる機会としての「インターンシップ」の充実等が求められる。また、学修者が複数の大学間や企業間、大学と企業の間などを行き来しながら、時間をかけて複線型にキャリアを形成していくことが可能となるためには、大

学と産業界共に今まで以上に流動性を高めていくことが重要である。これらの観点から、海外などで見られる大学での学修と企業での勤務を両立させるような学び方を検討することも必要¹⁴である。

(地域との連携)

「個人の価値観を尊重する生活環境を提供できる社会」とは、各人が望む地域で、自らの価値観を大切に生活していくことができる社会であり、地域に住む人自らがその環境を維持し、その価値を創造していくものである。

人口減少下においてそのような社会を実現するためには、地方の産業における生産性の向上、高付加価値化のみならず、公共交通や教育機関、医療機関の提供、労働力の確保等、地域全体の維持・発展が必要である。そのいずれにおいても、高等教育が果たす役割は重要であり、知的な蓄積のある教員の存在や人材の育成、教育研究成果を活用した産学連携等により、地域の教育・医療・インフラ・防災・産業等を支えている。

また、高等教育機関、特に大学の自発的な研究機能は、教育機能とともに、地方創生にとって極めて重要な役割を担っている。それぞれの地域の社会、経済、文化の活性化のリソースや、特色・誇りの源泉であるとともに、地元産業や新規の企業立地における好条件となり、更には地域における国際交流の推進、国際化への対応への直接的な拠点ともなる。

なお、特にリカレント教育においては、介護福祉や保育等、地域特有のニーズも数多く存在し、地方公共団体と高等教育機関が、十分に連携して進める必要がある。

¹⁴ 英国では、主に 18～19 歳の若者が企業で働きながら学位を取得できる制度(ディグリー・アプレントイスシップ=Degree Apprenticeships)を 60 以上の大学が企業と共同で設計し、目的意識を持って主体的に学ぶ学生を育成している。本制度は、2015 年より現英国政権の重点施策となっており、学費の 3 分の 2 は政府が補助し、残りの 3 分の 1 は企業が拠出する。

複数の高等教育機関、産業界、地方公共団体との恒常的な連携体制の構築

- 地域における高等教育のグランドデザインの策定をはじめ、地域の高等教育に積極的に関わるといった観点から、複数の高等教育機関と地方公共団体、産業界等とが恒常的に連携を行うための体制として「地域連携プラットフォーム（仮称）」の構築を進めるとともに、「地域連携プラットフォーム（仮称）」において議論すべき事項等について、国による「ガイドライン」を策定する。

学外理事の登用促進

- 広報、寄附金等の外部資金獲得、地域貢献など、学外理事に期待する役割を明確化した上で、それに則した人材として、学外理事を少なくとも複数名置くことを求める。そのために必要な制度整備等を行う。

5. 大学の多様な「強み」の強化

「将来像答申」では、大学が有する七つの機能²³を示し、各々の大学は、自らの選択に基づき、これらの機能の一部分を併有し、保有する幾つかの機能の間の比重の置き方の違いに基づいて、緩やかに機能別に分化していくという将来像を描いた。

「将来像答申」で提示した機能別分化の考え方は、大学の多様性を踏まえたものであり、これからも維持していくべきものとする。一方で、各大学においては、「将来像答申」以降の社会全体の急速な変化や18歳人口の減少を踏まえるとともに、将来の更なる変化を見据え、大学が選択する機能と、その比重の置き方について改めて見直すことにより、自らの強みや特色を意識した上で、将来の発展の方向性を考えていくことが重要である。

ただし、「学術の中心」²⁴である大学は、現時点の「強み」の維持・強化にとどまることなく、不断の大学改革により、新たな「強み」を持続的に生み出していくとともに、次代の社会を牽引するような新たな価値を創造することが期待されている。

その際、**大学として「強み」や「特色」を明確にした上で、それらを伸ばしていくために、「4. 多様性を受け止めるガバナンス等」でも記載した、大学間の連携・統合を進めていくことも一つの方策である。**

機能の選択と比重の置き方を考えるに際して、人材養成の観点から各機能を分かりやすく集約し、大学として中軸となる「強み」や「特色」をより明確にしていくことも考えられる。その際、以下の観点は各大学の基本的な機能の例を示したものであり、そこに各大学がどの

²³ 大学が併有する各種の機能の例

1. 世界的研究・教育拠点、2. 高度専門職業人養成、3. 幅広い職業人養成、4. 総合的教養教育、5. 特定の専門的分野（芸術、体育等）の教育・研究、6. 地域の生涯学習機会の拠点、7. 社会貢献機能（地域貢献、産学官連携、国際交流等）

²⁴ 「第83条第1項 大学は、学術の中心として、広く知識を授けるとともに、深く専門の学芸を教授研究し、知的、道徳的及び応用的能力を展開させることを目的とする。」（学校教育法（昭和22年法律第26号））

るためには、質を向上させるための切磋琢磨は必要であるが、国内外で機関ごとにとただ「競争」するのではなく、課題解決等に協力して当たるための人的、物的資源の共有化による「共創」「協創」という考え方により比重を置いていく必要がある。特に、我が国のような課題先進国の高等教育機関が世界的課題解決に貢献することは重要であり、この貢献が各国との安定的な関係の構築にも資するという意識を持つことが必要である。

(高等教育が目指すべき姿)

基礎的で普遍的な知識・理解と汎用的な技能を持ち、その知識や技能を活用でき、ジレンマを克服することも含めたコミュニケーション能力を持ち、自律的に責任ある行動をとれる人材を養成していくためには、高等教育が「個々人の可能性を最大限に伸長する教育」に転換し、次のような変化を伴うものとなることが期待される。

- ・ 「何を教えたか」から、「何を学び、身に付けることができたのか」への転換が必要となる。
- ・ 「何を学び、身に付けることができたのか」という点に着目し、教育課程の編成においては、学位を与える課程全体としてのカリキュラム全体の構成や、学修者の知的習熟過程等を考慮し、単に個々の教員が教えたい内容ではなく、学修者自らが学んで身に付けたことを社会に対し説明し納得が得られる体系的な内容となるよう構成することが必要となる。
- ・ 学生や教員の時間と場所の制約を受けにくい教育研究環境へのニーズに対応するとともに、生涯学び続ける力や主体性を涵養するため、大規模教室での授業ではなく、少人数のアクティブ・ラーニングや情報通信技術（ICT）を活用した新たな手法の導入が必要となる。
- ・ 学修の評価についても、学年ごとの期末試験での評価で、学生が一斉に進級・卒業・修了するという学年主義的・形式的なシステムではなく、個々人の学修の達成状況がより可視化されることが必要となる。
- ・ 「何を学び、身に付けることができたのか」という認識が社会的に共有されれば、社会の進展に伴い更に必要となった知識や技能を身に付けるべく生涯学び続ける体系への移行が進み、中等教育に続いて入学する高等教育機関での学びの期間を越えた、リカレント教育の仕組みがより重要となる。

予測不可能な時代にあって、高等教育は、学修者が自らの可能性を最大限に発揮するとともに、多様な価値観を持つ人材が協働して社会と世界に貢献していくため、学修者にとっての「知の共通基盤」となる。このような視点に立ち、「何を学び、身に付けることができるの

か」を中軸に据えた多様性と柔軟性を持った高等教育への転換を引き続き図っていく必要がある⁷。

また、個々の教員の教育手法や研究を中心にシステムが構築されるのではなく、学修者の「主体的な学び」の質を高めるシステムを構築していくためには、高等教育機関内のガバナンスも組織や教員を中心とするのではなく、学内外の資源を共有化し、連携を進め、学修者にとっての高等教育機関としての在り方に転換していく必要がある。

これらの点については各学校種や課程の段階に応じて、学修者を中心に据えた教育の在り方をそれぞれ検討すべきである。

加えて、一つの機関での固定化された学びではなく、学修者が生涯学び続けられるための多様で柔軟な仕組みと流動性を高める方策が必要である。

2. 2040年頃の社会変化の方向

現在、国連をはじめ、様々な立場から、将来社会の予測や、あるべき社会の実現に向けての議論と努力が始まっている。その幾つかの議論を整理すると、2040年の社会変化の方向の一端は、以下のように示すことができる。

(SDGsが目指す社会)

国連が提唱する持続可能な開発のための目標(SDGs)は、「誰一人として取り残さない(leave no one behind)」という考え方の下、貧困に終止符を打ち、地球を保護し、全ての人々が平和と豊かさを享受できる社会を目指している。このような目標に基づく行動により、

- ・ 全ての人々の人権が尊重され、平等に、潜在能力を発揮でき豊かで充実した生活を送れるようになること、
- ・ 自然と調和する経済、社会、技術の進展が確保されていること、公正で、恐怖と暴力のない、インクルーシブ(包摂的)な世界を実現し、平和を希求すること、
- ・ 貧困と飢餓を終わらせ、ジェンダー平等を達成し、全ての人に教育、水と衛生、健康的な生活が保障されていること、
- ・ 責任ある消費と生産、天然資源の持続可能な管理、気候変動への緊急な対応などを通して、地球の環境が守られていること、

が実現されることが目標とされている。

⁷ 「学士課程教育の構築に向けて」(中央教育審議会答申 平成20年12月24日)、「新たな未来を築くための大学教育の質的転換に向けて」(中央教育審議会答申 平成24年8月28日)

■http://www.mext.go.jp/b_menu/shingi/chukyo/chukyo0/toushin/1217067.htm

■http://www.mext.go.jp/b_menu/shingi/chukyo/chukyo0/toushin/1325047.htm

洗足学園音楽大学社会連携・社会貢献ポリシー

改正 令和3年5月6日

(目的)

第1条 この規程は、洗足学園音楽大学社会連携・社会貢献ポリシーその他必要な事項について定める。

(社会連携の推進)

第2条 音楽の探究による主体的な学びの実践を尊重し、社会連携を適切かつ効果的に推進すること。

2 社会連携は、高い透明性、公平性、公正性をもって取り組み、十分な説明責任を果たすこと。

(行政・地域団体・企業との連携)

第3条 演奏会等を通じた地域との交流や教育研究成果の提供により、社会貢献を実施すること。

2 音楽活動、研究活動により、地方自治体の政策形成への関与を更に推進すること。

3 地域社会の活性化と発展の担い手となる豊かな人間性と実行力を兼ね備え自立した人材を育成すること。

(国際社会との連携・協力)

第4条 アメリカ、EU、アジア等への海外研修並びに一流指導者、演奏家、指揮者の招聘を推進すること。

2 海外提携大学における相互交流を拡大し、新たな海外の大学との提携を図り、学生のみならず、教員間の交流を図ること。

3 国際社会の活性化と発展の担い手となる世界の様々な地域、民族、時代の音楽を理解し、幅広い視野を持った人材を育成すること。

(事務の所管)

第5条 この規程に関する事務は、教学センターが所管する。

(規程の改廃)

第6条 この規程の改廃は、教授会の審議に基づき、学長が決定する。

附則

1 この規程は、平成26年6月12日から施行する。

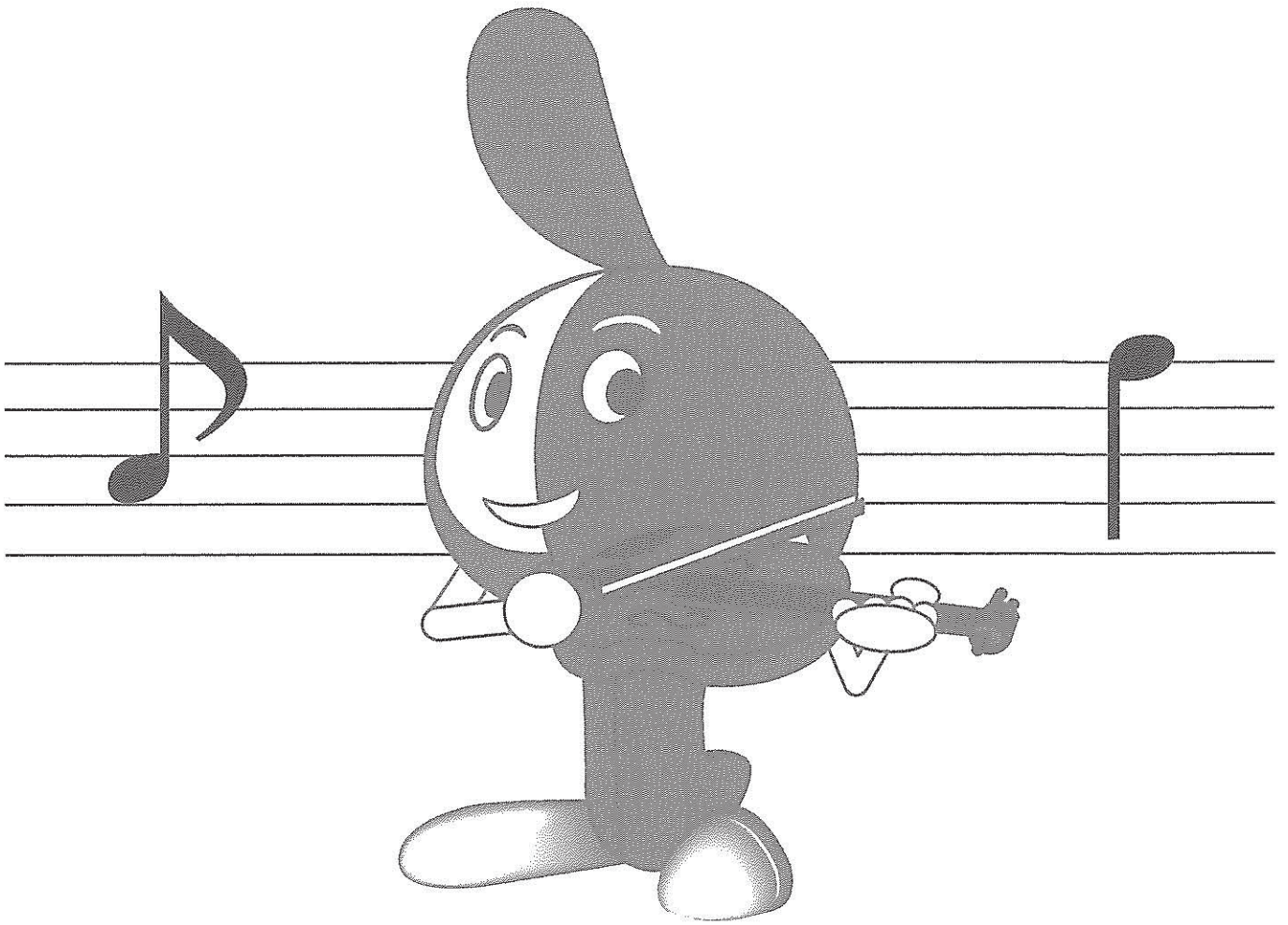
2 この規程の改正は、平成27年4月1日から施行する。

3 この規程の改正は、令和3年4月1日から施行する。

4 この規程の改正は、令和3年5月6日から施行する。

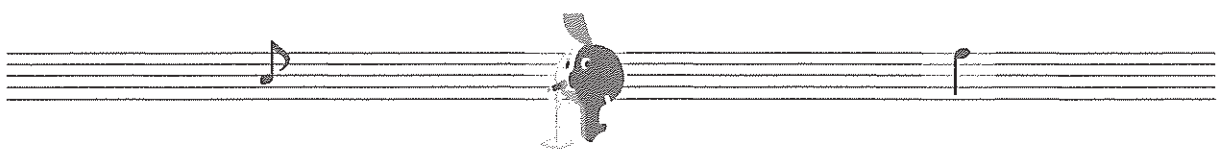
2021年度第1回
「音楽のまち・かわさき」推進協議会
理 事 会

議 案 書



2021年5月

音楽のまち  かわさき



2020年度 事業報告 (案)

「音楽のまち・かわさき」推進協議会の基本目標である、市民・行政・学校・企業が協働して音楽を中心とした多様な市民の多彩な文化、芸術活動の創造を通じて、活力とうるおいのある地域社会づくりをめざして取り組みました。

2020年度は、4月と年明けに緊急事態宣言が発出され、音楽イベントの中止や延期が相次ぐ中で、音楽活動の再開支援や「音楽のまち・かわさき」のイメージアップ向上を図るため効果的な広報・情報発信を展開しました。さらに、感染対策を行いながら、民間主体の音楽イベント等との連携・協力を進め、人材育成及び活動の場の確保に取り組みました。

I 人材育成、調査及び交流の場づくり事業

市内の音楽人材・資源を積極的に活用しながら、「音楽のまち・かわさき」をさらに広める取組として、音楽大生、ストリートミュージシャンなど音楽にかかわる人材の育成、交流機会の提供、音楽公演や音楽活動に関する情報提供や関連産業の振興・創出などさまざまな事業を行いました。

1 市内音楽資源の活用

市内で実施されるイベント等に参加し、音楽大生や中高生、ストリートミュージシャンなど音楽にかかわる人材、資源が活かせる環境整備に取り組みました。また、音楽公演や音楽活動に関する情報提供などもさまざまな媒体を通じて積極的に進める事業を展開しました。

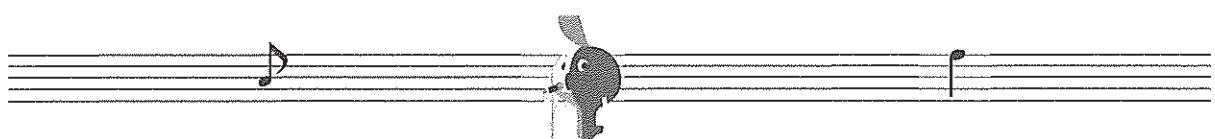
■さまざまな音楽関連のイベントの実施、協力・後援（詳細は、Ⅲに記載）

2 市内音楽大学等との連携

市内音楽大学等と連携・協力しながら、学生・生徒の演奏機会の拡大や音楽イベントの充実を図り、さまざまなステージで多くの市民に音楽を楽しんでいただける機会を提供しました。

■主なイベント

| 出演/放映日 | 学校・出演者 | イベント/番組名 |
|--------|--|------------------------------------|
| 11月5日 | 洗足学園音楽大学 ミュージカルコース、音楽環境創造コース MUSIC POOL CINO（ミュージカル専用劇場）に潜入 | t v k「猫のひたいほどワイド」音楽のまち・かわさきコーナーVTR |



| | | |
|--------------|--|------------------------------------|
| 2月4日 (中止) | 昭和音楽大学 音楽学部・短期大学部ジャズ/ポピュラーコース卒業ライブに潜入 ※感染対策のため、授業が休講となりロケ中止 | t v k「猫のひたいほどワイド」音楽のまち・かわさきコーナーVTR |
| 3月27日 | <Let's! Swing!!> ♪大西学園中高等学校吹奏楽部 | みぞのくちライブ |

3 音楽人材・施設の情報発信

音楽の分野で川崎市に関係、ゆかりのある人や団体など、市内の音楽人材等に関する情報を収集し、提供する「アーティスト検索サイト」の運営を行いました。このサイトを通じて、登録したアーティストのさまざまなイベント等への出演機会の拡充につながりよう取り組みました。また、市内で音楽練習や公演ができる施設をHPで紹介しました。

■登録数：163の個人・団体、87施設（いずれも2021年3月31日現在）

4 おんまち・みぞのくちライブの開催

ノクティプラザとの連携により、武蔵溝ノ口駅前「ノクティプラザ2（マルイ）」で開催し、このライブを通じ若手のアーティストや音大生、生徒などに演奏機会を提供するとともに、まちの活性化にも寄与しました。

2020年度は、ノクティプラザの感染対策方針により、施設内の催事開催期間が限定されたため、2回の開催となりましたが、屋上広場をステージとして管弦楽団、中・高等学校音楽系部活の生徒による演奏を開催しました。

■開催日時：（通常）毎月第3土曜日 14：00～16：30

■会場：（通常）ノクティプラザ2（マルイ）2階入り口前

| 実施日 | 出演 |
|-------|--|
| 11月7日 | ♪神奈川フィルハーモニー管弦楽団 金管五重奏 ※感染対策のため、ノクティプラザ2 屋上広場にて開催 |
| 3月27日 | <Let's! Swing!!> ♪大西学園中高等学校吹奏楽部 ※感染対策のため、ノクティプラザ2 屋上広場にて開催 |

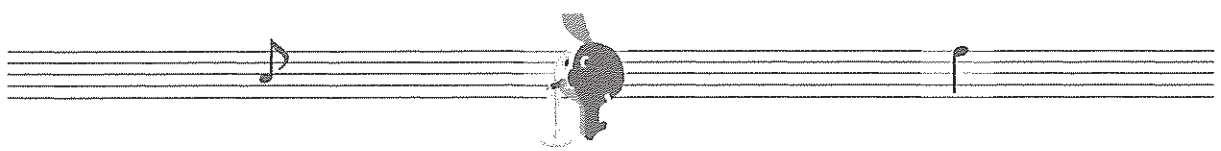
5 フレルさぎ沼 おんまちライブの開催（中止）

東急田園都市線鷺沼駅前の商業施設・フレールさぎ沼との連携により、月に1回定期的にライブイベントを開催し、アーティストなどに演奏機会を提供するとともに、商業地域での音楽のまちづくりの発信と鷺沼駅周辺の活性化への寄与を目指すイベントです。

2020年度は、フレールさぎ沼の感染対策方針により、2020年度内は全催事を中止とする事となり、当イベントも中止となりました。

■日時：（通常）毎月第4水曜日 17：00～19：30

■会場：フレールさぎ沼1階入り口横イベントスペース



6 「ミュートン チャンネル」(YouTube) の配信

PCやスマートフォン、タブレットを使ってより多くの方が音楽を楽しめるように、動画配信サイト「YouTube」を活用して市内の音楽イベントやコンサートの様子を配信しました。

■配信実績：16件(2020年4月1日～2021年3月31日)

7 事業調査

感染拡大防止の観点から他都市視察の代替として、文化芸術を通じた社会包摂や積極的社会福祉政策としての文化芸術の事例(岐阜県可児市)等の文献調査を行いました。

8 ボランティアの育成及び活動支援

感染症拡大防止における事業活動のガイドラインに基づき、従来より縮小した形態でボランティアを運営しました。ボランティアの参加者は、出演アーティストの写真撮影や、公演会場での消毒、来場者の検温等を行いました。なお、活動日程の調整や連絡に使用するインターネットサイト「おんまち交流広場」には69名(2020年3月31日現在)の登録があります。

■ボランティア活動実績

- ・平和公園コンサート：活動日1日、参加者数1人
- ・おんまち・みそのくちライブ：活動日2日、参加者数のべ2人
- ・かわさきジャズ2021：活動日6日、参加者数のべ37人

9 「音楽のまち・かわさき」交流会(中止・変更)

協議会活動に協力をいただいた様々な分野の方々との交流の場を設け、情報や意見の交換を以下のとおり開催する予定でしたが、感染拡大防止のため中止となりました。

(中止)

■日時：2020年10月10日(土) ■会場：ソリッドスクエアホール(幸区)

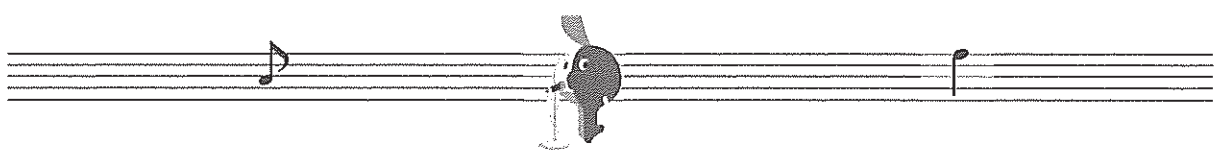
■参加：協議会役員及び協議会発足時から協力いただいている市民団体、音楽大学、企業、音楽家、音楽活動団体、行政機関の関係者

2年連続で交流会が中止となり、また、様々な音楽イベントも中止・延期され、交流の機会が少なくなる状況で、音楽活動を再開し、再び「音楽のまち」を盛り上げていくため、関係者のメッセージや近況を情報共有するDVDを制作しました。

■メッセージ募集：8月(メッセージ数：78通) ■DVD発送：10月15日

10 若手アーティスト交流会の開催(中止)

市内で活動している若手アーティストが川崎発のアーティストとしてさらに活躍できる機会を創出するため、音楽事業関係者、メディア関係者、地元事業者等との交流会を開催支援してきましたが、2020年度は感染拡大防止のため、実施しないこととなりました。



II 情報発信事業

市民や多くの音楽ファンに向けて、音楽関連の身近なイベント情報を発信するための情報紙「カワサキ ミュージック プチ マガジン」をはじめ、テレビ番組、インターネットホームページ、SNS等のさまざまな媒体により、市内で行われる音楽に関するイベントや洗足学園音楽大学、昭和音楽大学、ミュージア川崎シンフォニーホールで開催される演奏会、さらに音楽人材・活動等に関する情報提供に取り組みました。

1 音楽情報紙「Kawasaki Music プチ Magazine」の発行

市内で行われる音楽に関するイベント、活動、公演のほか、関連事業等を掲載する音楽情報紙「カワサキ ミュージック プチ マガジン」を定期的に発行し、市内のさまざまな施設を通じて多くの市民の皆さんへ情報提供を行いました。また、イベントカレンダーホームページ版では、時期・場所・公演ジャンルによる効果的な検索が可能となっています。

■仕様：A4判、6ページ又は8ページ/カラー刷、3万部発行

■配付場所：公共機関、大学、駅、金融機関、郵便局、病院、ホテル、美容室等

■発行実績/掲載イベント数

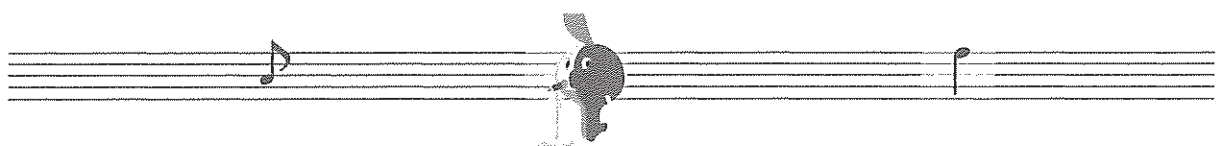
| | |
|-------------------|------|
| 5・6月号（5月10日発行） | 72件 |
| 7・8月号（7月10日発行） | 78件 |
| 9・10月号（9月10日発行） | 94件 |
| 11・12月号（11月10日発行） | 92件 |
| 1・2月号（1月10日発行） | 82件 |
| 3・4月号（3月10日発行） | 99件 |
| 合計 | 517件 |

2 音楽情報テレビ・ラジオ番組等の制作・放送

t v kの番組とCM、かわさきFMの番組放送を通じて、市内で開催される演奏会、ライブ、公演など音楽に関するタイムリーな情報提供や、若手アーティストなど音楽活動を行っている人・団体等を広く紹介することでアーティストの人材育成への寄与、さらに「音楽のまち・かわさき」のイメージアップに取り組みました。

(1) t v k（テレビ神奈川）番組「猫のひたいほどワイド」音楽のまち・かわさきコーナーの放映

月1回10分程度のVTRコーナーでは音楽イベントや音楽関連産業を紹介し、これらを楽しく、魅力的に発信しました。そして1分程度のインフォーマーシャルコーナーでは音楽イベントの見所や魅力を紹介し、幅広く市内のイベント、活動の紹介、支援を行いました。また、年6回、さまざまな音楽活動を続けるミュージシャンをゲストに迎え、スタジオからの生演奏により紹介し、人材育成と活動の情報発信をしました。



- 番組：「猫のひたいほどワイド」 コーナー 毎週木曜日
- 放送：2020年5月14日～2021年3月25日
- 放送実績：42回 ※感染状況により3回分を来年度に順延

(2) tvk CM「音楽のまち・かわさき」のスポット放送

カワサキストリートミュージックバトルグランプリに輝いたアーティストの楽曲を起用したCMの制作・放映により、「音楽のまち・かわさき」の事業PRとイメージアップを行いました。

- 放送：2020年4月1日～2021年3月31日
- 放送実績：423回

(3) かわさきFMの放送

かわさきFMの各番組を通じて、市内で開催される音楽関連イベント等タイムリーな情報をリスナーへ提供しました。

2020年度は、かわさきFMの感染対策方針により、各番組内容による判断で、休止とする回が発生しました。休止となった回の放送料は減額されています。

- 番組：「ミュートンタイム」毎月第1・3火曜日（約20分）

市内で開催される音楽イベントや活躍している音楽人、楽曲を紹介しました。

放送：2020年4月7日～2021年3月16日

放送実績：24回

- 「ミュートンパーク」毎月第3月曜日（30分）

川崎市に關係する様々な分野でご活躍中の方に出演していただき、音楽や川崎の話題を紹介しました。

放送：2020年6月15日～2021年3月15日

放送実績：10回 ※感染対策のため4月、5月は休止

- 「ミュートンキャンパス」毎月第1月曜日（30分）

市内小中高学校の音楽系部活動の顧問の先生に出演していただき、指導内容などを紹介、部活動で音楽に携わっている児童生徒の育成支援、保護者等への情報提供を行いました。

放送：2020年4月5日～2021年3月1日

放送実績：11回 ※感染対策のため5月は休止

3 インターネットホームページによる情報提供

(1) 情報提供

即時性、双方向性を有するインターネットホームページを活用し、市民に身近な地域の音楽イベント等各種活動の情報収集・提供を行いました。

- 音楽のまち・かわさきホームページ掲載内容

- ①市内音楽イベント案内
- ②イベントレポート
- ③アーティスト検索サイト



- ④ライブ情報、音楽仲間探しなどの情報掲示板
- ⑤市内の音楽施設情報
- ⑥音楽情報マガジン
- ⑦WEB版「ミュージックマガジン」
- ⑧ミュートンの部屋
- ⑨「ミュートンチャンネル」
- ⑩「ミュートンチャンネル+（プラス）」
- ⑪親子向け「ドレミファ♪ミュートン」
- ⑫音楽ショップ「かわさきのオケイコ」
- ⑬「かわさきの音楽ショップ」など

■掲載イベント情報数：1, 103件（2020年4月1日～2021年3月31日）

(2) ホームページアクセシビリティの向上

「川崎市ホームページアクセシビリティ対応基準書」に基づき、画像に代替となるテキスト（alt 属性）を指定する機能を追加し、文字の色と背景色において基準のコントラスト比を確保しました。

4 SNSやメールマガジンによる情報発信

SNSやメールマガジンを活用した登録者向け音楽イベント等の情報発信を推進しました。

(1) SNSによる情報提供

Twitter、Instagram、Facebookにより、簡便でリアルタイムな方法で「音楽のまち・かわさき」の情報を発信しました。

Twitter：件数224件（2020年4月1日～2021年3月31日）

ツイート3,433件、フォロワー1,120人

（2021年3月31日現在の累計数）

Instagram：投稿70件（2020年4月1日～2021年3月31日）

フォロワー275人（2021年3月31日現在の累計数）

Facebook：フォロワー137人（2021年3月31日現在の累計数）

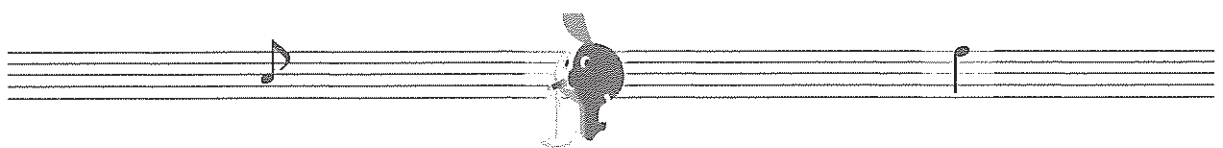
(2) メールマガジンによる情報提供

事務局からのお知らせ、新着ニュース、市内のイベント案内などの情報を毎週火曜日に配信しました。

メールマガジン：52号（#750～#801） 登録者数 約1,549人

5 人気キャラクター「ミュートン」による広報活動

市内で開催されるイベントや配信動画への「ミュートン」の出演や、イベント会場での感染予防を呼びかけるポスターの提供など、市内外に向けた「ミュートン」キャラクターの発信により「音楽のまち・かわさき」のPR、イメージアップの推進に取り組みました。



- 着ぐるみ・操り人形「ミュートン」のイベント・動画参加によるPR活動実績：5回
- 感染予防ポスターの使用実績：市内45施設に配布のほか、使用申込10件

6 ミュートングッズやCD等のネットショップによるPR

「ミュートン」のグッズや、CDアルバム「好きですかわさき」と「カラフルかわさき」の販売促進に取り組み、「音楽のまち・かわさき」を発信しました。

既存商品で在庫が少なくなった付箋をリニューアルし販売しました。また、ミュートンのLINEスタンプを製作・販売し、「親子・子どもへの音楽普及事業」におけるスタンプラリーの景品としても活用しました。その他、市文化財団が主催する「Colors かわさき2020 展」で発表されたオリジナリティあふれる絵画のイラストと、「ミュートン」のイラストを同時に使用した、親子でおそろいで着用できる「親子マスク ミュートン&しまうま」を3月より販売しました。

- 実績：付箋45個、LINEスタンプ245個

既存商品 Tシャツ40枚、トートバッグ111個 他

- 委託販売先：10か所（かわさききたテラス、川崎市民プラザほか）

7 親子・子どもへの音楽普及（新規）

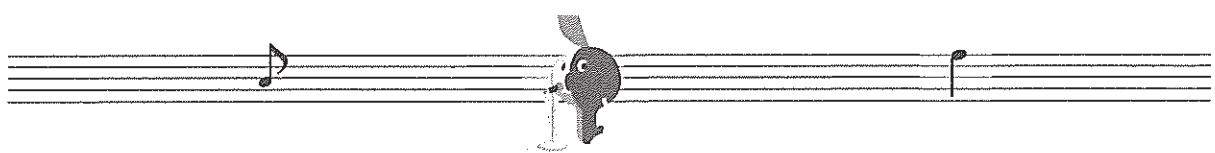
川崎市内の子ども及びその保護者に、今まで以上に音楽に興味を持ってもらい、音楽体験のきっかけとなる情報を、時代に合った様々な媒体・機会を通じて提供するとともに、スタンプラリー等を実施しました。

- 実績：情報パンフレット「ドレミファ♪ミュートン」配布 6,300部
- LINEによるイベント情報発信数 23件
- 親子・子ども向け動画制作・配信 11件

8 コロナ禍における文化芸術活動支援（新規）

新型コロナウイルスの感染拡大防止と市内音楽活動との両立を図るため、音楽活動・団体の支援や音楽普及につながる情報発信等を行いました。

- 実績：音楽イベント開催における感染予防対策のノウハウを動画発信
- 川崎市・文化庁・神奈川県などの助成金の情報発信
- 東京交響楽団への寄付募集案内
- ミュートン感染予防対策ポスターの作成・配布
- 市内音楽演奏ができる貸施設の提供（市民館の一部貸館停止への対応）



Ⅲ 共催等事業

1 音楽のまち・かわさき アジア交流音楽祭2020（中止）

多くのアジア系市民が住む川崎市の特性をいかし、「川崎市民にとどまらず、広くアジアの市民が音楽を通して交流するまちづくり」を目指し、アジア各国の民俗音楽・舞踊や川崎を拠点として活動するミュージシャンによる「音楽のまち・かわさき アジア交流音楽祭2020」を4月25日（土）・26日（日）に川崎駅周辺一帯で開催する予定でしたが、感染拡大防止のため中止となりました。

2 かわさきジャズ2020

「ジャズは橋を架ける」をキャッチフレーズに、ジャズを通じて出会いと交流の機会を創出するジャズフェスティバルとして開催した、公演や公募ライブなどの運営に協力しました。

なお、地域連携プログラムのひとつ、地元プレイヤーによるフリーライブ「溝ジャズDay」については、感染拡大防止のため、実施しないこととなりました。

3 交流の響き2020 in かわさき

神奈川新聞社をはじめ、全国の新聞社主催の音楽コンクールで優秀な成績を収めた入賞者がミュージア川崎シンフォニーホールに集い、素晴らしい演奏を披露し、交流し、互いに学びあい、技術や感性の更なる向上によって音楽文化の発展に寄与することを目的とした「交流の響き2020 in かわさき」の開催に協力し、「音楽のまち・かわさき」を全国に向けて発信しました。

■日程：2020年9月26日（土）

■会場：ミュージア川崎シンフォニーホール

■出場者：群馬、千葉、神奈川、新潟、長野、広島、高知、熊本、宮崎、鹿児島、沖縄の新聞社主催「音楽コンクール」入賞者11名とミュージア川崎シンフォニーホールのオルガン講座優秀受講生

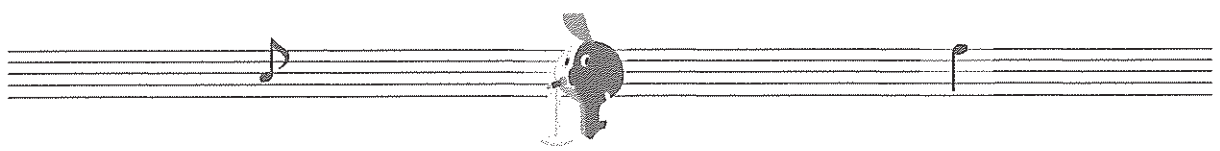
4 カワサキ・ストリート・ミュージック・バトル10

ストリートで活動する若手ミュージシャンが一年間を通じて競い、グランプリを決定するコンテスト「ストリート・ミュージック・バトル10」FINALSTAGE（2020年3月の開催延期分）を開催しました。

■日程：2021年3月6日（土）

■会場：サンピアンかわさき

■出演者：6組（グランプリ：濡、準グランプリ：AMARI）



5 水曜ナイトライブ In LAZONA（新規）

商業施設ラゾーナ内のルーフ広場において、官民が連携した音楽ライブ等を開催することで、川崎駅西口における音楽等を通じた交流や賑わいづくりに取り組みました。

- 日程：10/14、10/28、11/11、11/25、3/24、3/31（いずれも水曜日）
- 時間：午後6時～8時
- 出演数：累計 23 組

6 他の音楽イベント等への後援・協力

- 川崎・しんゆり芸術祭（アルテリッカしんゆり）2020
- 川崎市・英国シェフィールド市友好都市提携30周年記念コンサート
- ボレロ 少年の祭典2020
- あさお芸術のまちコンサート
- 第31回高津区民音楽祭
- さいわいハナミズキコンサート
- 第10回たま音楽祭
- 川崎吹奏楽団 第49回定期演奏会
- 川崎市民プラザ BIG BAND NIGHT
- なかはらミュージカル第9回公演
- いさご通り街角ミュージック
- 銀座街バスカーライブ
- ランチタイムコンサート（ミュゼ川崎シンフォニーホール、各区役所）
- 平和公園コンサート
- その他各種イベント



処務の概要

1 理事会

■第1回理事会：2020年6月4日（木）【書面開催】

- ・当初予定議案を三役会に一任

当初予定議案算

- ・2019年度事業報告
- ・2019年度収支決算報告
- ・監査報告

三役会（持ち回り）で理事会から委任された事項について決議

■第2回理事会：2021年3月31日（水）【書面開催】

- ・当初予定議案を三役会に一任

当初予定議案

- ・2021年度役員体制
- ・2021年度事業計画
- ・2021年度収支予算

三役会（持ち回り）で理事会から委任された事項について決議

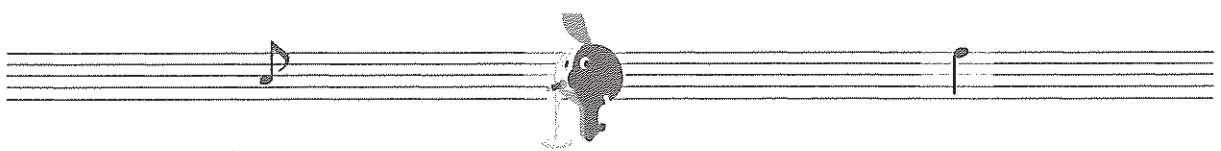
2 会計監査（2020年度分）

■日時：2021年4月30日（金）

3 運営委員会

■運営委員（2021年4月1日現在）

| | |
|--------|---|
| 高野 映子 | 副会長／合唱団「アニモKAWASAKI」代表 |
| 松尾 祐孝 | 洗足学園音楽大学教授 |
| 吉武 雅子 | 洗足学園音楽大学教授 |
| 石坂 久仁明 | 洗足学園音楽大学・洗足こども短期大学演奏支援センター センター長 |
| 長谷川 正樹 | 洗足学園音楽大学・大学院 教学センター 課長 |
| 香月 菜麻 | 昭和音楽大学 昭和音楽大学短期大学部 演奏センター講座企画・運営室 課長代理 |
| 若井 悠樹 | (株)チッタ エンタテイメント広報宣伝部エンタテイメント課 |
| 市川 順 | 川崎商工会議所企画広報部広報課長 |
| 玉村 裕之 | tvk 営業局次長兼営業推進室長兼営業推進部長兼事業推進部長 |

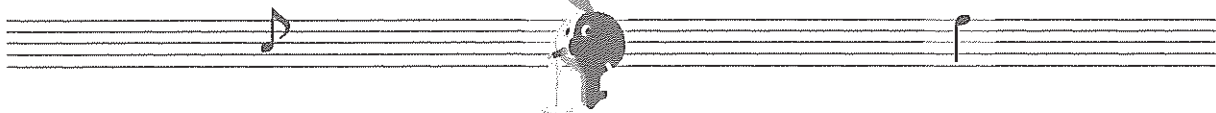


■開催内容

| 開催日 | 内容 |
|---------------|---|
| 4月 (書面) | 2019年度第2回理事会の結果について 2020年度第1回理事会について 新型コロナウイルス感染症の発生を受けた取組等について 他 |
| 7月22日 | 決算理事会の結果について 新型コロナ感染拡大防止に伴う取組等について 交流会の中止とメッセージDVD企画について 他 |
| 10月5日 | 新型コロナ感染拡大防止に伴う取組等について 交流メッセージDVDについて 子どもに音楽の普及を図る取組について 他 |
| 12月2日 | 新型コロナ感染拡大防止に伴う取組等について 子どもに音楽の普及を図る取組について 音楽イベントボランティアについて 他 |
| 2月16日 (書面) | 2021年度事業計画案について 新型コロナ感染拡大防止に伴う取組等について KAWASAKI STREET MUSIC BATTLE について アジア交流音楽祭について 「Colors かわさき 2020 展」との連携について 他 |

「ミュートンチャンネル」(YouTube) の配信

| 回 | 撮影日 | イベント名 | 場所 |
|----|--------|---------------------------------------|-------------------------|
| 1 | 6月21日 | 平和公園コンサート(本編) | 川崎市中原平和公園 |
| 2 | 6月21日 | 平和公園コンサート (コロナ対策とインタビュー集) | 川崎市中原平和公園 |
| 3 | 10月19日 | カワサキハロウィン2020 by おんまち xMUZAx かわジャズ | ミュージア川崎シンフォニーホール |
| 4 | 10月20日 | カワサキハロウィン2020(おんまち編) | 川崎市文化財団会議室 |
| 5 | 12月3日 | ドレミファミュートン かわさき・まちなか「音楽みつけ隊」 | 川崎市内数か所 |
| 6 | 1月15日 | 「音楽のまち・かわさき」CM2020年度 バージョン | ミュージア川崎シンフォニーホール |
| 7 | 1月28日 | 親子でエンジョイミュージック 「おおきなたいこ」ホップ! | 川崎市生活文化会館 かわさきてくのホール |
| 8 | 1月28日 | 親子でエンジョイミュージック 「おおきなたいこ」ステップ! | 川崎市生活文化会館 かわさきてくのホール |
| 9 | 1月28日 | 親子でエンジョイミュージック 「おおきなたいこ」ジャンプ! | 川崎市生活文化会館 かわさきてくのホール |
| 10 | 1月28日 | 親子でエンジョイミュージック 「ことりのうた」ホップ! | 川崎市生活文化会館 かわさきてくのホール |
| 11 | 1月28日 | 親子でエンジョイミュージック 「ことりのうた」ステップ! | 川崎市生活文化会館 かわさきてくのホール |
| 12 | 1月28日 | 親子でエンジョイミュージック 「ことりのうた」ジャンプ! | 川崎市生活文化会館 かわさきてくのホール |
| 13 | 1月28日 | 親子でエンジョイミュージック 「ふしぎなポケット」ホップ! | 川崎市生活文化会館 かわさきてくのホール |
| 14 | 1月28日 | 親子でエンジョイミュージック 「ふしぎなポケット」ステップ! | 川崎市生活文化会館 かわさきてくのホール |
| 15 | 1月28日 | 親子でエンジョイミュージック 「ふしぎなポケット」ジャンプ! | 川崎市生活文化会館 かわさきてくのホール |
| 16 | 3月22日 | 3年3組こくばん先生の 「作詞・作曲ワークショップ」 | 小黒恵子童謡記念館 |



ホームページ掲載イベント情報数

| 月 | 情報数 | 月 | 情報数 |
|----|-----|-----|-------|
| 4月 | 70 | 10月 | 98 |
| 5月 | 111 | 11月 | 112 |
| 6月 | 120 | 12月 | 88 |
| 7月 | 115 | 1月 | 66 |
| 8月 | 69 | 2月 | 83 |
| 9月 | 92 | 3月 | 79 |
| | | 総計 | 1,103 |

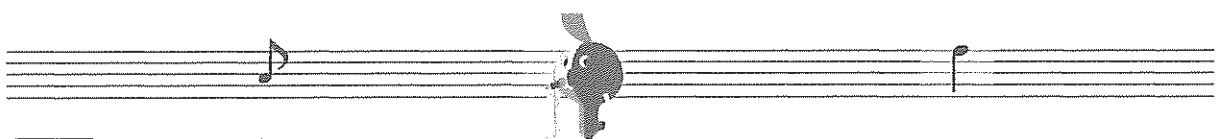
Twitter 「ミュートン【公式】」

| 月 | ツイート数 | 月 | ツイート数 |
|----|-------|-----|-------|
| 4月 | 14 | 10月 | 31 |
| 5月 | 24 | 11月 | 9 |
| 6月 | 17 | 12月 | 19 |
| 7月 | 16 | 1月 | 14 |
| 8月 | 17 | 2月 | 19 |
| 9月 | 17 | 3月 | 27 |
| | | 総計 | 224 |

参考：2021年3月31日現在の累計数：ツイート合計 3,433/フォロワー数 1,120

tvk「猫のひたいほどワイド」

| 回 | 放送日 | テーマ（イベント実施日もしくは所属団体） |
|----|--------|--|
| 1 | 5月14日 | 伊藤さくら（カワサキストリート音楽団）生演奏 |
| 2 | 5月21日 | 協議会 HP リニューアル、ミュートンチャンネル+ |
| 3 | 5月28日 | 協議会 HP かわさきのオケイコ、音楽ショップ 掲載情報募集 |
| 4 | 6月4日 | 岡本太郎美術館バシェ生誕100周年（6/2～7/12） |
| 5 | 6月11日 | 東京交響楽団 無観客・生配信コンサート告知（6/23） |
| 6 | 6月18日 | アルテリッカしんゆり 2020 チケット販売開始 |
| 7 | 6月25日 | フェスタサマーミュージア KAWASAKI2020（7/23～8/10） |
| 8 | 7月2日 | 東京交響楽団 無観客・生配信コンサート取材 |
| 9 | 8月3日 | かわさきジャズアカデミー受講者・公募ライブ出演者募集 |
| 10 | 8月6日 | 川崎市菓子協議会 ミュートンシールでの寄付事業紹介 |
| 11 | 8月13日 | 交流の響き 橘和美優さん（ヴァイオリン大学2年生） |
| 12 | 8月20日 | ミュートン LINE スタンプ・感染拡大防止ポスター |
| 13 | 8月27日 | 渡辺貞夫オーケストラ（9/29） |
| 14 | 9月3日 | チッタエンタテイメント（はいさい FESTA、LIVE ZOUND、ROCK ウォール） |
| 15 | 9月10日 | かわさきジャズ 2020 ラインナップ紹介 |
| 16 | 9月14日 | 川崎・しんゆり芸術祭アート講座 2020 |
| 17 | 9月17日 | かわさきジャズ 2020CM 紹介 |
| 18 | 9月24日 | ホテルメトロポリタン川崎 FRIDAY NIGHT LIVE |
| 19 | 10月1日 | ボーイズレビューユニット 10carats |
| 20 | 10月8日 | 水曜ナイトライブ in LAZONA（10/14, 28） |
| 21 | 10月15日 | かわさきジャズ 2020 荒井伝太 生演奏 |
| 22 | 10月19日 | 溝ノ口劇場 Premium Concert（10/13）、グランドピアノ |
| 23 | 10月22日 | プラザの森コンサート（11/1） |
| 24 | 10月29日 | 第144回あさお芸術のまちコンサート（11/15） |
| 25 | 11月4日 | おんまち・みぞのくちライブ（11/7） |
| 26 | 11月5日 | 洗足学園音楽大学ミュージカル専用劇場 MUSIC POOL CINO |
| 27 | 11月12日 | MUZA ジルベスターコンサート（12/31） |
| 28 | 11月19日 | Showa ミュージック・カフェ 2020 昭和音楽大学同侪会奨学金対象者によるコンサート（11/23） |
| 29 | 11月26日 | 東京交響楽団 新春お年玉コンサート（1/6） |
| 30 | 12月3日 | オペラシアターこんにゃく座 |
| 31 | 12月10日 | 川崎ウィンズ ウィンターコンサート（1/10） |
| 32 | 12月14日 | 第15回ザハートフルコンサート大西学園中高等学校吹奏楽部演奏会（1/9） |
| 33 | 12月17日 | クララ・ベルリンガーズ 生演奏 |
| 34 | 1月21日 | 第10回記念たま音楽祭（2/6, 7） |
| 35 | 1月28日 | 川崎市・東京交響楽団マッチングコンサート市民招待 |



| | | |
|----|-------|--------------------------------|
| 36 | 2月18日 | カワサキストリートミュージックバトル10ファイナル(3/6) |
| 37 | 2月25日 | 川崎市子ども夢パーク |
| 38 | 3月4日 | 坂本九生誕80周年記念事業ビデオ |
| 39 | 3月11日 | 水曜ナイトライブ in LAZONA (3/24, 31) |
| 40 | 3月18日 | 桜井純恵さんと児童合唱団なかよしくらぶ 生演奏 |
| 41 | 3月22日 | 親子マスク ミュートン&しまうま |
| 42 | 3月25日 | アルテリッカしんゆり 2021 チケット販売開始 |

t v k CM「音楽のまち・かわさき」のスポット放送

| | | | |
|-----|--------|--|----------|
| 4月 | 1日～30日 | 2019 KSMB グランプリ カナコレ BAND 編 | 38 |
| | | 2018KSMB グランプリ the tote 編 | |
| 5月 | 1日～31日 | 2019 KSMB グランプリ カナコレ BAND 編 | 34 |
| | | 2018KSMB グランプリ the tote 編 | |
| 6月 | 1日～30日 | 2019 KSMB グランプリ カナコレ BAND 編 | 34 |
| | | 2018KSMB グランプリ the tote 編 | |
| 7月 | 1日～31日 | 2019 KSMB グランプリ カナコレ BAND 編 | 32 |
| | | 2018KSMB グランプリ the tote 編 | |
| 8月 | 1日～31日 | 2019 KSMB グランプリ カナコレ BAND 編 | 36 |
| | | 2018KSMB グランプリ the tote 編 | |
| 9月 | 1日～30日 | 2019 KSMB グランプリ カナコレ BAND 編 | 35 |
| | | 2018KSMB グランプリ the tote 編 | |
| 10月 | 1日～31日 | かわさきでいつでもエンジョイミュージック 東京交響楽団 ♪好きですかわさき 編 | 37 |
| 12月 | 1日～31日 | かわさきでいつでもエンジョイミュージック 東京交響楽団 ♪好きですかわさき 編 | 35 |
| 1月 | 1日～31日 | かわさきでいつでもエンジョイミュージック 東京交響楽団 ♪好きですかわさき 編 | 33 |
| 2月 | 1日～29日 | かわさきでいつでもエンジョイミュージック 東京交響楽団 ♪好きですかわさき 編 | 38 |
| 3月 | 1日～31日 | かわさきでいつでもエンジョイミュージック 東京交響楽団 ♪好きですかわさき 編 | 36 |
| | | | 合計 423 回 |

かわさきFM「かわさきミュートンタイム」◆第1・3火曜/17:20~MC 宮下敏子

| 回 | 放送日 | 内容 |
|----|--------|---|
| 1 | 4月7日 | 協議会 2020年度の活動紹介(HPリニューアル、音楽スクール情報募集等) |
| 2 | 4月21日 | ピックアップアーティスト 給食当番 |
| 3 | 5月5日 | ピックアップアーティスト ギタリスト 永瀬晋 |
| 4 | 5月19日 | ピックアップアーティスト ジャムスタンマジック ボーカル erico |
| 5 | 6月2日 | 洗足オンラインスクール |
| 6 | 6月16日 | 川崎市&東京交響楽団 Live from MUZA!~マッチングギフトコンサート~ |
| 7 | 7月7日 | ピーナッツ・プラス・クインテット第4回定期演奏会 |
| 8 | 7月21日 | リモートコラボ動画「花火~音楽のまち・かわさき2020~」 |
| 9 | 8月4日 | 音友レコード倶楽部 レコードコンサート |
| 10 | 8月18日 | オペラシアターこんにゃく座 活動紹介・寄付募集 |
| 11 | 9月1日 | 歌うブギウギピアニスト(かわさきジャズ2020) 荒井伝太 |
| 12 | 9月15日 | 昭和音楽大学「オペラ公演2020《ドン・ジョヴァンニ》 |
| 13 | 10月2日 | 麻生フィルハーモニー管弦楽団 第71回定期演奏会 |
| 14 | 10月20日 | 川崎マンドリン倶楽部 |
| 15 | 11月3日 | かわさきミュージックチャレンジ みんなでチャレンジコンサート |
| 16 | 11月17日 | ファンタジー・フルート 第8回東日本チャリティコンサート |
| 17 | 12月1日 | かわさき子どもの権利フォーラム「ちがいが豊かさとして響きあう」 |
| 18 | 12月15日 | カルッツかわさき ウィズ・ミュージズシリーズ |
| 19 | 1月5日 | モーツァルトの音楽を楽しむ会 |
| 20 | 1月19日 | ピックアップアーティスト(銀座街バスカーライブ) SENA |
| 21 | 2月2日 | カワサキストリートミュージックバトル10 Final |
| 22 | 2月16日 | ピックアップアーティスト yucat |
| 23 | 3月2日 | 魅惑の音楽紀行「小川典子ピアノ・リサイタル」 |
| 24 | 3月16日 | アルテリッカしんゆり2021 ベイビーミニシアターフェスティバル |

かわさきFM「ミュートンパーク」◆第3月曜/17:20~17:50 MC 協議会 北島/石河内

| 回 | 放送日 | ゲスト |
|----|--------|---------------------------------------|
| 1 | 4月20日 | 休止 |
| 2 | 5月18日 | 休止 |
| 3 | 6月15日 | 岡本太郎美術館 学芸課長 大杉浩司さん |
| 4 | 7月20日 | S'NEXT (ハイエンドイヤホン販売) 森圭太郎さん |
| 5 | 8月17日 | ホテルメトロポリタン川崎 総支配人 金田文典さん |
| 6 | 9月21日 | NECレッドロケッツ (女子バレーボールチーム) キャプテン 山内美咲さん |
| 7 | 10月19日 | コメイヴァイオリン工房 米井伸夫 さん |
| 8 | 11月16日 | NPO 法人 カワサキミュージックキャスト 理事長 反町充宏 さん |
| 9 | 12月21日 | 京急川崎駅 駅長 大久保 謙二 さん |
| 10 | 1月18日 | 協同組合 川崎中小業者総合センター 理事長 柳沢芳信 さん |
| 11 | 2月15日 | カワスイ 川崎水族館 副館長 小川 泰史 さん |
| 12 | 3月15日 | ボレロを楽しむ会 事務局長 山本 雄 さん |

かわさきFM「ミュートンキャンパス」◆第1月曜/17:20~17:50 MC 協議会 北島/石河内

| 回 | 放送日 | ゲスト |
|----|-------|----------------------------------|
| 1 | 4月6日 | 法政大学第二中・高等学校 合唱部 顧問 新井英樹先生 |
| 2 | 5月4日 | 休止 |
| 3 | 6月1日 | ゲストなし 合唱コンクール 楽曲特集 |
| 4 | 7月6日 | 川崎の歌姫 ソプラノ歌手 桜井純恵さん (児童合唱団指導) |
| 5 | 8月3日 | カリタス小学校 音楽教諭 城恵美子先生 |
| 6 | 9月7日 | 3年3組 こくばん先生 (川崎市教職員 プロミュージシャン) |
| 7 | 10月5日 | 川崎市立川崎高等学校附属中学校 吹奏楽部 顧問 大野由希子先生 |
| 8 | 11月2日 | 神奈川県立新城高等学校 合唱部 顧問 楠 裕先生 |
| 9 | 12月7日 | 神奈川県立百合丘高等学校 ダンス部 顧問 蓑毛なつみ先生 |
| 10 | 1月4日 | 川崎市立富士見台小学校 富士見台小学校合唱団 指導 真下陽子先生 |
| 11 | 2月1日 | 川崎市立玉川中学校 吹奏楽部 顧問 石淵 隆生先生 |
| 12 | 3月1日 | 洗足学園中学高等学校 弦楽合奏部 顧問 本田 拓也先生 |

ミュートン行動実績

| 回 | 日時 | イベント名 | 会場 |
|---|--------|--------------------------------|--------------------------|
| 1 | 7月13日 | ラゾーナ川崎プラザ エアー盆踊り (動画) | ミューザ川崎シンフォニーホール 歓喜の広場 |
| 2 | 11月14日 | In Unity (動画) | 等々力陸上競技場 |
| 3 | 12月16日 | NPO 応援動画 | かわさき市民活動センター |
| 4 | 2月6日 | 第10回たま音楽祭 PR 動画 | 多摩区役所内会議室 |
| 5 | 3月6日 | カワサキストリートミュージックバトル 10 Final | サンピアンかわさき |

2020年度年度収支決算

1 収支計算書

2020年4月1日から2021年3月31日

| 科 目 | 予算額 (ア) | 決算額 (ウ) | 差異 (ア－ウ) | 備 考 |
|------------------------|------------|------------|-----------|--|
| I 収入の部 | | | | |
| 1 事業収入 | 556,000 | 261,420 | 294,580 | グッズ販売収入のみ ※交流会開催中止のため会費収入なし |
| 2 補助金収入 | 20,704,000 | 19,257,560 | 1,446,440 | 川崎市補助金 (1,446,440円戻入) ※アジア交流音楽祭中止による戻入 1,431,370円を含む |
| 3 雑収入 | 150,000 | 323,133 | -173,133 | 預金利子、寄付金、 かわさきジャズボランティア運営補助費 |
| 当期収入合計 (A) | 21,410,000 | 19,842,113 | 1,567,887 | |
| II 支出の部 | | | | |
| 1 事業費 | 21,410,000 | 19,842,113 | 1,567,887 | |
| 人材育成等事業費 | 4,146,000 | 2,880,134 | 1,265,866 | 動画配信 イベント運営、ボランティア関係 |
| 調査・研究事業費 | 50,000 | 3,190 | 46,810 | 他都市事例調査 |
| 交流の場づくり事業費 | 880,000 | 390,721 | 489,279 | 「音楽のまち・かわさき」交流DVD |
| 紙媒体による情報発信事業費 | 2,800,000 | 2,791,438 | 8,562 | イベント情報紙発行 |
| 放送媒体による情報発信事業費 | 9,992,000 | 9,944,904 | 47,096 | テレビ定時番組・スポットCM、 FMレギュラー番組 |
| 通信媒体による情報発信事業費 | 1,500,000 | 1,791,703 | -291,703 | ホームページ 一部改修 保守管理 |
| その他の情報発信 | 2,042,000 | 2,040,023 | 1,977 | 情報発信PR活動・PR用グッズ製作 子 ども向け音楽普及 |
| 2 予備費 | 0 | 0 | 0 | |
| 当期支出合計 (B) | 21,410,000 | 19,842,113 | 1,567,887 | |
| 当期支出差額 (A) - (B) = (C) | 0 | 0 | 0 | |
| 次期繰越支出差額 (C) | 0 | 0 | 0 | |

2 貸借対照表（財産目録）

2021年3月31日 現在

（単位＝円）

| 科 目 | 金 額 | | |
|-------------------|-----------|-----------|-----------|
| I 資産の部 | | | |
| 1 流動資産 | | | |
| (1)現金預金 | | | |
| 普通預金(JAセレサ川崎支店) | 2,238,855 | | |
| 普通預金(川崎信用金庫本店営業部) | 1,986,647 | | |
| 現金 | 32,593 | | |
| 未収入金 | 0 | | |
| 流動資産合計 | | 4,258,095 | |
| 2 固定資産 | | | |
| 固定資産合計 | | 0 | |
| 資産合計 | | | 4,258,095 |
| II 負債の部 | | | |
| 1 流動負債 | | | |
| (1)未払金 | 2,811,655 | | |
| (2)返還金 | 1,446,440 | | |
| (3)預かり金 | 0 | | |
| 流動負債合計 | | 4,258,095 | |
| 2 固定負債 | | | |
| 固定負債合計 | | 0 | |
| 負債合計 | | | 4,258,095 |
| III 正味財産の部 | | | |
| 正味財産 | | | 0 |
| 負債及び正味財産合計 | | | 4,258,095 |

監 査 報 告 書

「音楽のまち・かわさき」推進協議会規約第28条の規定に基づき、
2020年度の業務及び会計の状況について監査したところ、適正
妥当に処理されていることを認めます。

2021年 4月 30日

「音楽のまち・かわさき」推進協議会

会 長 伊 藤 雅 俊 様

監 事 小 泉 知 寛 

監 事 鈴 木 賢 二 

2021年度「音楽のまち・かわさき」推進協議会 役員

| 役職名 | 氏名 | 所属団体・役職 |
|-----|--------|----------------------------|
| 会長 | 伊藤 雅俊 | 味の素株式会社取締役会長 |
| 副会長 | 万代 晋也 | 洗足学園音楽大学学長 |
| 副会長 | 下八川 共祐 | 昭和音楽大学理事長 |
| 副会長 | 高野 映子 | 合唱団「アニモKAWASAKI」代表 |
| 副会長 | 土岐 一利 | 株式会社チッタエンタテイメント取締役 |
| 会計 | 原 修一 | J Aセレサ川崎代表理事組合長 |
| 理事 | 大野 順二 | 公益財団法人東京交響楽団専務理事・楽団長 |
| 理事 | 土肥 実久 | 川崎市アマチュアオーケストラ連盟代表 |
| 理事 | 小長井 大資 | 神奈川県職場・一般吹奏楽連盟理事長 |
| 理事 | 鶴田 孝 | 川崎吹奏楽団団長 |
| 理事 | 赤津 武雄 | 高津 J A Z Z 協会会長 |
| 理事 | 原 信一 | 京浜楽器株式会社代表取締役社長 |
| 理事 | 中村 布佐子 | 川崎市総合文化団体連絡会理事 |
| 理事 | 藤吉 誠一郎 | 川崎労働者福祉協議会会長 |
| 理事 | 中村 拓紀 | 川崎市合唱連盟会長 |
| 理事 | 小倉 敬子 | 公益財団法人かわさき市民活動センター理事長 |
| 理事 | 多田 昭彦 | 公益財団法人川崎市文化財団理事長 |
| 理事 | 三浦 淳 | 公益財団法人川崎市産業振興財団理事長 |
| 理事 | 橋本 夏代 | かわさき市民放送株式会社代表取締役社長 |
| 理事 | 天願 大介 | 日本映画大学学長 |
| 理事 | 中島 小百合 | 神奈川新聞社読者コミュニケーション局地域連携事業部長 |
| 理事 | 嶋田 充郎 | テレビ神奈川取締役 編成・報道担当編成局長 |
| 理事 | 加藤 順一 | 川崎市副市長 |
| 監事 | 小泉 知寛 | 川崎信用金庫専務理事 |
| 監事 | 鈴木 賢二 | 川崎商工会議所専務理事 |

ジュニア音楽リーダー育成事業 実施報告書

実施概要

- 名称 …… ジュニア音楽リーダー育成事業
- 開催日時 …… 2021年6月27日(日)
- 開催時間 …… 13:00～16:00
- 開催場所 …… アンサンブルシティ 1～6階
- 実施内容 …… 本学学生、卒業生による楽器指導
- 主催 …… 川崎市教育委員会
- 参加者 …… 川崎市立中学校 吹奏楽部員
1～2年生

実施結果

① 中学校別 参加人数

| | 臨港 | 川崎 | 南河原 | 宮崎 | 菅生 | 中野島 | 全体 |
|---------|----|----|-----|----|----|-----|-----|
| 参加人数(人) | 24 | 19 | 12 | 42 | 13 | 21 | 131 |

② 参加楽器パート、人数内訳

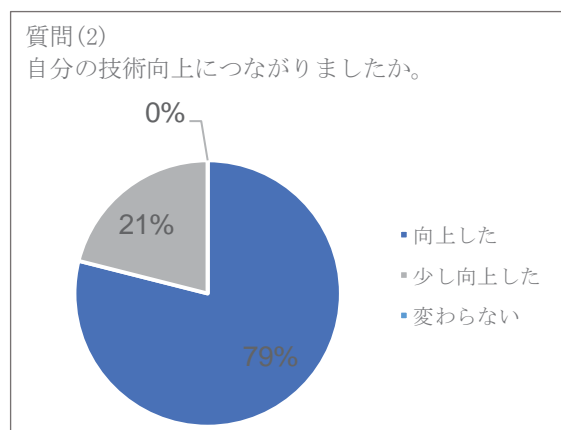
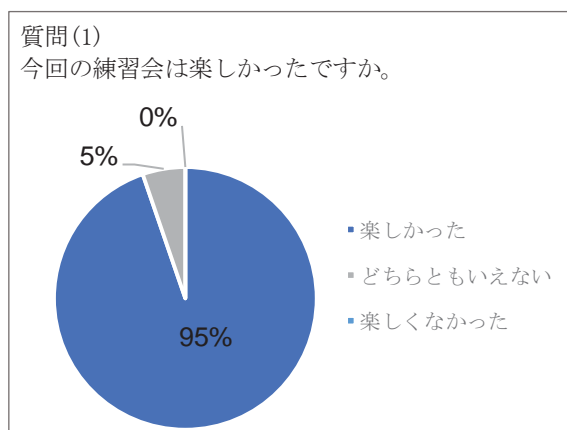
| 6月27日(日) | | フルート | クラリネット | オーボエ | ファゴット | サクソ | ホルン | トランペット | トロンボーン | ユーフォニウム | チューバ | ストリング・ベース | 打楽器 |
|----------|-----|------|--------|------|-------|-----|-----|--------|--------|---------|------|-----------|-----|
| 学校名 | 合計 | | | | | | | | | | | | |
| 臨港 | 24 | 3 | 5 | 0 | 0 | 5 | 2 | 2 | 0 | 1 | 1 | 2 | 3 |
| 川崎 | 19 | 1 | 4 | 0 | 0 | 3 | 2 | 2 | 2 | 1 | 1 | 1 | 2 |
| 南河原 | 12 | 2 | 1 | 0 | 0 | 2 | 1 | 1 | 1 | 1 | 1 | 0 | 2 |
| 宮崎 | 42 | 4 | 7 | 1 | 1 | 5 | 4 | 6 | 5 | 1 | 1 | 1 | 6 |
| 菅生 | 13 | 1 | 2 | 0 | 0 | 2 | 2 | 0 | 2 | 0 | 1 | 1 | 2 |
| 中野島 | 21 | 2 | 4 | 0 | 0 | 2 | 1 | 2 | 2 | 1 | 1 | 1 | 5 |
| 合計 | 131 | 13 | 23 | 1 | 1 | 19 | 12 | 13 | 12 | 5 | 6 | 6 | 20 |

③ 参加者アンケート

(1) 回答件数・回答率

| | 臨港 | 川崎 | 南河原 | 宮崎 | 菅生 | 中野島 | 全体 |
|---------|----|----|-----|----|----|-----|----|
| 回収件数(件) | 17 | 15 | 10 | 28 | 9 | 18 | 97 |
| 回収率(%) | 71 | 79 | 83 | 67 | 69 | 86 | 74 |

(2) 回答比率



(3) 参加者アンケート・講師アンケート 記載内容

■講師アンケートより コメント抜粋

- ・初めての指導で、イメージしたりプランをたてたりしたが、スムーズにはいかない事もあると学んだ。
- ・コロナウイルスの影響で部活動が充実していないことを痛感した。
- ・自分が普段意識していることを言葉にして伝えるのは難しいと感じた。
- ・指導を通して、自分の中でおろそかになっていることに気づくことができた。
- ・中学校などでは、同じ楽器に先輩がおらず、自己流になってしまう生徒が多いので、楽器の組み立てやメンテナンスなどをきちんと習う機会があつてとても良いと思う。
- ・1年生と2年生で吹けるレベルが大きく違い、内容を考えるのが難しかった。
- ・教育実習について最近まで行っていたので、中学生への対応は理解していたはずだが、学校の雰囲気にも差があり難しかった。
- ・普段、自分では考えないことについても考え直すことができた。
- ・継続的に指導しているわけではない生徒に、一人一人に合った教え方をすることは本当に難しいが、大切なことだと痛感した。
- ・中学生の、演奏における反応の速さ、改善の速さに驚いた。
- ・ペース配分や休憩のタイミングまで気が行き届かなかったことが反省点です。
- ・学校ごとのスタイルを尊重しつつ、指導のバランスがとることが難しかった。
- ・指導をして「生徒の音が変わる」ことの意味が分かった経験だった。

■参加中学生アンケートより コメント抜粋

- ・先生のお手本やアドバイスがわかりやすかった。特に、基礎練習がどのようなことに繋がるのかがわかりやすかった。
- ・高音が出るようになってうれしかった。フルートだけでアンサンブルができたことがとても楽しかった。
- ・立ち方や座り方、体の向きまで細かい所も教えてくれた。今のうちにどのようなことをやっておいた方が知れたので、もっと頑張りたい。
- ・先生が、ひとりひとりにやさしくしてくれたことが印象に残っています。
- ・たくさん学ぶことがあつて、練習会に行つてよかったなと思った。
- ・色々な資料がもらえて、わかりやすかった。
- ・上半身の脱力や足の位置まで教えていただきタメになった。
- ・私たちと同じ目線で丁寧に答えてくれてすごうれしかった。休憩時間や自己紹介が楽しかった。
- ・楽しく音楽を学べた。
- ・基礎の練習をしっかりとできて良かった。練習メニューを固めていただけて、普段の練習にも生かすことができるので本当にありがたかった。
- ・今まで先輩の音しか聞いたことが無かったけど、先生の音を聞くことができて勉強になった。
- ・先生がいろんな曲を弾いてくれてすごいかっこいいなと思った。
- ・見たことのない楽器を見れて、叩けてうれしかった。

④ 楽器指導 講師一覧

| 楽器名 | 学年 | 人数 | 講師 |
|----------|-----|----|--------|
| フルート | 1 | 5 | 中村 愛美 |
| | 2 | 8 | 山田 希宝 |
| クラリネット | 1 | 4 | 原田 優 |
| | 2 | 7 | 杉田 愛美 |
| | 2 | 8 | 福井 桜希 |
| バスクラリネット | 1・2 | 5 | 矢ヶ崎 貴史 |
| オーボエ | 2 | 1 | 奥野 彩 |
| ファゴット | 2 | 1 | 大坂智子 |
| アルトサクソ | 1・2 | 7 | 三橋 正長 |
| テナーサクソ | 1・2 | 7 | 加福 夏子 |
| バリトンサクソ | 1・2 | 5 | 重井 拓人 |

| 楽器名 | 学年 | 人数 | 講師 |
|------------------------|-----|----|--------|
| ホルン | 1・2 | 6 | 小秋元 歩 |
| | 1・2 | 6 | 渡辺悠紀 |
| トランペット | 1 | 3 | 磯野 沙弥香 |
| | 2 | 6 | 池谷 彰恩 |
| | 2 | 7 | 居石 まどか |
| トロンボーン (バストロンボーン含む) | 1 | 4 | 鶴飼 杏 |
| | 2 | 4 | 望月 稜香 |
| | 2 | 5 | 森 秀人 |
| ユーフォonium | 1・2 | 5 | 谷田 果奈美 |
| チューバ | 1・2 | 7 | 鹿田 一斗 |
| ストリング・ベース | 1・2 | 6 | 小泉 聡一朗 |
| 打楽器 | 1・2 | 11 | 森 奈那子 |
| | 1・2 | 9 | 北野 佑芽 |

⑤ 記録写真

■テナーサクソ



■アルトサクソ



■バリトンサクソ



■フルート



■トランペット



■トロンボーン



■コントラバス



■打楽器



ジュニア音楽リーダー育成事業 実施報告書

実施概要

- | | |
|---|---|
| <ul style="list-style-type: none"> ■ 名称 …… ジュニア音楽リーダー育成事業 ■ 開催日時 …… 2021年10月31日(日) ■ 開催時間 …… 13:00～16:00 ■ 開催場所 …… アンサンブルシティ 1～6階 | <ul style="list-style-type: none"> ■ 実施内容 …… 本学学生、卒業生による楽器指導 ■ 主催 …… 川崎市教育委員会 ■ 参加者 …… 川崎市立中学校 吹奏楽部員 1～2年生 |
|---|---|

実施結果

① 中学校別 参加人数

| | 南大師 | 富士見 | 宮内 | 有馬 | 全体 |
|---------|-----|-----|----|----|-----|
| 参加人数(人) | 19 | 25 | 25 | 44 | 113 |

② 参加楽器パート、人数内訳

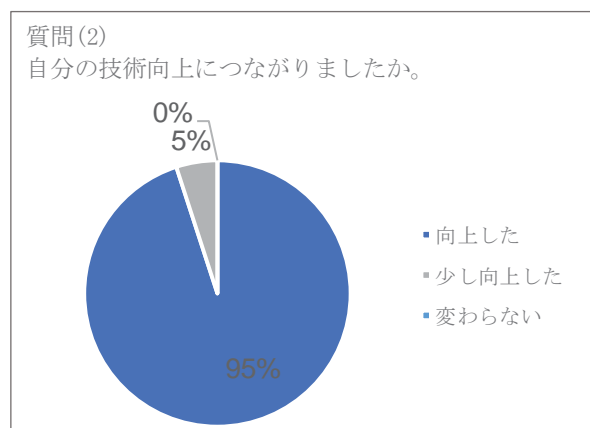
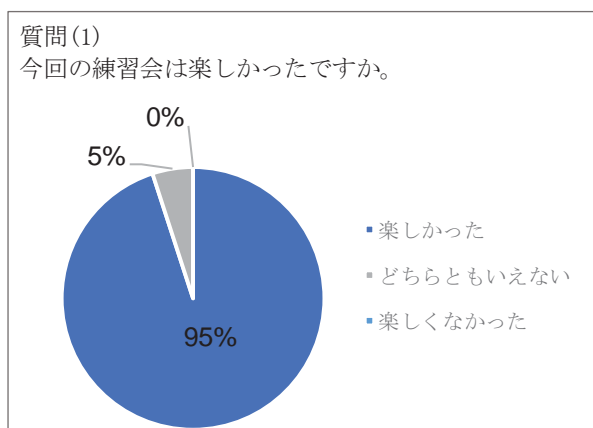
| 学校名 | 合計 | フルート | クラリネット | オーボエ | サクソ | ホルン | トランペット | トロンボーン | ユーフォニウム | チューバ | コントラバス | 打楽器 |
|-----|-----|------|--------|------|-----|-----|--------|--------|---------|------|--------|-----|
| 南大師 | 19 | 2 | 0 | 0 | 4 | 2 | 3 | 2 | 1 | 2 | 0 | 3 |
| 富士見 | 25 | 2 | 5 | 0 | 3 | 2 | 4 | 2 | 1 | 2 | 1 | 3 |
| 宮内 | 25 | 3 | 4 | 0 | 2 | 2 | 3 | 2 | 1 | 2 | 1 | 5 |
| 有馬 | 44 | 3 | 9 | 2 | 8 | 5 | 3 | 4 | 1 | 2 | 1 | 6 |
| 合計 | 113 | 10 | 18 | 2 | 17 | 11 | 13 | 10 | 4 | 8 | 3 | 17 |

③ 参加者アンケート

(1) 回収件数・回答率

| | 南大師 | 富士見 | 宮内 | 有馬 | 全体 |
|---------|------|-----|----|------|------|
| 回収件数(件) | 3 | 5 | 7 | 5 | 20 |
| 回収率(%) | 15.7 | 20 | 28 | 11.3 | 17.6 |

(2) 回答比率



(3) アンケート記載内容

■ 講師アンケートより コメント抜粋

- ・中学生の前で、意識して吹くことが自分の基礎練習にもなった。
- ・私たちが「先生」と呼ばれる以上、ふさわしい演奏をできるように頑張る。
- ・自分の伝え方、教え方次第で生徒の皆さんの音が変わっていくのがとても楽しいと感じた。
- ・教えることで自分のレベルアップにもつながるので、次回以降も参加したい。
- ・中学生に指導したのは初めてだったので、勉強になった。
- ・資料や教材は多めにしておく方が良いと学んだ。
- ・音大が講習会を開くのは、生徒にとっても音大生にとっても良い活動だと感じた。
- ・休憩をうまく設けることで、集中して受講してくれる様子が見られたので、時間の使い方も大事だと気づいた。
- ・前回(6月)の反省を生かして今回の講習に臨むことができた。
- ・言葉の使い方、言い回しを気に掛けることが大事だと気づいた。

■ 参加中学生アンケートより コメント抜粋

- ・思っていたタンギングと違ったので驚いた。良いことを教えてもらって良かった。
- ・専門の人に今まで教えてもらったことがなかったので、息の吸い方などが間違っていた。これから基礎練習に取り入れたい。
- ・正しいアンブシュアを知ることができた。ヴィブラートのやり方を知れたので、これから曲をやるときに活かしていきたい。
- ・一つ一つの質問に丁寧に対応してくれてうれしかった。他校がやっている基礎練習が興味深かった。貴重な体験をありがとうございました。
- ・同じパート、学年の人の演奏が見られたことが印象に残った。
- ・実際に吹いてくださった音がとてもきれいで、このような音を出したいなと思いました。
- ・もう少し演奏を聞きたかった。
- ・先生との会話も楽しく、ワクワクしながら学ぶことができた。
- ・先生のおなかを触らせてもらい、呼吸がよくわかった。
- ・自分で気づけないことに気づけた。
- ・正しいお手入れの仕方や、リードを長持ちさせる方法を知りたい。
- ・最後の質問まで丁寧に教えてくれた。

④ 楽器指導 講師一覧

| 楽器 | 学年 | 人数 | 講師名 |
|-----------|------|----|-------|
| フルート | 1年 | 5 | 中村 愛美 |
| | 2年 | 5 | 山田 希宝 |
| クラリネット | 1年 | 10 | 原田 優 |
| | 2年 | 5 | 齋藤 遥 |
| バス・クラリネット | 1・2年 | 3 | 平野 佳太 |
| オーボエ | 1・2年 | 2 | 奥野 彩 |
| アルト・サクソ | 1・2年 | 9 | 今川 萌 |
| テナー・サクソ | 1・2年 | 4 | 加福 夏子 |
| バリトン・サクソ | 1・2年 | 4 | 重井 拓人 |

| 楽器 | 学年 | 人数 | 講師名 |
|-----------|------|----|--------|
| ホルン | 1年 | 7 | 小秋元 歩 |
| | 2年 | 4 | 山口 亜希菜 |
| トランペット | 1年 | 7 | 磯野 沙弥香 |
| | 2年 | 6 | 溝口 大輔 |
| トロンボーン | 1年 | 6 | 岩井 心 |
| | 2年 | 4 | 櫻井 美湖 |
| ユーフォニウム | 1・2年 | 4 | 石倉 雄太 |
| チューバ | 1・2年 | 8 | 石田 健悟 |
| ストリング・ベース | 1・2年 | 3 | 小泉 聡一郎 |
| 打楽器 | 1年 | 8 | 森 奈那子 |
| | 2年 | 9 | 田代 万莉子 |

3川市文第894号
令和4年 1月21日

文部科学大臣 末松 信介 様

川崎市長 福田 紀彦



洗足学園音楽大学の収容定員増加について（副申）

初春の候、ますます御清祥のこととお喜び申し上げます。

平素は、本市の文教行政に対し、格別の御理解、御協力を賜り、深く感謝申し上げます。

さて、本市では、「川崎市文化芸術振興条例」及び「第2期川崎市文化芸術振興計画」に基づき、文化芸術を活かしたまちづくりを推進しております。

市内では、音楽、演劇、美術、舞踊、伝統芸能、その他様々な分野の文化芸術活動が行われており、とりわけ音楽については、平成16年に開館した音楽ホール「ミュージア川崎シンフォニーホール」を核として、音楽を活かしたまちづくりを重要な施策として推進してきており、その施策推進のために欠くことのできない重要な役割を洗足学園音楽大学は担ってきております。

同大学は、音楽によるまちづくりの推進役として平成16年に設立された「音楽のまち・かわさき」推進協議会の一員として、積極的に文化振興事業に参画するなど、教育機関の有する専門的知識やノウハウを活かし、多大なる貢献を果たしていただいているところでございます。

また、同大学は、昭和42年度の開学以来、社会に有意な人材を多数輩出しつづけており、近年では学べる専門分野も広がりを見せたこともあり、更なる多種多様な領域での幅広い活躍及び貢献が大いに期待されているところであり、同大学がより一層発展することは、本市及び社会全体にとって、ますます重要なものと考えております。

以上のことから、洗足学園音楽大学の収容定員増加により、在学生・卒業生が増えることは、本市が推進しております音楽によるまちづくりの裾野の拡大に有意義であり、更なる貢献も期待できることから、洗足学園音楽大学の収容定員増加につきまして、特段の御高配を賜りますよう副申いたします。

川崎市市民文化局市民文化振興室担当
電話（044）200-2030

平成31年度「子どもの音楽文化体験事業」概要

1 事業目的

- (1) 区内の子どもたちに、本物の音楽文化に触れる機会を提供するとともに、子どもの情操教育に寄与すること。
- (2) 子どもの音楽体験とともに、その保護者との共通体験を創出する機会を提供することで、子どもによる将来の音楽文化を生み出す力を育てること。
- (3) 区内の音楽資源と区内の市民活動の拠点を活用することで、音楽によるまちづくりに寄与すること。

2 予算

| | | | |
|-----------------|----------------------|-------|-----------|
| 委託料 | 1,693,000円 | (昨年度比 | +41,598円) |
| (内訳) ホールでのオペラ公演 | 900,000円 | | |
| こ文等への演奏者派遣 | 120,000円 | | |
| リトミック必要経費 | 62,000円 | | |
| 演奏ワークショップ | 55,000円 | | |
| その他 | イベント材料費、印刷費、通信費、事務費等 | | |

3 事業内容

- (1) 身近な場所での音楽体験
こども文化センター等へプロを派遣 7施設 × 各1回程度
- (2) 家族単位での音楽鑑賞体験
洗足学園等で開催される親子向けコンサートに区民を招待する。年1回程度。
- (3) ホールでの音楽鑑賞体験
洗足学園音楽大学講師等によるオペラ公演の開催 年1回(2回公演)
- (4) 演奏体験ワークショップ
子どもを対象にパーカッションの演奏体験を行うワークショップを開催。
高津区民音楽祭(12月7日(土)開催予定)で成果発表を行う。
- (5) 音楽体験を通じた子どもの情操教育
未就学児を対象としたリトミック体操 年1回
- (6) その他、必要と認める事業・イベント等の実施・協力(随時)

平成31年度子どもの音楽文化体験事業実行委員会 名簿

(敬称略・順不同)

| | 役職 | 氏名 | 備考 |
|---|------|--------|-----------------------------|
| 1 | 委員長 | 吉武 雅子 | 洗足学園音楽大学 [教授][大学院研究科長] |
| 2 | 副委員長 | 大野 巳津子 | 高津区文化協会 |
| 3 | 会計 | 大橋 希 | 洗足学園音楽大学事務局長室 |
| 4 | 会計監査 | 雁野 久美子 | 子育て世代区民 すくすく子育てボランティアバンビ |
| 5 | 委員 | 針谷 繁久 | 洗足学園音楽大学 事務局長 |
| 6 | 委員 | 小泉 英夫 | 東高津こども文化センター [館長] |

事務局：高津区役所地域振興課まちづくり推進係 〒213-8570 (住所不要)
TEL 044-861-3134 FAX 044-861-3103 メール 67tisin@city.kawasaki.jp

平成31年度（令和元年度）子どもの音楽文化体験事業 実績

1 身近な場所での音楽体験

区内7箇所のこども文化センターへ演奏者を派遣、コンサートを開催した。近隣在住の親子連れなど施設利用者のほか各小学校わくわくプラザからもスタッフの引率により小学生が来場した。

- ・ 令和元年 8月28日 高津こども文化センター（マリンバ、スティールパン等）
- ・ 11月18日 梶ヶ谷こども文化センター（マリンバ、カホン等）
- ・ 12月 4日 末長こども文化センター（マリンバ、スティールパン等）
- ・ 12月24日 上作延こども文化センター（オーボエ、トランペット、ソプラノ、ピアノ連弾等）
- ・ 12月26日 子母口こども文化センター（マリンバ、カホン等）
- ・ 12月26日 東高津こども文化センター（トランペット、ヴァイオリン、ハーブ、フルート等）
- ・ 12月27日 二子こども文化センター（クラリネット、ヴァイオリン、ハーブ、マリンバ等）



2 家族単位での音楽鑑賞体験

洗足学園で行われる「ぐりとぐら」および「Candle Night JAZZ（キャンドルナイトジャズ）」に小学生以下の子どもとその保護者を対象に区民招待枠を設けた。

市政だより等により告知し、区ホームページにより申込みを受けた。

(1) 着ぐるみ人形劇「ぐりとぐら」（洗足こども短期大学）

【公演日】令和元年11月8日（金） 前田ホール

【当選者数】保育園枠：21園 449名／一般枠：146組 487名／

「泣いた赤鬼」特別枠：9組 28名

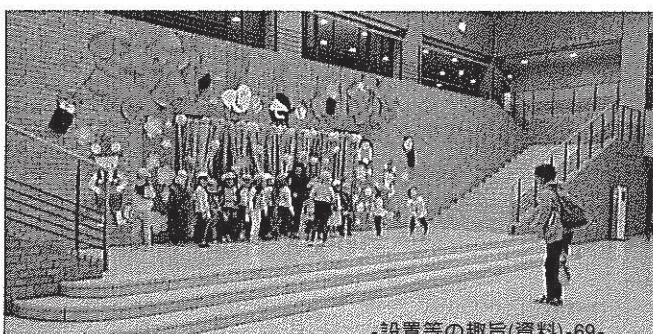
【入場者数】午前の部 215名／午後の部 534名

(2) Candle Night JAZZ（キャンドルナイトジャズ）（洗足学園音楽大学・大学院）

【公演日】令和元年11月29日（金） 前田ホール

【当選者数】122組 415名

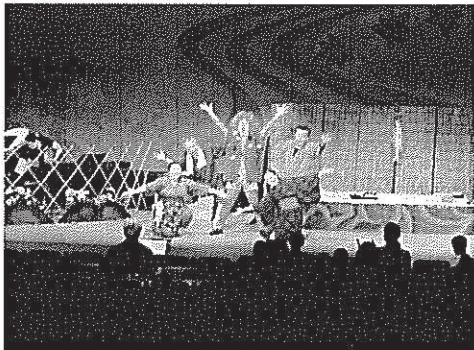
【入場者数】247名（こども110名／大人137名）



3 ホールでの音楽鑑賞体験

洗足学園音楽大学の共催により、高津市民館大ホールにて0歳から鑑賞可能なオペラ公演を開催した。昨年度に引き続き、前売券を区内の文教堂書店2店舗にて販売し、その他、市政だより区版及び区ホームページ、ノクティ公共スペースでの広報等を行った。

- ・令和元年9月7日 子どもから楽しめるオペラ「泣いた赤鬼」※2回公演合計787名来場



4 演奏体験ワークショップ

公募の小学生を対象に、プロの指導による演奏体験ワークショップを開催した。今年度も低学年の参加が多かったため、低学年は練習時に手作り楽器（シェーカー、太鼓）を作成し、当日発表では低学年は手づくり楽器、高学年はその他打楽器演奏を行った。その他、カスタネットと、ドレミパイプを演奏した。

- ・令和元年11月6日、11月20日（2時間）、12月4日 ワークショップ
- ・令和元年12月7日 成果発表（高津区民音楽祭） ※参加者30名



5 音楽を通じた情操教育の機会提供

未就学児を対象に、リトミック体験会を実施する。講師は洗足学園からの紹介。昨年度のアンケートおよび応募者の需要に合わせ、1歳児クラスを午前と午後の2クラスに分け、学年毎に4コースを設定（1歳①／1歳②／2歳／3歳）した。

- ・令和2年3月7日高津区役所1階市民ホールにて実施予定だったが、新型コロナウイルスの感染拡大防止のため、中止

はじめてのリトミック

リズムにあわせて楽しく体を動かしましょう！
パパの参加もお待ちしております！

令和2年3月7日(土)

| | | |
|----------|------|----------------------------|
| A 10:00~ | 1歳児① | (2019年4月1日~2021年4月1日生まれの子) |
| B 11:00~ | 2歳児 | (2017年4月1日~2019年4月1日生まれの子) |
| C 12:00~ | 1歳児② | (A 1歳児と併行) |
| D 14:30~ | 3歳児 | (2018年4月1日~2021年4月1日生まれの子) |

会場 高津区役所1階ロビー
講師 藤村 梨乃
対象 4歳未満の子供とその保護者
※保護者の方でも参加しやすい環境で実施ください

※当日は1歳児のみの参加
※当日は1歳児と併行実施
※保護者の方も参加
※参加費は無料です
※参加費は無料です

【お申し込み先】
令和2年3月15日(金) 8:30受付開始
高津区役所1階市民ホール 高津区民音楽祭事務局(高津区役所1階市民ホール)
市民ホール 高津区役所1階市民ホール
TEL 044-851-2123

【お問い合わせ先】
高津区民音楽祭事務局(高津区役所1階市民ホール)
TEL 044-851-2123

【お問い合わせ先】
高津区民音楽祭事務局(高津区役所1階市民ホール)
TEL 044-851-2123

平成31年度「第30回高津区民音楽祭」 事業概要**1 事業目的**

地域に芽生えた音楽を通して、音楽を愛する区民同士の交流を深め、その輪を広げるとともに、歴史と伝統にはぐくまれたまち・高津の音楽文化の発展を図る。

2 事業内容

音楽に造けいの深い地域団体と市民が協力して企画や準備に携わる参加型の音楽祭を開催する。

3 開催場所

(1) 川崎市民プラザ

① 開催日時 11月23日(土)

② みんなでうたおう

来場者も一緒に楽しめるプログラム。川崎市民の歌「好きです かわさき 愛の街」等を来場者も含めみんなで歌う。

③ 特別企画(予定)

「レストラン くつろぎ処椿亭」による飲食のテイクアウト販売

④ 司会 未定

(2) 高津市民館(大ホール)

① 開催日時 12月7日(土)、8日(日)

② みんなでうたおう

来場者も一緒に楽しめるプログラム。川崎市民の歌「好きです かわさき 愛の街」等を来場者も含めみんなで歌う。

③ コラボ企画(12月7日)

区内在住・在学の小学生による「子どもの音楽文化体験」カスタネット等を用いてのキッズパーカッションを行います。

④ 司会 未定

4 特別企画

○PRポスター展示(自由参加)

コンサート風景、練習風景、メンバー募集、コンサート告知など、自分たちの活動をA2判のポスターにしてPRできます。

○写真展

これまでの区民音楽祭の歩みを区民の皆様にご覧いただき、より関心をもってもらうための写真展です。

○スタンプラリー

来場者を増やすため、2日以上来場いただいた方にはお土産をプレゼント。

5 30回記念企画について

参加団体&観客向けのノベルティーグッズの配布。

フリクション?

6 賞

- (1) 11月23日 オーディエンス賞、ミュートン賞 (大賞)
- (2) 12月 7日 オーディエンス賞、特別賞、ミュートン賞 (大賞)
- (3) 12月 8日 オーディエンス賞、特別賞、ミュートン賞 (大賞)

平成31年度「第30回高津区民音楽祭運営委員会」 名簿

(敬称略)

| | 役職 | 氏名 | 所属団体等 |
|---|------|--------|--|
| 1 | 委員長 | 赤津 武雄 | 高津JAZZ協会[会長] |
| 2 | 副委員長 | 笹子 まさえ | 小黒恵子童謡記念館館長 |
| 3 | 会計 | 大橋 希 | 洗足学園音楽大学・大学院事務局長室 子どもの音楽文化体験事業実行委員会[委員] |
| 4 | 会計監査 | 吉武 雅子 | 洗足学園音楽大学／大学院[教授] 子どもの音楽文化体験事業実行委員会[委員長] |
| 5 | | 反町 充宏 | NPO法人カワサキミュージックキャスト理事長 |



音楽のまち・かわさき

第30回

高津区民音楽祭

2019年11月23日(土)

川崎市民プラザ 屋内広場

2019年12月7日(土) 8日(日)

高津市民館 大ホール



主催 高津区民音楽祭運営委員会 / 川崎市高津区役所

共催 川崎市民プラザ

後援 「音楽のまち・かわさき」推進協議会 設置等の趣旨(資料)-74-

平成31年度「第30回高津区民音楽祭」

11月23日（土） バンド日程

出演者 85人 来場者 169人 全体 254人
大賞：SANO Band
オーディエンス賞：K・O・U バンド

12月7日（土） 器楽日程

出演者 183人 来場者 695人 全体 878人
大賞：ベビカル
特別賞：野川仲太鼓
オーディエンス賞：Y's チャイム
児童室使用者：4人

12月8日（日） コーラス日程

出演者 335人 来場者 482人 全体 917人
大賞：コール・キリエ
特別賞：高津メンネルコール
オーディエンス賞：コール・キリエ
児童室使用者：4人

スタンプラリー

スタンプ2個 91個
スタンプ3個 19個

令和2年度「子どもの音楽文化体験事業」概要

1 事業目的

- (1) 区内の子どもたちに、本物の音楽文化に触れる機会を提供するとともに、子どもの情操教育に寄与すること。
- (2) 子どもの音楽体験とともに、その保護者との共通体験を創出する機会を提供することで、子どもによる将来の音楽文化を生み出す力を育てること。
- (3) 区内の音楽資源と区内の市民活動の拠点を活用することで、音楽によるまちづくりに寄与すること。

2 予算

| | | | |
|------|------------|----------------------|----------|
| 委託料 | 1,674,000円 | (昨年度比 | -19000円) |
| (内訳) | ホールでのオペラ公演 | 900,000円 | |
| | こ文等への演奏者派遣 | 120,000円 | |
| | リトミック必要経費 | 62,000円 | |
| | 演奏ワークショップ | 55,000円 | |
| | その他 | イベント材料費、印刷費、通信費、事務費等 | |

3 事業内容

- 実施 (1) 身近な場所での音楽体験
こども文化センター等へプロを派遣 7施設 × 各1回程度
- 実施 (2) ホールでの音楽鑑賞体験
洗足学園音楽大学講師等によるオペラ公演の開催 年1回(2回公演)
- 中止 (3) 演奏体験ワークショップ
子どもを対象にパーカッションの演奏体験を行うワークショップを開催。
高津区民音楽祭(12月5日(土)開催予定)で成果発表を行う。
- (4) 音楽体験を通じた子どもの情操教育
未就学児を対象としたリトミック体操 年1回
- (5) その他、必要と認める事業・イベント等の実施・協力(随時)

令和2年度子どもの音楽文化体験事業実行委員会 名簿

(敬称略・順不同)

| | 役 職 | 氏 名 | 備 考 |
|---|------|-----------|-----------------------------|
| 1 | 委員長 | 吉 武 雅 子 | 洗足学園音楽大学・大学院 教授 |
| 2 | 副委員長 | 大 野 巳 津 子 | 高津区文化協会 |
| 3 | 会 計 | 大 橋 希 | 洗足学園音楽大学事務局長室 |
| 4 | 会計監査 | 雁 野 久 美 子 | 子育て世代区民 すくすく子育てボランティアバンビ |
| 5 | 委 員 | 針 谷 繁 久 | 洗足学園音楽大学 事務局長 |
| 6 | 委 員 | 榊 原 誠 | 子母口こども文化センター [館長] |

事務局：高津区役所地域振興課まちづくり推進係 〒213-8570 (住所不要)
 TEL 044-861-3134 FAX 044-861-3103 メール 67tisin@city.kawasaki.jp

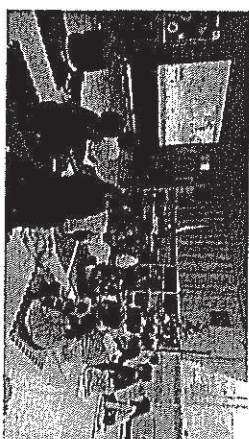
子ども文化センター音楽体験 実施報告書

令和 2 年度

| | | | | | | | | |
|-----|----------------|-------|-----|----|-------|----|-----------|-------|
| 日 | 12月24日(木) | 場 | 所 | 程 | ヶ | 谷 | こども文化センター | |
| 出演者 | 秋山先生、秋山ゼミのみなさん | | | | | | | |
| 来場者 | 子ども | 19名 | 乳幼児 | 1名 | 大人 | 1名 | | |
| 開 | 場 | 14:45 | 開 | 演 | 15:00 | 終 | 演 | 15:50 |

＜内容＞

1. 赤黒のトナカイ (ピアノ)
2. きよしこの夜 (ピアノ)
3. もるびどこぞりて(トランペット)
一人で4パート演奏・動画撮影をしたもの
4. All I Ask of You (うた)



先生とゼミ生の女性がオペラを動画で披露。子どもには少し怖い印象だったが動画観しても声量が大きいことがわかってすこかった。

5. ヤマがサツタにキツスした (バイオリン・ハーフ)

6. メリートルクルリヌヌス (バイオリン・ハーフ)

7. オーシャンドリゼ (サックス)

映像の中で、シャンドリゼはここだよと画像をだして説明してくれた。併せて、動画に出てくる楽器の説明を。

8. The ice cream suite rag (マリンバ)

マリンバを4人で弾いていた。演奏途中でお姉さんたちが音に合わせて動いているのがおもしろかった。

9. クリスマスマドレー (電子オルガン)

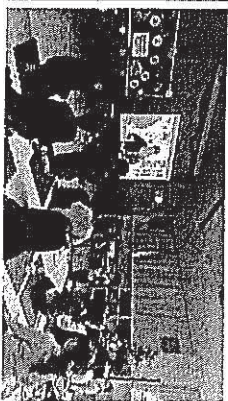
知っている曲が多かったようで曲にあわせて動いている子どもが多く見られた。

10. あわてんぼうのサツタクローズ
秋山先生がサツタの恰好で登場。

- 録音した歌を流しながら踊りを踊っていた。小道具があっっておもしろかった。

11. ジンケルベル

- 曲をバツクにサツタ (秋山先生) とじゃんけん大会。参加型なのが良かったと思う。



リモート (ZOOM) でゼミ生と少し会話をした

テレビ電話は珍しいようすこしおどろいていた。

備 考

スピーカー2台、アンプを持ってきてくださった

記録者： 地域振興課 祝田

子ども文化センター音楽体験 実施報告書

令和 2 年度

| | | | | |
|-----|-------------|--------|-------|-----------|
| 日にち | 12月16日(水) | 場所 | 奈良 | 子ども文化センター |
| 出演者 | 一瀬 珠音、岡田 奈々 | | | |
| 来場者 | 子ども 27名 | 乳幼児 1名 | 大人 2名 | |
| 開場 | 15:00 | 開演 | 15:10 | 終演 16:00 |

1. The ice cream suite rag
マリンバのみ。2人で連弾

MC

今日は打楽器だけで演奏する旨説明をしていた

2. さんぽ

マリンバと太鼓。

一緒に歌っている子もいた。

3. フリンク・ナラシク・ナルシク

マリンバの連弾をしている前で(8つほど)楽器を使用していた

MC

使った楽器の紹介

ネジの音がするラチェット

洗濯機のバイナミたいなハモニックパイナ など。

ほとんどが見たことない楽器で興味深くみている。



4. キヤロット

マリンバのみ。

MC

マリンバとマレットの紹介。

5. 人生のメリーゴーランド

ステイールパン、マリンバ、パーカッション

ハウルの曲、あまり子どもたちは知らない様子。

MC

ステイールパンの説明、知らなかったので面白かった。

子どもたちに質問などの投げかけがあった。

＜ 内 容 ＞



6. クリスマスマドリ

ステイールパン、マリンバ、パーカッション、鼓、ドレミパイ

と一緒に口ずさんでいる子や手拍子をしている子どもが多くみ

られた。

パーカッション担当の方が前の方で楽器を使用しながら動いて

いて目を引く感じがよかった。

MC

次の曲になんの楽器を使用するか説明、知っていたら歌ってねと

投げかけをしていた。

7. ドラえもん

豊野彌さんの曲、ほとんどの子どもが知っていた。

パーカッションの方のタンバリンに合わせて一緒に手拍子もあつ

た。

MC

次の曲の説明

8. 鬼滅の刃 (紅蓮華)

とても食いつきがよくみんな大きな声で歌っていた。

9. 勇氣 100%

備 考

来場がわくわくナラサから 18 人

記録者： 地域振興課 祝田

子ども文化センター音楽体験 実施報告書

| | | | | |
|----------|-------------------|-----|-------|-----------|
| 令和 2 年度か | 12 月 23 日 (水) | 場所 | 高津 | 子ども文化センター |
| 出演者 | 一瀬 珠音、岡田 奈々、角田 和歩 | 開演 | 14:50 | 終演 |
| 来場者 | 子ども 31 名 | 乳幼児 | 3 名 | 大人 6 名 |
| 開場 | 14:50 | 開演 | 15:00 | 終演 |
| | | | 15:50 | |

1. The ice cream suite rag

2. さんぼ
—MC—

3. リンバ・ソラソク・ソルソク
未長では見なかった楽器もあつた
大きな音に怖がっている子ども多少みられたが、よく注目して見ていた。最前列の子は楽器で楽器がみえなさそうに感じ。
—MC—

使った楽器の紹介
これなにー? という声もあがっていた

4. ギヤロツツ
—MC—

マリンバとマレットの紹介。子どもたちに質問などをして全話があつた。次の曲とステイールバンの説明。

5. 人生のメリーゴーランド
子どもたちは静かに聞いていた。
—MC—

6. クリススマスドレー
特にドレミバイナが子どもの目をひいていたようにみえた。
—MC—

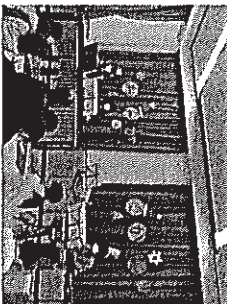
次の曲になんの楽器を使用するか説明、知っていたら歌ってねと投げかけ。

7. ドラえもん
豊野源さんの曲、ほとんどの子どもが知っているようで大きな声歌っていた
—MC—

8. 鬼滅の刃 (紅蓮華)
こちらもみんな大きな声で歌っていた。

9. 勇気 100%

備考 わくわくソラソクから 20 人、その他スタッフ 6 人
記録者： 地域振興課 祝田



子ども文化センター音楽体験 実施報告書

| | | | | |
|---------|-----------------|-----|-------|-----------|
| 令和 2 年度 | 12 月 25 日 (金) | 場所 | 上作延 | 子ども文化センター |
| 出演者 | 大友 舞乃、岡田 奈々 | 開演 | 14:30 | 終演 |
| 来場者 | 子ども 50 名 | 乳幼児 | 3 名 | 大人 5 名 |
| 開場 | 14:30 | 開演 | 14:40 | 終演 |
| | | | 15:20 | |

1. The ice cream suite rag
MC なしで始まったが、始まったとたん子どもたちが静かに前を向いてきいていた。3人で演奏していた。

—MC—

2. 山の音楽家 (マリンバとトライアングル)
胸のあたりに画用紙で作った動物の顔を張り付けて演奏していて、子どもたちの目をひいていた。
—MC—

マリンバとマレットの紹介。実際に違う種類のマレットで同じ音を叩いて演奏していた。併せて、「マリンバといえば」ということで少しだけ剣の舞を演奏。

3. きらきら星 (マリンバ、パーカッション、ドレミバイナ)
ドレミバイナが床での演奏だった。観客は椅子でみていたので後ろの席の子は見えなさそうにしていた。雰囲気がちがうきらきら星を 3ルーテ演奏
—MC—

ドレミバイナの説明・ステイールバンの説明。なにかからできているかクイズにはみんなおどろいていた。

4. アンダーザシー (マリンバ、ステイールバン、パーカッション)
女の子やお母さん方にとっても好印象だったように見受けられた。

5. おもちゃのチャチャチャ (マリンバ、ステイールバン、パーカッション)
1年生が多かったので歌っている子が割といた。
—MC—

6. 小さな世界 (マリンバ、ステイールバン、パーカッション)
—MC—

小さな世界で使っていた珍しい楽器の紹介。

7. クリススマスドレー
—MC—

8. 鬼滅の刃 (紅蓮華)
みんな大きな声で歌っていた。

9. 勇気 100%

備考 大友さんが時折子どもをみながら演奏しているのがよかったです
事前申し込み制での開催。定員 50 とのことだったがもうすこしいた。
記録者： 地域振興課 祝田



子ども文化センター音楽体験 実施報告書

令和 2 年度

| | | | |
|-----|----------------------------|--------|---------------|
| 日にち | 12月28日(月) | 場所 | 東高津 子ども文化センター |
| 出演者 | 大友舞乃・伊藤陽介・岡田奈々(パーカッション番号機) | | |
| 来場者 | 子ども 12名 | 乳幼児 2名 | 大人 3名 |
| 開場 | 13:20 | 開演 | 13:35 |
| | | 終演 | 14:40 |

＜内容＞

1 アイスクリーム・スイート・ラゲ
CMC・マリムバ・スチール紹介

2 山の音楽家

3 きらきら星

4 アンダーガーン

CMC・ドレミ・ソラの紹介

5 おもちやのチキチキヤ

ドレミ・ソラの演奏後、マリムバでも演奏。マリムバの演奏に合わせて、参加者のうち3人の子どもが、子ども文化センター所蔵の電子ドラムで音楽

CMC・小物楽器紹介

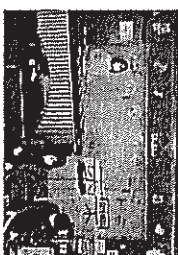
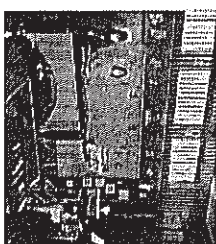
(・アコギ、ウツドリコック、ウインドキキムシ他)

6 クリススマスメルー

7 鬼滅の刃(紅蓮華)

演奏に合わせて歌っている子どもも多かった。

8 アンコールで「さんぽ」演奏



備考 事前広報をしないとのこと、参加人数は少なかった。

記録者： 地域振興課 押川

子ども文化センター音楽体験 実施報告書

令和 2 年度

| | | | |
|-----|----------------|--------|---------------|
| 日にち | 12月28日(月) | 場所 | 字母口 子ども文化センター |
| 出演者 | 秋山先生、秋山ゼミのみなさん | | |
| 来場者 | 子ども 23名 | 乳幼児 3名 | 大人 8名 |
| 開場 | 10:20 | 開演 | 10:25 |
| | | 終演 | 11:05 |

＜内容＞ MC・楽器紹介はオンライン、演奏は撮影動画で実施

1 MC・ピアノ

・マ・メール・ロワ 探検の冒険3曲

ピアノソロ、演奏後披露(録音動画)。手元のアップなども

入りがおどろきある披露を想も

2 MC・声楽

・虹の向こうに

・世界がひとつになるまで

ピアノを演奏しながら歌を披露。一緒に歌っている子どももいた。

3 MC・フルトサウカスの紹介

・ユー・レイズ・ミー・アップ

・橋の上のピエロ

ピアノの演奏の際、スクリーン映像を映し、子ども達にクイズを出題。

楽しそうに答えていた。

4 MC・バクオリュム・ハーゾ

・レット・イット・ビー

5 MC・打楽器(マリムバ・ドレミ・ソラ)

・ドレミのうた

・アイスクリーム・スイート・ラゲ

6 演奏者全員が出演

・真気100%

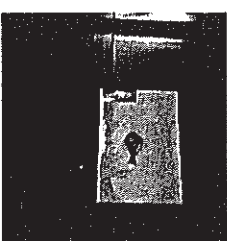
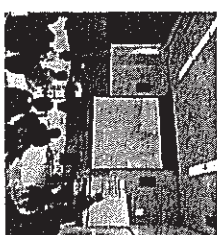
・アンビエソンのマーチ

7 秋山先生

・さんぽ

秋山先生がピアノに合わせて楽器を披露。

最後は、全員が立ち上がって先生の歌を聴きながら歌った。



備考 わくわくプラザ(字母口)

記録者： 地域振興課 押川

子ども文化センター音楽体験 実施報告書

令和 2 年度

| | | | | | |
|-----|----------------|-----|-------|-----------|-------|
| 日にち | 3 月 22 日 (月) | 場所 | 二子 | 子ども文化センター | |
| 出演者 | 秋山ゼミの学生 | | | | |
| 来場者 | 子ども 23 名 | 乳幼児 | 3 名 | 大人 5 名 | |
| 開 場 | 13:55 | 開 演 | 14:00 | 終 演 | 14:45 |

ピアノを3曲

音楽家の写真をだしてクイズをだした問題を 3 問ほど出題。音楽室でみたことあると、たくさん声が聞こえた。
人物と楽曲説明のち、演奏に移ったのでよく画面をみていたように見受けられた。

Let It Go(バイオリン、ハーフ)
ハーフをみたことない子どももいたが、知っている曲でじつくりときいていた
バイオリンを弾いていたお姉さんとオムラインで会話
楽器についての説明をして、その場で演奏もしてくれた



＜ 内 容 ＞

崖の上のホニョ (サックス)
さきほど演奏していたお姉さんとオムラインで会話
3種類のサックスを見せてくれた。大きさや形の比較をして分かってやすかった
にじのむこうに (歌)
世界がひとつになるまで (歌)
一人で歌もピアノも担当。にじのむこうに で一緒に歌っている子どももいた。

ドレミの歌 (ドレミパイフ)
Ice Cream Suite Rag

勇氣 100%

さんは
先生を真似て手話で歌うコーナー。ずっと座ってみていたので動きがあつてよかった。保護者の方も一緒に動いてくれた



記録者： 地域振興課 祝田

洗足学園音楽大学の講師陣による 子どもから大人まで楽しめるオペラ

鬼と一緒に、

歌って
笑って
泣こう

泣いた赤鬼

原作 浜田廣介 作曲 松井和彦



とある山の中に、ひとりの赤鬼が住んでいました。人間と仲良くなりたと思っていた赤鬼は、自分の気持ちを書いた立て札をつくり、人間がそれに気づいてくれるのを待っていました。しかし、人間は赤鬼が自分たちをだまそうとしていると思込み、逃げてしまいます。すっかり絶望している赤鬼に、友達青鬼は、ひと芝居打つことを提案しますが…。

2020年 9月5日(土)

第1部 11:30開演 第2部 14:00開演

1公演 60分 全2回公演 | 全席指定・事前申込制
家族単位で席の間隔を十分にあげた座席配置をいたします。

入場料 大人(中学生以上) 1,000円 | 子ども(0歳~小学6年生) 100円

※入場料は当日徴収いたします。※前売券・当日券の販売はありません。
※応募多数の場合抽選。抽選結果および座席番号については8/24以降、順次お知らせ予定です。

会場 高津市民館 大ホール 川崎市高津区溝口1-4-1 ノクティ2 12階

※専用駐車場はございませんので公共交通機関をご利用ください。

主催:子どもの音楽文化体験事業実行委員会/高津区役所 共催:洗足学園音楽大学・大学院
後援:川崎市教育委員会/「音楽のまち・かわさき」推進協議会

申込方法… 右記QRコード(川崎市HP)にて申込、もしくは往復はがきにて申込。



往復はがきの往信面に①代表者の氏名・住所②同行者(代表者含む4名まで)の氏名・年齢③応募したい部の記載(第1部 or 第2部 or どちらでも)を記入し、返信面は空白のまま、〒213-8570 高津区役所地域振興課「泣いた赤鬼」係へ。

応募期間… ~2020年8月14日(金) 必着

絵原稿の柳戸(資料) 82

問い合わせ… 高津区役所地域振興課「泣いた赤鬼」係 電話:044-861-3133 FAX:044-861-3103 (平日8:30~17:00)

令和2年度「第31回高津区民音楽祭」 事業概要

1 事業目的

地域に芽生えた音楽を通して、音楽を愛する区民同士の交流を深め、その輪を広げるとともに、歴史と伝統にはぐくまれたまち・高津の音楽文化の発展を図る。

2 事業内容

音楽に造けいの深い地域団体と市民が協力して企画や準備に携わる参加型の音楽祭を開催する。

★今年度の音楽祭

開催日時・場所

(1) 川崎市民プラザ ふるさと劇場

① 開催日時 11月28日(土)

② 司会 橋本聖子 氏

(2) 高津市民館 (大ホール)

① 開催日時 12月5日(土)、6日(日)

② 司会 オカピ 氏

参加団体

バンド 5団体/器楽 8団体/コーラス 4団体

開催方法

一般客向けの開催はなし、関係者のみ入場可

- ・ 1団体の人数×2名程度の招待枠
- ・ 入場券を配布し、参加者名簿を提出
- ・ 一般向け広報として、会場の演奏を録画し、後日インターネット上にアップロードする。<区役所 youtube「たかつ区チャンネル」>
- ・ 録画はかわさきキネマサークルさん

○前年度比で実施しないもの

- ・ みんなでうたおう
- ・ 市民プラザのテイクアウト販売
- ・ PRポスター
- ・ チラシ、プログラム作成
- ・ スタンプラリー
- ・ 写真展
- ・ 各種表彰

令和2年度「第31回高津区民音楽祭運営委員会」 名簿

(敬称略)

| | 役職 | 氏名 | 所属団体等 |
|---|------|--------|--|
| 1 | 委員長 | 赤津 武雄 | 高津JAZZ協会[会長] |
| 2 | 副委員長 | 笹子 まさえ | 小黒恵子童謡記念館館長 |
| 3 | 副委員長 | 反町 充宏 | NPO法人カワサキミュージックキャスト理事長 |
| 4 | 会計 | 大橋 希 | 洗足学園音楽大学・大学院事務局長室 子どもの音楽文化体験事業実行委員会[委員] |
| 5 | 会計監査 | 吉武 雅子 | 洗足学園音楽大学／大学院[教授] 子どもの音楽文化体験事業実行委員会[委員長] |



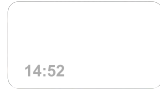
第31回高津区民音楽祭



Q すべて ニュース 画像 動画 地図 もっと見る 設定 ツール

約 6,580 件 (0.29 秒)

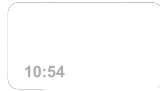
www.youtube.com › watch

器楽day#04 高津オカリナの会_第31回高津区民音楽祭 ...

14:52

たかつ区チャンネル #高津区民音楽祭 #器楽day例年市民プラザおよび高津市民館で開催している高津区民音楽祭で ...
2021/02/12 · アップロード元: 川崎市たかつ区チャンネル

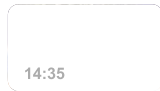
www.youtube.com › watch

バンドday#01 MJO_第31回高津区民音楽祭 - YouTube

10:54

たかつ区チャンネル #高津区民音楽祭 #バンドday例年市民プラザおよび高津市民館で開催している高津区民音楽祭です ...
2021/01/15 · アップロード元: 川崎市たかつ区チャンネル

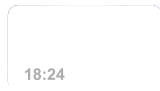
www.youtube.com › watch

バンドday#04 KOUバンド_第31回高津区民音楽祭 - YouTube

14:35

たかつ区チャンネル #高津区民音楽祭 #バンドday例年市民プラザおよび高津市民館で開催している高津区民音楽祭です ...
2021/01/29 · アップロード元: 川崎市たかつ区チャンネル

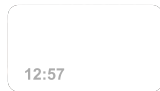
www.youtube.com › watch

バンドday#05 SANOBand_第31回高津区民音楽祭 - YouTube

18:24

たかつ区チャンネル #高津区民音楽祭 #バンドday例年市民プラザおよび高津市民館で開催している高津区民音楽祭です ...
2021/01/29 · アップロード元: 川崎市たかつ区チャンネル

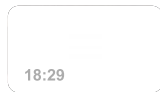
www.youtube.com › watch

器楽day#05 Y'sチャイム_第31回高津区民音楽祭 - YouTube

12:57

たかつ区チャンネル #高津区民音楽祭 #器楽day例年市民プラザおよび高津市民館で開催している高津区民音楽祭で ...
2021/02/19 · アップロード元: 川崎市たかつ区チャンネル

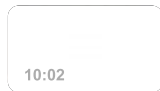
www.youtube.com › watch

器楽day#06 ふるさと_第31回高津区民音楽祭 - YouTube

18:29

たかつ区チャンネル #高津区民音楽祭 #器楽day例年市民プラザおよび高津市民館で開催している高津区民音楽祭で ...
2021/02/19 · アップロード元: 川崎市たかつ区チャンネル

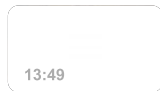
www.youtube.com › watch

コーラスday#01 たんぽぽ_第31回高津区民音楽祭 - YouTube

10:02

たかつ区チャンネル #高津区民音楽祭 #コーラスday例年市民プラザおよび高津市民館で開催している高津区民音楽祭で ...
2021/03/05 · アップロード元: 川崎市たかつ区チャンネル

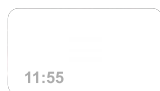
www.youtube.com › watch

コーラスday#04 コールたちばな_第31回高津区民音楽祭 ...

13:49

たかつ区チャンネル #高津区民音楽祭 #コーラスday例年市民プラザおよび高津市民館で開催している高津区民音楽祭で ...
2021/03/12 · アップロード元: 川崎市たかつ区チャンネル

www.youtube.com › watch

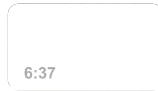
器楽day#01 野川種太鼓_第31回高津区民音楽祭 - YouTube

11:55

たかつ区チャンネル #高津区民音楽祭 #器楽day例年市民プラザおよび高津市民館で開催している高津区民音楽祭で ...
2021/02/05 · アップロード元: 川崎市たかつ区チャンネル

www.youtube.com › watch

コーラスday#02 高津メンネルコール_第31回高津区民音楽祭



たかつ区チャンネル #高津区民音楽祭 #コーラスday例年市民プラザおよび高津市民館で開催している高津区民音楽祭で ...
2021/03/05 · アップロード元: 川崎市たかつ区チャンネル

1 2 3 4 5 6 7 8 9 10 次へ

日本

[ヘルプ](#) [フィードバックを送信](#) [プライバシー](#) [規約](#)

令和3年度「子どもの音楽文化体験事業」概要

1 事業目的

- (1) 区内の子どもたちに、本物の音楽文化に触れる機会を提供するとともに、子どもの情操教育に寄与すること。
- (2) 子どもの音楽体験とともに、その保護者との共通体験を創出する機会を提供することで、子どもによる将来の音楽文化を生み出す力を育てること。
- (3) 区内の音楽資源と区内の市民活動の拠点を活用することで、音楽によるまちづくりに寄与すること。

2 事業内容

- (1) 身近な場所での音楽体験
こども文化センター等へプロを派遣 7施設 × 各1回程度
- (2) ホールでの音楽鑑賞体験
洗足学園音楽大学講師等による小規模コンサート（オペラ等）の開催 年1回
- (3) 演奏体験ワークショップ
子どもを対象にパーカッションの演奏体験を行うワークショップを開催。
- (4) 音楽体験を通じた子どもの情操教育
未就学児を対象としたリトミック体操 年1回
- (5) その他、必要と認める事業・イベント等の実施・協力（随時）

令和3年度子どもの音楽文化体験事業実行委員会 名簿

(敬称略・順不同)

| | 役職 | 氏名 | 備考 |
|---|------|--------|-----------------------------|
| 1 | 委員長 | 吉武 雅子 | 洗足学園音楽大学・大学院 教授 |
| 2 | 副委員長 | 大野 巳津子 | 高津区文化協会 |
| 3 | 会計 | 大橋 希 | 洗足学園音楽大学事務局長室 |
| 4 | 会計監査 | 雁野 久美子 | 子育て世代区民 すくすく子育てボランティアバンビ |
| 5 | 委員 | 澤井 大輔 | 子母口こども文化センター [館長] |

事務局：高津区役所地域振興課まちづくり推進係 〒213-8570 (住所不要)
TEL 044-861-3134 FAX 044-861-3103 メール 67tisin@city.kawasaki.jp

令和3年度「第32回高津区民音楽祭」 事業概要**1 事業目的**

地域に芽生えた音楽を通して、音楽を愛する区民同士の交流を深め、その輪を広げるとともに、歴史と伝統にはぐくまれたまち・高津の音楽文化の発展を図る。

2 事業内容

音楽に造けいの深い地域団体と市民が協力して企画や準備に携わる参加型の音楽祭を開催する。

3 開催日時・場所

①令和4年 1月30日（日） 川崎市民プラザ ふるさと劇場・屋内広場

②みんなであたおう（検討）

来場者も一緒に楽しめるプログラム。川崎市民の歌「好きです かわさき 愛の街」等を来場者も含めみんなで歌う。→飛沫防止？

③舞台（案）

屋内広場（バンド）／反町さん（NPO法人カワサキミュージックキャスト）

ふるさと劇場（器楽コーラス）／洗足学園OBさん（大橋さん紹介）

④司会 未定（R2年度は橋本氏、オカピ氏）

○キッズパーカッション →なし（時間の都合上）

4 特別企画

展示場所について

区役所1階ロビー：天井改修工事のため年度内の利用不可

市民館：今回は開催会場ではない&ウォールギャラリーは現在未申請

○PRポスター展示（自由参加）

コンサート風景、練習風景、メンバー募集、コンサート告知など、自分たちの活動をA2判のポスターにしてPRできます。→プラザ当日のみ

○写真展（検討）

これまでの区民音楽祭の歩みを区民の皆様にご覧いただき、より関心をもってもらうための写真展です。

→区役所1階ロビー工事のため使用不可なのでプラザ当日のみ

○スタンプラリー →1日開催なのでなし

令和3年度「第32回高津区民音楽祭運営委員会」 名簿

(敬称略)

| | 役職 | 氏名 | 所属団体等 |
|---|------|--------|--|
| 1 | 委員長 | 赤津 武雄 | 高津JAZZ協会[会長] |
| 2 | 副委員長 | 笹子 まさえ | 小黒恵子童謡記念館館長 |
| 3 | 副委員長 | 反町 充宏 | NPO法人カワサキミュージックキャスト理事長 |
| 4 | 会計 | 大橋 希 | 洗足学園音楽大学・大学院事務局長室 子どもの音楽文化体験事業実行委員会[委員] |
| 5 | 会計監査 | 吉武 雅子 | 洗足学園音楽大学／大学院[教授] 子どもの音楽文化体験事業実行委員会[委員長] |

2021年度 第1回 社会連携・社会貢献委員会議事録

1. 日 時

2021年 4月8日(木) 11:00～

2. 場 所

eキューブ4F 大会議室

3. 出席者 10名

委員長：石井 喜久子

委 員：江崎 昌子 大和田 雅洋 奥田 さやか 佐藤 大祐 田中 良一 田淵 哲也 原 朋直
久行 敏彦 長谷川 正樹

事務局：下村 みずき 馬場 葉

4. 欠席者 0名

5. 議 長 (委員長)

石井 喜久子

6. 議事経過及び結果

議事に先立ち、委員長より、「被災地支援委員会」から名称を新たに当委員会が発足された旨の報告と、再任の佐藤大祐先生の紹介があった。

(1) 審議事項

- ・「産学官連携、地域社会及び国際社会協力ポリシー」の改正について
長谷川委員よりポリシーについての説明があり、審議の上、別紙のとおり改正されることが承認された。

(2) 報告事項

- ・社会連携・社会貢献委員会について
別紙について、長谷川委員よりこれまでの社会連携・社会貢献活動例の報告があった。

(以下確認事項)

- ・ これまでは事務局長室が窓口となっていた活動を、委員会を通して実現していきたい。(長谷川委員)
- ・ 学生には、アルバイトのような感覚ではなく、「学び」というところに重点を置いてほしい。(原委員)
- ・ コロナ禍で難しい部分もあるが、リモートだからこそできるような活動を考えたい。以前の被災地支援メンバーの学生を中心に、参加学生を集めてみるのも良いのでは。(佐藤委員)
- ・ 委員会名の変更などを学生にも周知したい。コロナウイルスの影響や、天災で被災地支援を十分に経験できなかった学生に配慮し、新規ボランティア募集のタイミングを検討したい。(石井委員長)

(3) その他

① 被災地支援活動について

委員長より、コロナ禍においても、前田ホールでの配信等、前向きに企画していく旨が発言された。

(以下、その他の発言)

- ・ 感染対策を行えばシルバーマウンテンでも実現可能ではないか。また、音楽音響デザインコースや、音楽環境創造コースの学生にも参加してもらい、映像の美しさに改良を加えても良いと思う。(佐藤委員)
- ・ IT統括部(現ICTセンター)に協力を得たジャズコースのライブは、映像の切り替えに工夫があり良かったので、社会連携・社会貢献の催しに協力を仰いでみても良いかもしれない。(原委員)

② 打楽器コースへの演奏オファーについて

委員長より、打楽器コース内の和太鼓グループに、IOCからの演奏オファー(テコンドーの試合でのパフォーマンス)があったことが報告された。

以上
(敬称略)

(目的)

第1条 この規程は、洗足学園音楽大学~~産学官連携、地域社会及び国際社会協力~~社会連携・社会貢献ポリシーその他必要な事項について定める。

(~~産学官~~社会連携の推進)

第2条 音楽の探究による主体的な学びの実践を尊重し、~~産学官~~社会連携を適切かつ効果的に推進すること。

2 ~~産学官~~社会連携は、高い透明性、公平性、公正性をもって取り組み、十分な説明責任を果たすこと。

(~~地域社会への協力~~行政・地域団体・企業との連携)

第3条 演奏会等を通じた地域との交流や教育研究成果の提供により、社会貢献を実施すること。

2 音楽活動、研究活動により、地方自治体の政策形成への関与を更に推進すること。

3 地域社会の活性化と発展の担い手となる豊かな人間性と実行力を兼ね備え自立した人材を育成すること。

(~~国際社会への協力~~国際社会との連携・協力)

第4条 アメリカ、EU、アジア等への海外研修並びに一流指導者、演奏家、指揮者の招聘を推進すること。

2 海外提携大学における相互交流を拡大し、新たな海外の大学との提携を図り、学生のみならず、教員間の交流を図ること。

3 国際社会の活性化と発展の担い手となる世界の様々な地域、民族、時代の音楽を理解し、幅広い視野を持った人材を育成すること。

(事務の所管)

第5条 この規程に関する事務は、教学センターが所管する。

(規程の改廃)

第6条 この規程の改廃は、教授会の審議に基づき、学長が決定する。

附則

1 この規程は、平成26年6月12日から施行する。

2 この規程の改正は、平成27年4月1日から施行する。

3 この規程の改正は、令和3年4月1日から施行する。

4 この規程の改正は、令和3年5月6日から施行する。

■地域社会との連携

■行政、地域団体、企業等との連携

【事例】

- ・ ジュニア音楽リーダー育成事業（川崎市教育委員会）
川崎市の中学校吹奏楽部 1 年生、2 年生を対象にした講習会を洗足で開催。講師を学生および卒業生が担う。年 2 回開催。

- ・ ヤングかわさきジョイフルバンド（川崎市教育委員会）
市内在住・在学の吹奏楽を行っている中高生から選出されたバンドが演奏を行うもの。その練習にて学生を講師として派遣。

- ・ 「こどもフェスタ」楽器体験（ミュージア川崎）
ミュージア川崎にて子供を対象にした楽器体験において学生・卒業生を指導者として派遣。GW に開催。

- ・ 昭和大学包括連携協定
入職式（ミュージカルコース学生によるミニコンサート）
上條記念館（こけら落とし公演）
.昭和大学病院でのコンサート

- ・ 川崎ブレイブサンダース
ホームゲーム入場パフォーマンス出演（吹奏楽指導者マスタークラス）

- ・ グランツリー武蔵小杉
商業施設内でのリモート演奏（ジャズコース学生）

- ・ 「被災地支援活動」（被災地支援委員会を継承）
リモート演奏会（2020 年度）

2021年度 第2回 社会連携・社会貢献委員会議事録

1. 日 時

2021年 6月10日(木) 11:00～

2. 場 所

eキューブ4F 大会議室

3. 出席者 8名

委員長：石井 喜久子

委員：江崎 昌子 大和田 雅洋 佐藤 大祐 田中 良一 田淵 哲也 原 朋直
長谷川 正樹

事務局：下村 みずき 馬場 葉

4. 欠席者 2名

奥田 さやか 久行 敏彦

5. 議事経過及び結果

(1) 審議事項

①社会連携・社会貢献委員会PDCAサイクルについて

長谷川委員より社会連携・社会貢献委員会におけるPDCAサイクルについて、別紙に基づいて以下の通り説明が為され、審議の上、承認された。

- ・2021年度内部質保証と点検評価に係る基本方針に示された「点検・評価の充実」として本委員会のPDCA案を策定した。

社会連携・社会貢献委員会では、(P)連携体制の整備・構築とし、(D)演奏を通じた社会貢献および学生の育成を図っていく。また、川崎市をはじめとする各種団体との連携活動を充実させ、(C)活動の検証を行った上で、(A)今後の活動を計画していくことを案とした。

②外部依頼による演奏者派遣について

以下、各演奏者派遣について委員長より説明が為され、審議の上、承認された。

- ・川崎市立高津高等学校(定時制)音楽鑑賞会
- ・公益財団法人 港区スポーツふれあい文化健康財団
「音楽のさんぽ道～0才からのコンサート～」
- ・グランツリー武蔵小杉演奏会
- ・AGESTOCK2021 in TOKYO DOME CITY HALL

(2) 報告事項

①東京オリンピック（演奏パフォーマンス）

委員長より、打楽器コース和太鼓部の出演について、具体的に話が進んでいることの報告があった。

②6月27日(日)ジュニア音楽リーダー育成事業進捗

以下のとおり報告があった。

- ・本学の施設貸出と、先生方からの推薦により選出した本学学生・卒業生を講師として派遣が決まっている。(石井委員長)
- ・135名の参加者。例年開講式を全員参加で行っていたが、今年度は感染症対策のため人数を分けて開催することになった。レッスン時はパーティションを使用し、感染症対策をしながら進める。また、10月にも同事業を開催する予定となっているので、講師選出については改めて先生方にご協力いただきたい。(長谷川委員)

③いわきアリオス「お出かけアリオス研究会第4期アーティスト募集」

委員長より、別紙に基づいて以下のとおり報告があった。

- ・いわき市にゆかりのある40歳までの音楽家等が対象。オーディションに係る交通費や宿泊費が自己負担になるため、卒業生やフリーランス向けに思われるが、もし紹介していただける学生がいたら長谷川委員まで連絡をいただきたい。

以上（敬称略）

2021年度 第3回 社会連携・社会貢献委員会議事録

1. 日 時

2021年9月9日(木)10:30~11:00

2. 場 所

eキューブ 4F 会議室

3. 出席者 7名

委員長: 石井 喜久子

委 員: 江崎 昌子 田中 良一 田渕 哲也 原 朋直 久行 敏彦 長谷川 正樹

事務局: 下村 みずき 望月 蓉子 馬場 栞

4. 欠席者 3名

大和田 雅洋 奥田 さやか 佐藤 大祐

5. 議 題

(1) 報告事項

下記の外部依頼による演奏者派遣について、別紙の通り報告された。

<実施報告>

- ① ジュニア音楽リーダー育成事業①
- ② 東京オリンピック・和太鼓部【鼓弾】演奏
- ③ グランツリー武蔵小杉 JAZZ コンサート

<実施予定>

- ① 「音楽のさんぽ道」 コンサート
- ② 川崎市立高津高等学校(定時制)音楽鑑賞会
- ③ ジュニア音楽リーダー育成事業②(10月31日(日)実施予定)
- ④ 公益財団法人 港区スポーツふれあい文化健康財団
「音楽のさんぽ道~0才からのコンサート~」
- ⑤ 久地小学校音楽鑑賞会
- ⑥ グランツリー武蔵小杉演奏会(9月20日(月・祝)→延期)

(2) 審議事項

- ① グランツリー武蔵小杉ハロウィン企画
別紙の通り説明が為され、審議の上、承認された。

(3) その他

石井委員長より、以下の発言があった。

- ・ 新型コロナウイルス禍においても、演奏の依頼が増えてきている。メンバー募集については、やる気がある学生が集まりやすい公募方式はとてもいいと思う。こども向けの催しを学ぶゼミの先生に声をかけてもいいかもしれない。どうやって演奏者を募っていくか、この委員会で検討していけたらと思う。

6. 会議開催予定

第4回: 2021年11月18日(木)11:00~ @eキューブ4階会議室

以上

2021年度 第4回 社会連携・社会貢献委員会議事録

1. 日 時

2021年 11月18日(木) 11:00～

2. 場 所

eキューブ4F 大会議室

3. 委員総数 10名 出席者数 7名

委員長：石井 喜久子

委 員：江崎 昌子 奥田 さやか 佐藤 大祐 田中 良一 原 朋直 長谷川 正樹

事務局：下村 みずき 望月 蓉子

4. 欠席者 3名

大和田 雅洋 田淵 哲也 久行 敏彦

5. 議事経過及び結果

(1) 報告事項

下記の外部依頼による演奏者派遣について、別紙の通り報告された。

<実施報告> 【資料①】

① 公益財団法人港区スポーツふれあい文化健康財団

「音楽のさんぼ道コンサート

② ジュニア音楽リーダー育成事業②

③ 高津区ハロウィンイベント

④ グランツリー武蔵小杉 ハロウィンコンサート

<実施予定> 【資料②】

・ 久地小学校音楽鑑賞会

・ 公益財団法人港区スポーツふれあい文化健康財団

音楽のさんぼ道～0才からのコンサート～

・ グランツリー武蔵小杉 クリスマスコンサート (9月20日(月・祝)延期分)

<中 止> ※新型コロナウイルス感染症拡大に伴い公演中止

① 9/24(金)川崎市立高津高等学校(定時制)音楽鑑賞会

(以下、確認事項)

・ 外部依頼の演奏会では感染症対策は問題ないのか。(原委員)

→10月30日(土)のグランツリー武蔵小杉でのMSコース出演時は、フェイスシールドをしてパフォーマンスを行った。また、主催者側ではアルコール消毒液の設置や、客席の間隔

をあけるなどの対策を行っていた。(長谷川委員)

- ・9月24日(金)に開催予定であった、川崎市立高津高等学校(定時制)音楽鑑賞会が中止になり振替公演を検討したが、学生が演奏会シーズンということもあり、人数が集まらず断念。今後の外部依頼については、時期を見ながら学生に声掛けをしていきたい。また、学生が集まらない場合は、卒業生などに繋げるのも良いのではないか。(石井委員長)

(2) 審議事項

① かながわねりんピック【資料③】

別紙の通り説明が為され、審議の上、承認された。

(開会式で合唱の依頼あり。新型コロナウイルス感染症の状況をみて協力したい。)

(3) その他

今年度中に、被災地支援委員会で開催していた「被災地支援チャリティーコンサート」のような企画を配信などで開催できればと検討している。12月頃に学生に呼びかけをして有志を募り、学生主体となる演奏会を開催したい。(石井委員長)

→配信でやるのであれば、場所は前田ホールに限らず行えるのではないか。(佐藤委員)

6. 会議開催予定

第5回：2022年2月24日(木)10:00～ @eキューブ4階会議室

以上(敬称略)

2021年度 第5回 社会連携・社会貢献委員会議事録

1. 日 時

2022年 2 月 24 日(木) 10:00～

2. 場 所

eキューブ4F会議室（オンライン併用）

3. 委員総数 10名 出席者 9名

委員長：石井 喜久子

委 員：江崎 昌子 大和田 雅洋 佐藤 大祐 田中 良一 田淵 哲也 原 朋直

久行 敏彦 長谷川 正樹

事務局：下村 みずき 望月 蓉子 馬場 栞

4. 欠席者 1名

奥田 さやか

5. 議事経過及び結果

(1) 報告事項

① 2021年度社会連携・社会貢献活動実績

別紙資料に基づき報告がなされた。

② 高津区制50周年記念動画について

別紙資料に基づき説明がなされ、協力していくことが確認された。

③ 東京オリンピック「感謝状」および「大学連携報告書」について

別紙資料に基づき報告がなされた。

(2) その他

組織名を変えて活動した1年であったが、今後も様々な面で社会に貢献していければと思う。委員会メンバーの皆様には来年度も引き続きお力添えをいただきたい。前回の認証評価では被災地支援の活動について高く評価された。今後も、委員会の意義を大事にしながら活動していきたい。(石井委員長)

以上

2021年度 社会連携・社会貢献活動実績

| No. | 企画名 | 実施内容 | 実施日 | 会場 | 依頼元 |
|-----|---|--|-----------------------|--------------------|--------------------------|
| 1 | ジュニア音楽リーダー育成事業 | 川崎市教育委員会主催「子どもの音楽活動推進事業」の一環である川崎市内の吹奏楽部に所属する中学生を対象とした楽器講習会。本学在學生、卒業生が講師として各楽器の指導を担当。 | 6月27日(日) 10月31日(日) | 洗足学園音楽大学 | 川崎市教育委員会 |
| 2 | グランツリー武蔵小杉SPECIAL企画 JAZZコンサート | グランツリー武蔵小杉で開催されたイベント「声優オーディション2021」内での演奏。ジャズコーラス学生によるジャズアレンジのアニメソングを演奏。 | 7月24日(土) | グランツリー武蔵小杉 | 株式会社アイワット |
| 3 | 東京オリンピック競技前パフォーマンス | 東京オリンピック競技会において、和太鼓グループ「鼓弾」による試合前のパフォーマンスを担当。 | 7月24日(土) ～7月27日(火) | 幕張メッセ | 日本オリンピック委員会 |
| 4 | 「音楽のさんば道」コンサート | クラシック音楽を生演奏で聴く機会を設け、若手演奏家への演奏の場を提供し、音楽を介した地域振興を目的としている。コースの垣根を越えた編成で、本学学生を演奏者として派遣。 | 9月11日(土) | 多聞山 天現寺 普明堂ホール | (公財)港区スポーツ ふれあい文化健康財団 |
| 5 | 高津区ハロウィンイベント | みぞのくちハロウィン2021のイベントとして、打楽器コースPan Note Paradiseによるスティールパンの演奏を実施。 | 10月24日(日) | マルイファミリー溝口 屋上広場 | みぞのくち新都市(株) |
| 6 | ハロウィンミュージカル | グランツリー武蔵小杉で開催されたハロウィンイベントと連動したスペシャルステージにミュージカルコースの学生を派遣。 | 10月30日(土) | グランツリー武蔵小杉 | 株式会社アイワット |
| 7 | 川崎市立久地小学校 音楽鑑賞会 | 低学年を対象とした2日間に亘る音楽鑑賞会に打楽器アンサンブル、金管アンサンブルを学生および卒業生が演奏。 | 12月2日(木) 12月3日(金) | 川崎市立久地小学校 | 川崎市立久地小学校 |
| 8 | 音楽のさんば道 ～0才からのコンサート～ | 音楽を介した地域振興を目的として企画された事業で、乳幼児から大人までが楽しめる内容。声楽コース、ピアノコースの学生が演奏。 | 12月19日(日) | 港区立 芝浦港南区民センター | (公財)港区スポーツ ふれあい文化健康財団 |
| 9 | グランツリー武蔵小杉 XmasリモートLIVE2021 with 三阪咲 | セブン&アイ・ホールディングスの各商業施設をリモートで繋ぐオンライン合奏と親子向けのミニコンサートにてサクソフォーン専攻の学生が演奏。 | 12月25日(土) | グランツリー武蔵小杉 | 株式会社アイワット |
| 10 | 高津警察署「110番の日」 | 1月10日「110番の日」の110番通報および特殊詐欺被害防止の広報において、ミュージカルコース学生による創作ミュージカルの映像を制作し啓蒙活動に協力。ノクティブラザ1電光掲示板にて表示。 | 2022年 1月10日(月) | ノクティブラザ1 電光掲示板 | 高津区役所警察署 |
| 11 | NHK文化センター特別講座 | NHK文化センターにて一般向けに開催しているN響コンサートマスター篠崎氏の講座を本学学生を対象に開催。 | 2月23日(水・祝) | 洗足学園音楽大学 | NHK文化センター |

学校法人昭和大学と学校法人洗足学園との包括連携協定書

学校法人昭和大学と学校法人洗足学園は、次のとおり包括連携協定を締結する。

(目的)

第1条 この協定は、学校法人昭和大学の設置する昭和大学と学校法人洗足学園が設置する洗足学園音楽大学、洗足こども短期大学（以下「両大学」という。）が相互に交流と協力を促進し、教育・研究・診療・芸術・保育の分野における充実及び発展を図ることを目的とする。

(連携内容)

第2条 両大学は、前条の目的を達成するため、次の各号に掲げる事項について、連携・協力するものとする。

- (1) 医療教育、芸術教育、保育の支援、質向上に関すること
- (2) 学生の感性の涵養のための支援に関すること
- (3) 学術交流及び共同研究に関すること
- (4) 両大学の専門分野・領域を活かした支援の協力に関すること（各種演奏会・公演の開催・参加、医師の派遣等）
- (5) 職員、学生の交流に関すること
- (6) 社会及び地域への貢献に関すること
- (7) その他、必要と認める事項に関すること

(協議会)

第3条 前条に掲げる事項の円滑な推進を図るため、両大学からの構成員による連携運営協議会を設置し、定期的な協議を行うこととする。

2 協議会に関する詳細は別に定める。

(連携の実施)

第4条 本協定に関わる連携の実施にあたり、両大学に担当窓口を置くこととし、具体的実施内容の検討に際しては、必要に応じ分科会等を設置し、協議するものとする。

2 前項による協議の結果、具体的な取り決めが必要な場合は、覚書を締結するものとする。

(有効期間)

第5条 本協定の有効期間は、締結の日から1年間とする。ただし、本協定による有効期間満了の日の3ヶ月前までに、両大学いずれからも申し出のないときは、更に1年間延長するものとし、その後も同様とする。

(その他)

第6条 本協定に定めのない事項又は本協定の条項について疑義が生じたときは、両大学でその都度協議し、解決を図るものとする。

本協定の締結を証するため、本書2通を作成し、それぞれ記名押印の上、両大学が各自1通を保有する。

平成29年2月28日

品川区旗の台1-5-8
学校法人昭和大学

理事長

川口



川崎市高津区久本2-3-1
学校法人洗足学園

理事長

前田



学校法人 昭和大学 との連携状況報告

医学と音楽の相互連携



昭和大学との連携について

2017年連携状況 全体の流れ

- 2/28 学校法人昭和大学と本学との**包括連携協定締結**…それぞれの特色を活かした連携により、教育・研究・診療・芸術・保育の分野における充実と発展を目指すため、包括連携協定を締結。
- 5/19 **事務レベル会議を本学で開催**…昭和大学より8名（赤堀明人事務局長 荻原範親総務部長 佐藤誠学事部長 増田滋総務課長 倉地夏樹学務課長 山口進学事課長 須郷広子学生課長 岩根裕之企画課長）が来学し、具体的な方向性、連携の可能性を検討。
- 5/25 事務レベル会議を踏まえて、**昭和大学から以下の提案**。
 - ① **医学と音楽の共同研究**…昭和大学運動科学研究所 http://www.showa-u.ac.jp/rsch_acad/sport/index.html
 - ② **病院コンサート**…横浜市北部病院、江東豊洲病院などで開催したい。地域貢献や、コンサートのPRにも繋がる。

※横浜市北部病院 : <http://www.showa-u.ac.jp/SUHY/index.html>

※江東豊洲病院 : <http://www.showa-u.ac.jp/SHKT/index.html>

③ **講義**…昭和大学富士吉田キャンパスへの教員派遣

④ **学生同士の連携**…学園祭への参加など。

具体的なアクション

【具体的な活動状況】

- 6/8 教授会にて昭和大学との**共同研究を公募**…小嶋貴文学部長「ピアニストの指の動きを研究する」・吉武雅子研究科長「演奏における視神経・聴覚神経・脳神経の連動性」・辻功教授「筋電図、三次元動作解析等による腱鞘炎、ジストニア等疾病メカニズムの解明と対策及びより良い奏法の研究」の3件の応募あり。
- 7/7 共同研究応募者3名との面談の為、**昭和大学スポーツ運動科学研究所6名来学**（三邊武幸所長 西中直也教授 磯良崇准教授 長島潤講師 他）
- 7/11 松本課長が**富士吉田キャンパスを訪問**。**教員派遣について相談**。
- 11/4 門倉ゼミ（演奏会実習）が**江東豊洲病院にてロビーコンサート開催**。
- 11/11・11/12 SENZOKU GAKUEN FESTIVALに、昭和大学陶芸部・写真部・歯科医療研究会が参加。
- 11/24 来年3/31 昭和大学入職式での演奏依頼があり、その打ち合わせのため、昭和大学より6名（飯田人事部長 山川人事課長 他）来学。

連携状況① 医学と音楽の共同研究

- 7/7以降、数回の昭和大学スポーツ運動科学研究所との面談を経て、保健医療部作業療法学科 長島潤講師が、昭和大学スポーツ運動科学研究所内勉強会で「音楽家の手の障害」(下記添付資料)に取り纏める。

【添付資料概要】

- ◆ 「音楽家の手の障害」に関し、予防と診断、治療などの解決方法を探求することを目的として(予備的)調査研究を行う。
- ◆ さらに4題の共同研究申し込みに対し、スポーツ運動科学研究所・昭和大学のスタッフにより、計画・診療・データ収集・分析・学会発表・論文執筆を推進する。将来的には、音楽家の手に関しメディカルチェックや提言、そして診療・セラピーへとつながることが望まれる。
- ◆ 昭和大学と洗足学園音楽大学との包括連携協定により、医学と音楽の研究促進が期待される。その端緒としてピアノコース学生へのアンケート調査や上肢アライメントの画像診断、演奏中の視線変化などについて研究計画が進行中である。

音楽家の手の障害

4題の共同研究申請

1. 脳電図、三次元動作解析などによる難聴、ジストニア等後病、マフニズムの解明と対策及びより良い奏法の研究
2. ピアノリストの動きを研究する
3. 演奏における視神経・脳神経・脳神経の運動性
4. 認知症患者に対する音楽の効果

今回の包括連携協定締結に際し、このような研究計画をいたしていた、昭和大学としてどうこれらを始め、どう期待に込めるか。

まず初めに...

この「音楽家の手の障害」に關し、予防と診断、治療などの解決方法を探求することを目的として(予備的)調査研究を行う。

さらに4題の共同研究申し込みに対し、スポーツ運動科学研究所・昭和大学のスタッフにより、計画・診療・データ収集・分析・学会発表・論文執筆を推進する。

将来的には、音楽家の手に関しメディカルチェックや提言、そして診療・セラピーへとつながることが望まれる。

得られたにはスポーツ運動科学研究所にて実行しているプロジェクトのように音楽家の手に關し、メディカルチェックや提言、そして診療・セラピーへとつながることが望まれる。

洗足学園音楽大学のスタッフから希望されていること

- ・音楽家の手の障害の研究は英米では1980年代から、日本では2000年頃から、
- ・音楽家の手に機能障害は多く、医学的支援の潜在的ニーズは高い、
- ・障害部位は指と手関節が多いが、体幹や頭・首・歯に機能障害を有する例も少なくない、
- ・損傷の多くは過用であり、背景に顔面や姿勢の問題も考えられる、
- ・難症の高い技術練習を継続することで局所性ジストニアの発症が誘発される、
- ・音楽家に固有の奏法や姿勢、練習法がある、

昭和大学と洗足学園音楽大学との包括連携協定により、医学と音楽の研究促進が期待される。その端緒としてピアノコース学生へのアンケート調査や上肢アライメントの画像診断、演奏中の視線変化などについて研究計画が進行中である。

まとめ

★共同研究①

辻功教授(Ob.):「筋電図、三次元動作解析等による腱鞘炎、ジストニア等疾病メカニズムの解明と対策 及びより良い奏法の研究」

- 7/7 昭和大学スポーツ運動科学研究所の医師が来学。その後数回の面談を経て、保健医療学部理学療法学科 仲保徹講師が主な担当となる。



- 9/15 昭和大学にて、本学オーボエの学生2名に、①3次元動作解析
②筋電図解析 の2つの実験を実施。
内容：体・腕・手にポインターを付けて、演奏の動き、演奏に成功・失敗した時の動き等を実験
先方：保健医療学部 理学療法学科 仲保徹講師
当方：辻 功 教授（オーボエ）
※現在は解析待ちの状況
- 2018年3月17日に予定されている、「日本管楽器芸術学会」設立大会にて、辻教授が同研究内容を発表の予定。

★共同研究②

吉武雅子研究科長(Pf.):「演奏における視神経・聴覚神経・脳神経の連動性②」

- 7/7 昭和大学スポーツ運動科学研究所の医師が来学。その後数回の面談を経て、保健医療学部作業療法学科 長瀬潤講師が主な担当となる。
- 昭和大学倫理委員会の審議を経て、予防と診断、治療などの解決方法を探求することを目的として（予備的）調査研究を行うことを決定。アンケート内容・時期等を確認中。



<音楽家の上肢と声の障害に関する実態調査>



昭和大学スポーツ医学研究所第5回学術研究発表会：12/9(土)に、吉武研究科長が出席予定



連携状況② 病院コンサート開催

院内コンサートの開催

- 11/4 江東豊洲病院で、演奏会実習 門倉ゼミが院内コンサートを開催
- ※次回 2018年2月 北部病院での院内コンサートを予定している。
江東豊洲病院 HP

http://www.showa-u.ac.jp/SHKT/event/2017/20171108_000.html



江東豊洲病院 HP 抜粋：

今回は、洗足学園音楽大学 門倉ゼミ コーラス隊 Flavor の学生に「世界に一つだけの花」や「糸」他、J-POP をピアノ演奏にのせて歌っていただきました。コンサートが始まると、その素晴らしい歌声につられて、多くの方が集まりました。自然と拍手が沸き起り、非常に盛り上がるコンサートとなりました。演奏後「感激した」「すごく楽しかった」など、見に来られた方々はとても満足された様子でした。

アンケート集計
結果より抜粋

| Q.本日の院内コンサートはいかがでしたでしょうか？ | 回答数 | 割合 |
|---------------------------|-----|------|
| ①大変良かった | 38 | 86% |
| ②良かった | 5 | 11% |
| ③ふつう | 0 | 0% |
| ④あまり良くなかった | 1 | 2% |
| ⑤良くなかった | 0 | 0% |
| 無回答 | 0 | 0% |
| 合計 | 44 | 100% |

連携状況③ 富士吉田キャンパスでの講義

富士吉田キャンパス 講義：(担当)学務部 松本課長

- 7/11 富士吉田校舎事務課・塩田係長を学務部松本課長が訪問
- 7/20 松本佑二非常勤講師(P.I.)に概要を説明し、内諾を得る。

2018 年度講義概要

講義名：音楽活動法研究

目的：音楽を計画的に目的を持って使用する活動により、音楽が人によいような効果を与えることができるのかを研究する。

内容：音楽療法は主に欧米先進国において、教育・福祉・医療の分野で広く行われているが、日本ではまだ新しい領域であり、誤って理解されていることも少なくない。本講義では、音楽療法とは何かということについて概論を説明し、音楽療法の歴史、音楽療法の効果を研究する方法についても述べると共に、いくつかの例も紹介する。さらに、実技として「療法的音楽活動」を行う。療法的音楽活動とは、音楽療法と音楽教育との中間的立場にある活動である。基本的な音楽知識と楽器奏法の解説をし、実際に様々な療法的音楽活動を行いながら、音楽活動法の研究をする。本講義を通して、人間と音楽の関係や音楽が健康を支える力について考察する。

- 11/13 講義担当者・講義名称・講義概要を先方へ提案。
- 11/14 昭和大学より、「富士吉田教育部長、教育委員長等に確認し、次月の教育委員会にて審議。結果は12月11日以降となる。」との回答あり。

連携状況④ 学生同士の連携

11/11・11/12 SENZOKU GAKUEN FESTIVAL2017

- 昭和大学 陶芸部(本学と合同)・写真部・歯科医療研究会が参加。



昭和大学 写真部代表学生(医学部3年)からのコメント

2日間出展させていただきましたありがとうございます。

写真展の仕事しながら洗足学園の学園祭の雰囲気味わうことができました。歌を歌いながら呼び込みをする学生さんや楽器を見て笑顔ではしゃぐ子供たちを見て、まさにそこに居るだけで楽しくなる幸せな空間でした。

写真展には年代問わず多くの方が足を運んでくださいました。音楽と写真はアートの面でもどこか共通する部分があるということを感じられた2日間でした。今回写真展に参加した部員は洗足学園の魅力話を話しておりました。ぜひ、来年もお声をかけていただければ幸いです。ありがとうございました。

連携状況⑤ その他

主催演奏会への昭和大学教職員・学生の招待

- ♪6/13(火) 大学院室内管弦楽団第8回定期演奏会
- ♪6/17(土) Do Jazz Senzoku !2017
- ♪7/1(土) 打楽器アンサンブル 夏の演奏会
- ♪7/9(日) レパートリーオーケストラ演奏会
- ♪7/17(月) 管弦楽団第73回定期演奏会
- ♪7/21(金)~23(日) Summer Musical Showcase Vol.12
- ♪8/4(金) バレエコース前期公演
- ♪FUYUON! 2017

2018年3月31日 学校法人昭和大学入職式での演奏依頼

- 11/24マスターズコンサート vol.1.1 サクスケルツェットを観覧に飯田人事部長、荻原総務部長以下5名の昭和大学職員が来学。入職式演奏についての打ち合わせを行った。



2017年4月1日

昭和大学入職式の様子



<波及効果・副次的効果について>

医師の紹介：前田学務部長からの報告

- 長井茅乃先生(Pf.)より、昭和大学が連携した関係で、指導のために医院を紹介できなにかという相談があった。

【依頼内容】

- 1) ファイバースコープ等による声帯撮影：鼻からファイバースコープ等を入れて、歌っている際の声帯を撮影したい。昭和大学病院耳鼻咽喉科（旗の台）で受診可能か。
- 2) 顎関節症：歌の練習のし過ぎで顎関節症に悩む学生が多く、ほったらかしにしている。しかるべき医院を紹介する事は可能か。

【対応状況】 下記医院を紹介頂く

- ①ファイバースコープ等による声帯撮影
さいだ耳鼻咽喉科気管食道科クリニック 斉田晴仁先生
(昭和大学出身者) ※声楽家

<http://www.good-voice.co.jp/> <https://doctorsfile.jp/h/14454/>

②顎関節症

昭和大学歯科病院顎関節症治療科 船登 雅彦 先生

私立大学等経常費補助金対策

- 今年度、昭和大学と連携したSD活動を行ったことにより、既に私立大学等経常費補助金 総合改革支援タイプ3「他の国内大学等と共同でFD又はSDを実施したか」の要件を満たした。
- 共同研究成果を収録した紀要等の作成により、来年度と同補助金の別項目「特定の研究課題について、他の国内大学等との協定等に基づく共同研究を実施しているか」の要件を満たすことになる。

音楽関係リハビリ推薦図書

- 昭和大学スポーツ運動科学研究所長島潤講師から、音楽家に役立つ身体メンテナンス図書のご推薦を頂き、木曾図書館長がリストを元に購入の上、コーナーを設けて配架し、学生の閲覧に供している。



院内BGMの推薦

- 昭和大学横浜北部病院の病院幹部から院内で流すBGM選曲について、専門家のご意見を伺いたい、との依頼があった。「外来では患者さんがリラックスして診療を受けられるように。病棟では入院中の患者さんが落ち着いて療養できる環境となるようにBGMを流したい。」
- 依頼を受け、同病院で院内コンサートの為、見学予定となっていた門倉教授に相談し、教授より適した音楽をご推薦頂き、大変感謝を受けた。

最後に…

昭和大学は、チーム医療を学ぶため、1年次に学部別の別なく、全ての学生が富士吉田キャンパスで共同生活を行っている。例えば、共同研究に於いても、手厚い陣営で面談の上、速やかに的確な対応を行うなど、チーム医療体制の片鱗を見た。一方で、昭和大学赤堀事務局長によると、「医療系の学生はどうしてもscienceの方が強くて、感性の涵養が図り難い。建学の理念が、『至誠一貫』真心を持つて患者に接する」であり、医療とはそうあるべきだが、どうしても科学の方に走って、感性の方が置き去りになりかねない。美術や音楽を通して感性を養えるようにできたら良い、そういう思いで多摩美や洗足と連携をしたいと考えている。もし、そういう教育を施して頂けるような連携が出来れば有難い。」との示唆を頂いており、この辺りに本学との連携の方向性が考えられる。

| | | | | | |
|-------|-------------|--------|-----------------|----|----|
| 科目名 | 解剖学（前） [火4] | | | | |
| 代表教員 | 大塚 成人 | 担当教員 | 井上 由理子 | | |
| 授業コード | GK775100 | 科目コード | GK7751 | | |
| 授業形態 | 講義 | 履修開始学年 | カリキュラムにより異なります。 | 期間 | 半期 |
| 対象コース | 全 | 科目分類 | 一般総合／教養 | | |
| 前提科目 | 特になし | | | | |
| 教員免許状 | | | | | |

1. 主題・到達目標

将来、ダンサーや指導者として活躍するために、踊るための体の骨格(骨、靭帯、関節)と筋の構造および機能を理解する。

2. 授業概要

全身の骨格(骨、靭帯、関節)と筋の構造および機能について、配布資料や骨格標本を参考にしながら理解へと導く（オンライン授業の場合は、配布資料のみで行う）。

3. 授業時間外の学習（予習復習について）

予習は配布資料をよく読んでおき、復習は授業中に話したことと配布資料で知識を定着させ、その知識を実技の授業中の動作に役立てる（オンライン授業の場合は、この限りではない）。

4. 成績評価の方法及び基準

対面授業の場合は、平常点30%と授業内で行う4回のテスト70%で最終評価を行う。オンライン授業の場合は、毎回、それぞれの講義範囲から課題を出し、期限付きで毎回、ポータルサイト上に提出してもらい、それらを集計して最終評価を行う（オンライン授業の場合は、授業計画に記載されている4回のテストは無くなる）。

5. 授業で使用するテキスト・参考文献

必要に応じて配布する資料で授業を行う。オンライン授業の場合は、前もって、配布資料をポータルサイトに掲示する。

6. 履修の条件・クラス分けの方法（履修者への要望等）

毎回の授業で得た知識を単なる知識としてだけでなく、自ら考え知恵として実技の授業で試しながら公演パフォーマンスに応用してもらいたい。

授業計画

[半期]

| | | | |
|----|--|----|--|
| 1 | 骨格（骨、靭帯、関節）と筋の構造および作用 | 1 | |
| 2 | 第1回テスト（骨格（骨、靭帯、関節）と筋の構造および作用） | 2 | |
| 3 | 体幹の骨格（脊柱、胸郭）の構造 | 3 | |
| 4 | 背部、胸部の筋の構造および機能 | 4 | |
| 5 | 横隔膜、腹部の筋の構造および機能 | 5 | |
| 6 | 第2回テスト（体幹の骨格（脊柱、胸郭）の構造と背部、胸部、横隔膜、腹部の筋の構造および機能） | 6 | |
| 7 | 上肢の骨格（上肢帯、自由上肢）の構造 | 7 | |
| 8 | 上肢帯、上腕の筋の構造および機能 | 8 | |
| 9 | 前腕、手の筋の構造および機能 | 9 | |
| 10 | 第3回テスト（上肢の骨格（上肢帯、自由上肢）の構造と上肢帯、上腕、前腕、手の筋の構造および機能） | 10 | |
| 11 | 下肢の骨格（下肢帯、自由下肢）の構造 | 11 | |
| 12 | 下肢帯、大腿の筋の構造および機能 | 12 | |
| 13 | 下腿、足の筋の構造および機能 | 13 | |
| 14 | 頭蓋骨の構造と頭部、頸部の筋の構造および機能 | 14 | |
| 15 | 第4回テスト（頭蓋骨、下肢の骨格（下肢帯、自由下肢）の構造と頭部、頸部、下肢帯、大腿、下腿、足の筋の構造および機能） | 15 | |



昭和大学研究者情報・業績集

Showa University Researchers Information & Research Achievements

[トップ](#) > 研究者情報

利用者サービス

- 業績検索&ダウンロード
- 業績所属別一覧
- 業績施設別一覧
- 研究者検索&ダウンロード

入力規則・ヘルプ

!!はじめての方へ!!

◆研究者情報

- 研究者情報入力方法
 - 所属一覧
- 研究者検索方法
- 研究者ダウンロード方法

◆業績

- 業績入力方法
 - 業績項目解説
- 外部データ取り込み方法
 - TSVデータ作成方法
- 業績検索方法
- 業績ダウンロード方法

- Q&A

昭和大学研究者情報・業績集

研究者情報登録・業績公開申請の流れ

- 説明会
 - 昭和大学研究者情報・業績集
 - 説明会動画

リンク

- 昭和大学
- 昭和大学図書館

研究者情報

氏名
大塚 成人

氏名(英)
OTSUKA Naruhito

| | | |
|-----|-----|-------|
| 学部 | 講座 | 部門 |
| 医学部 | 解剖学 | 肉眼解剖学 |

施設
旗の台校舎

職名・身分
教授

学位
博士(医学)

研究キーワード
神経病理学、神経解剖学

研究分野

研究内容

担当科目

形態学概論、人体骨格実習、運動器系の解剖、神経系の解剖、循環器系・呼吸器・泌尿器の解剖、病院体験実習、肉眼解剖学実習、症候学演習

所属学協会

学術(研究・教育)業績

1 of 2 表示件数 30 件

| No. ▾ | 刊行年月 ▼ | 業績項目 ▾ | 著者 | 巻 ▾ | 号 ▾ | 開始ページ ▾ |
|-------|--------|--------|----|-----|-----|---------|
| | | | | | | |

-設置等の趣旨(資料)-113-

| | | | | | |
|-------|-------------|--------|-----------------|----|----|
| 科目名 | 動作学（後） [火4] | | | | |
| 代表教員 | 仲保 徹 | 担当教員 | | | |
| 授業コード | GK775200 | 科目コード | GK7752 | | |
| 授業形態 | 講義 | 履修開始学年 | カリキュラムにより異なります。 | 期間 | 半期 |
| 対象コース | 全 | 科目分類 | 一般総合/教養 | | |
| 前提科目 | 特になし | | | | |
| 教員免許状 | | | | | |

1. 主題・到達目標

解剖学で得た知識をもとに、自身の姿勢や関節運動、動作に対する興味・関心を深め、講義を通して姿勢の保持や制御、動作のメカニズムを理解する。
 姿勢を力学的（身体重心と支持基底面の関係）に理解する。
 基本的な動作から身体の関節運動と筋活動のメカニズムを理解する。

2. 授業概要

新型コロナウイルス感染予防対策のため、遠隔授業を実施する。遠隔授業実施方法の詳細は第1回授業で説明する。

動作は、連続的な姿勢変化と考える。その動作を理解するために、姿勢に対する理解を深める。形態計測を行い、自身の四肢の長さ、太さを把握し、姿勢との関係を学習する。身体重心と支持基底面（足底面）の関係からバランス反応、姿勢制御を体験しながら学習する。基本的動作と関節運動、筋活動について、実際に動作を行いながら理解する。

3. 授業時間外の学習（予習復習について）

人の構造について、骨格、筋を中心に関連図書に眼を通してください。また、力学の知識が必要となるので、物理学（基礎物理）の関連図書（高校の教科書レベル）に眼を通してください。講義で分からなかったところは、講義後に配布するミニツッパーパーに記載をしてください。

4. 成績評価の方法及び基準

受講態度および講義課題：40%（講義ごとに課す課題内容）
 レポート：60%（姿勢と姿勢制御に関するものや動作に関するもの）
 レポートでは自身の姿勢や動作に関する考察を行います。自分自身の構造的特徴、動作的特徴を理解し、より良い姿勢、動作の獲得のために必要な課題を検討します。

5. 授業で使用するテキスト・参考文献

授業内で配布します。

6. 履修の条件・クラス分けの方法（履修者への要望等）

毎時間、講義内容の理解度の確認をするため、講義終了後に講義内容に関連する課題を提示します。
 極力分かりやすく説明しますが、解剖学、物理学の予習をすると、理解が深まります。

授業計画

| | |
|------|--|
| [半期] | |
| | |

| | | | |
|----|--------------------------|----|--|
| 1 | 動作とは | 1 | |
| 2 | 運動学習 | 2 | |
| 3 | 関節の構造と関節運動 | 3 | |
| 4 | 筋の構造と筋活動 | 4 | |
| 5 | 上肢の運動 | 5 | |
| 6 | 下肢の運動 | 6 | |
| 7 | 体幹の運動 | 7 | |
| 8 | 呼吸運動 | 8 | |
| 9 | 姿勢と身体重心 | 9 | |
| 10 | 姿勢制御とバランス反応 | 10 | |
| 11 | 動き始めのメカニズム（リーチ動作、ジャンプ動作） | 11 | |
| 12 | 歩く① | 12 | |
| 13 | 歩く② | 13 | |
| 14 | 筋骨格系の外傷 | 14 | |
| 15 | 自分の動作を考える | 15 | |



昭和大学研究者情報・業績集

Showa University Researchers Information & Research Achievements

[トップ](#) > 研究者情報

利用者サービス

- 業績検索&ダウンロード
- 業績所属別一覧
- 業績施設別一覧
- 研究者検索&ダウンロード

入力規則・ヘルプ

!!はじめての方へ!!

◆研究者情報

- 研究者情報入力方法
 - 所属一覧
- 研究者検索方法
- 研究者ダウンロード方法

◆業績

- 業績入力方法
 - 業績項目解説
- 外部データ取り込み方法
 - TSVデータ作成方法
- 業績検索方法
- 業績ダウンロード方法

- [Q&A](#)

昭和大学研究者情報・業績集

[研究者情報登録](#)・[業績公開申請の流れ](#)

- 説明会
 - [昭和大学研究者情報・業績集](#)
 - 説明会動画

リンク

- [昭和大学](#)
- [昭和大学図書館](#)

研究者情報

氏名

仲保 徹

氏名 (英)

NAKABO Tohru

学部

保健医療学部

講座

理学療法学

部門

施設

長津田校舎

職名・身分

講師

学位

博士

研究キーワード

研究分野

研究内容

担当科目

所属学協会

学術（研究・教育）業績

| No. ▾ | 刊行年月 ▼ | 業績項目 ▾ | 著者 | 巻 ▾ | 号 ▾ | 開始ページ ▼ |
|------------------|---------|-------------|---------------------------------|-----|-----|---------|
| 1042178 | 2021-06 | 会議発表(論文・口頭) | 仲保 徹 中村 大介 田代 尚範 上條 史子 | | | |
| -設置等の趣旨(資料)-116- | | | | | | |

| | |
|-------|--|
| 科目名 | 療法的な音楽活動 (Therapeutic music activity) |
| 責任者名 | 小倉 浩(富士吉田教育部 富士吉田教育部 教授) |
| 学期 | 前期 |
| 対象学年 | 1学年 |
| 学部学科 | 医学部医学科 歯学部歯学科 薬学部薬学科 保健医療学部看護学科 保健医療学部理学療法学科 保健医療学部作業療法学科 |
| 授業形式等 | 講義 選択 1単位 |

◆担当教員

| |
|---------------------|
| 松本 祐二(富士吉田教育部 兼任講師) |
| 丸山 典子(富士吉田教育部 兼任講師) |

◆学修成果

音楽を意図的・計画的に使用する療法的な音楽活動の技法を学ぶことにより、音楽が人に与える具体的な有用性を理解する。

◆学修到達目標

| | |
|-----|-----------------------------------|
| 1. | 音楽療法の定義を理解する。 |
| 2. | 音楽療法の歴史を理解する。 |
| 3. | 音楽と心的回復の関係を理解する。 |
| 4. | 障がいを持つ人への音楽提示に関する注意点を理解する。 |
| 5. | 音楽の使い方に関して目的を持って計画を立てることの意義を理解する。 |
| 6. | 療法的音楽活動について理解する。 |
| 7. | 音楽療法で使用される楽器の基本的操作法の要点を理解する。 |
| 8. | 楽器を使った、自己表現の要点を理解する。 |
| 9. | 楽器を使った、アンサンブルの要点を理解する。 |
| 10. | 音楽が人に与える具体的な有用性について理解する。 |
| 11. | 療法的音楽活動に有用な代表的楽器を列挙できる。 |

| | |
|-----|-------------------------------------|
| 12. | 音楽療法に使用される理論を理解する。 |
| 13. | 療法的音楽活動を学ぶために必要な、障がいについての基本事項を理解する。 |

◆アクティブ・ラーニング

| | |
|----|--|
| 1. | 第7回及び第9回の授業に於いて、療法的音楽活動に則した、簡易演奏実技の課題を課す。課題症例に対し、音楽療法の技術的理論を用い、提示された音源（課題曲）に各自で音（演奏）を付加する形式（録音又は録画）で、楽曲を完成させる。 |
|----|--|

◆評価方法

出席率は、評価には含めない。

課題評価を100%とする。

合格点に達しなかった者に対しては再試験を行う。再試験の内容（試験形式又はレポート形式）は当事者に連絡をする。

【課題】

各回の授業に対して課題を出す。各回10%とする。

課題の評価項目は以下の通りである。

- 1)授業内容の重点項目を理解している。
- 2)内容に不足がない。（明示された全ての課題に回答をしている。）
- 3)文章表現に著しい問題点（誤字・脱字など）がない。
- 4)提出は授業翌日17時までとする。（課題により提出期限が変更になる場合もある。）
- 5)提出が遅れた場合、その課題に対し5%のマイナス評価をする。但し、受付は次回授業開始日の前日までとし、それ以降は受け付けない。（マイナス評価及び課題受理期日は、正当な理由がある場合を除くので必ず申し出ること。）
- 6)他者のものを盗用、盗作などした場合、その課題は無効とする。

【簡易演奏実技課題】

第7回及び第9回の課題で、簡易演奏実技課題を課す。授業内容で示す理論や方法を踏まえて、熟考し準備されているかどうかを評価対象とする。

尚、楽器演奏技術の優劣を評価対象とするものではない。

（2）フィードバック

評価方法：課題評価。

合格点；60点以上

最終評価点：各課題の合計とする。但し、第7回又は第9回の課題を提出しなかった場合、最終評価点から30%のマイナスとする。

フィードバック：疑義は書面で事務課を通じて申し込むこと。

◆オフィス・アワー

| 担当教員 | 対応時間・場所など | 備考 |
|------|-----------|----|
|------|-----------|----|

教員・指導陣紹介 Faculty Member

| | | |
|--|------|----------|
| 大学案内 | | |
| コース | | |
| 指導陣紹介 | | |
| 入試案内 | | |
| キャリアセンター | | |
| コンサート情報 | | |
| 資料請求 | | |
|  | | |
| 検索 | アクセス | Language |

HOME

指導陣検索 Faculty Member Search

| | | | |
|---|---|--|--|
| 管楽器 Wind Instruments Course | 打楽器 Percussion Instruments Course | 弦楽器 String Instruments Course | ピアノ Piano Course |
| オルガン・チェンバロ Organ/Harpsichord | 声楽 Vocal Music Course | 音楽教育 Music Education Course | 現代邦楽 Japanese Traditional Music Course |
| ワールドミュージック World Music Course | 作曲 Composition Course | 音楽・音響デザイン Music Design Course | 音楽環境創造 Musical Creativity and the Environment Course |
| ジャズ Jazz Course | ロック&ポップス Rock & Pops Course | 電子オルガン Electronic Organ Course | ミュージカル Musical Theater Course |
| バレエ Classical Ballet Course | ダンス Dance Course | 声優アニメソング Voice Actor/Animation Song Course | 指揮 Conducting |
| 音楽学 Musicology | 一般科目 General Subjects | | |

松本 祐二

Yuji Matsumoto

打楽器



現在の活動

東京シティ・フィルハーモニック管弦楽団打楽器奏者。シリウス音楽院ドラム科講師。日本音響学会会員。

略歴

1988年4月洗足学園短期大学入学。在学中よりドラムセットを中心として演奏活動を開始。90年3月同短大を卒業後、岡田知之打楽器合奏団に所属。91年から93年にかけて、ドイツ、ブルガリア、シンガポール等世界各地での打楽器アンサンブルツアーに参加。94年東京シティ・フィルハーモニック管弦楽団に打楽器奏者として入団。

指導方針

日頃の演奏活動より得た最新の情報を提供する。作曲家と演奏者及び聴衆の心理面等から、^{PAGE TOP}の研究方法や、科学的、物理的分析による打楽器の研究方法を習得してもらうことを教育指導方針とする。

昭大発 1241 号
令和3年3月30日

洗足学園音楽大学
学長 万代 晋也 殿

昭和大学リカレントカレッジ
プリンシパル 小川 良雄

昭和大学リカレントカレッジ入学式における講師派遣について

拝啓 早春の候、貴学におかれましてはこのコロナ禍にあっても益々ご隆盛のこととお慶び申し上げます。

さて、この度社会人の学び直しを目的としたリカレント教育を本学でも取り組むことになり、令和3年4月に昭和大学リカレントカレッジを開校する運びとなりました。

つきましては、下記に執り行われる入学式に先立ち、貴学教授 荒 庸子 先生にご登壇いただきたく派遣について、ご高配を賜りますよう、何卒お願い申し上げます。

敬具

記

1. 日時 令和3年4月3日（土） 14:55～
2. 場所 昭和大学上條記念館 上條記念ホール
3. 内容 令和3年度春期 昭和大学リカレントカレッジ入学式
開式前の演奏（約5分）

以上

◆本件お問い合わせ◆

昭和大学リカレントカレッジ事務室

担 当 小林 彩香

〒142-8555

東京都品川区旗の台1-5-8

電 話 03-3784-8143

E-Mail recurrent@ofc.showa-u.ac.jp

昭大発 538 号
令和3年8月30日

洗足学園音楽大学
学長 万代 晋也 殿

昭和大学リカレントカレッジ
プリンシパル 小川 良雄

昭和大学リカレントカレッジ入学式における講師派遣について

拝啓 早春の候、貴学におかれましてはこのコロナ禍にあっても益々ご隆盛のこととお慶び申し上げます。

さて、この度、令和3年度昭和大学リカレントカレッジ秋期入学式を挙げる運びとなりました。

つきましては、下記に執り行われる入学式に先立ち、貴学教授 荒 庸子 先生にご登壇いただきたく派遣について、ご高配を賜りますよう、何卒お願い申し上げます。

敬具

記

1. 日時 令和3年9月25日(土) 16:20～
2. 場所 昭和大学上條記念館 上條記念ホール
3. 内容 令和3年度昭和大学リカレントカレッジ秋期入学式
開式前の演奏(約5分)

以上

◆本件お問い合わせ◆

昭和大学リカレントカレッジ事務室

担当 小林 彩香

〒142-8555

東京都品川区旗の台1-5-8

電話 03-3784-8143

E-Mail recurrent@ofc.showa-u.ac.jp